

マイエスロン® 技術サービス

本カタログに掲載している製品の配管検討に役立つツールを
公開しております。ぜひご活用ください。



プロ会員
限定

MYエスロン 技術サービス 🔍 で検索

SEKISUI 環境・ライフラインカンパニー

エスロンタイムズ
<https://eslontimes.com>

二次元コードで
アクセスはコチラ!



専用の管理ページでさらに便利に!
あなただけのエスロンタイムズ

MYエスロン®

*記載価格はメーカー希望標準設計価格です。
*価格には消費税は含まれておりません。
*記載価格は2024年5月21日からの価格です。
*印刷のため製品の色調は実物とは異なる場合があります。
*記載事項は予告なく仕様変更する場合があります。

不許転載

2019年10月 初 版
2024年 5月 改訂10版

エスロンプラスチック単管式排水システム
耐火プラAD継手HG・SGカタログ

積水化学工業株式会社
建築システム事業部

ツールコード
No. 05643

2024. 5. 4TH TX

SEKISUI

2024.5 改訂10版

■建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管・継手(建物排水・通気用)

エスロン®

プラスチック単管式排水システム

耐火プラAD継手HG

耐火プラAD継手SG

プラ脚部継手

エスロン®パイプ・+ (プラス)

VPパイプS

VP受口付立て管



単管式はプラスチック時代へ。 プラ脚部継手の開発により 立て管から横主管までオールプラ化を達成！

積水化学は独自の耐火技術を用い、2011年にプラスチックによる単管式排水システム、耐火プラAD継手を開発しました。

2019年には、プラスチックの耐食性はそのままに**遮音性、施工性の向上**を実現した耐火プラAD継手HG・SGが登場。

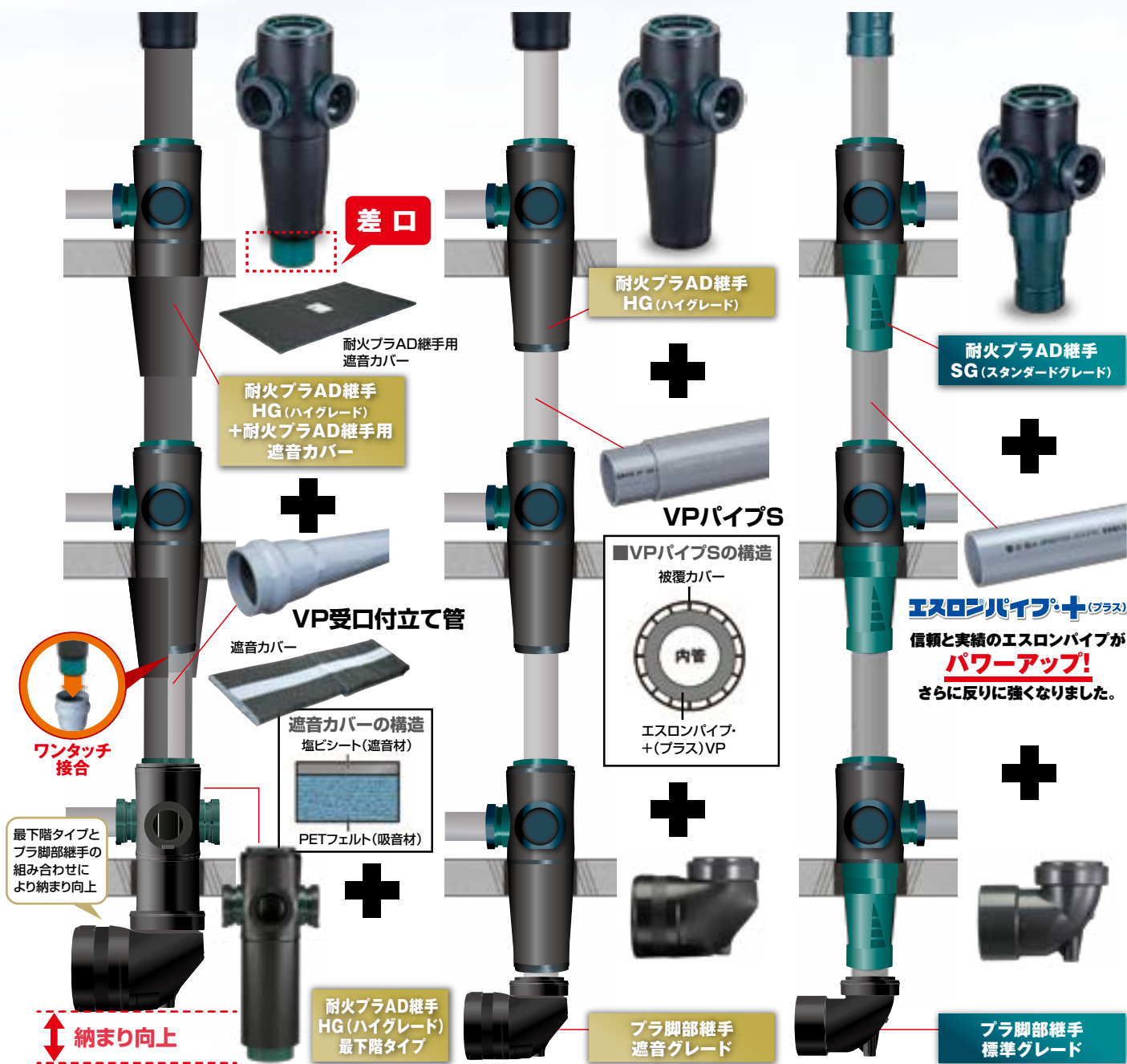
立て管、横枝管ともエスロンパイプ・+(プラス)VPの接続が可能で更に経済的になりました。

そして2020年、プラ脚部継手の開発により**立て管から横主管までオールプラ化を達成**。

同時開発の耐火プラAD継手HG最下階タイプと組み合わせることで、

更なる納まりの向上を実現しました。

充実の品揃えで高層階にも中低層階にも安心してお使いいただけます。



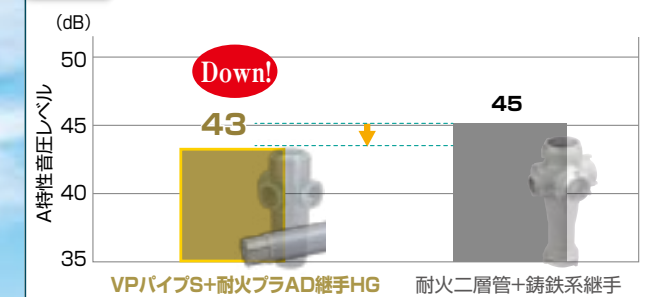
耐火プラAD継手 HG・SGの

3つの特長

遮音

遮音性能が更にアップ!

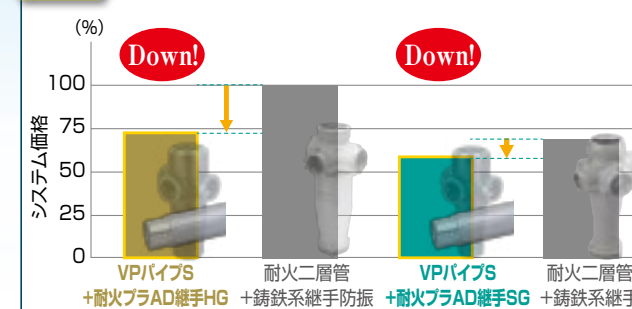
遮音設計を一新。非常に高い遮音性を実現します。



コスト削減

更に経済的に!

VP管との認定を取得。経済的な配管が可能です。

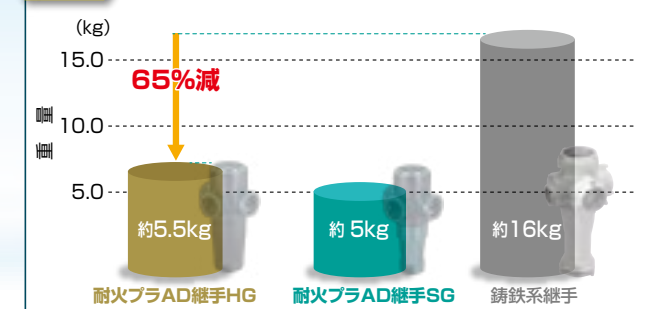


※パイプで防火区画貫通する場合は耐火VP管で貫通してください。

コンパクト・軽量

施工性も更に進化!

継手重量は鋳鉄系継手の約1/3。簡単に持ち運びできます。



プラ脚部継手／耐火プラAD継手HG最下階タイプ

特長1

オールプラ化で 耐久性向上

立て管から横主管まで錆の心配はありません

特長2

天井配管の 納まり向上

最下階タイプとの接続で枝下長さは最短290mm
※プラ脚部継手は耐火プラAD継手HG・SGとの接続も可能です

特長3

軽量・易施工

弊社鋳鉄脚部継手の約1/3
(4.2kg:遮音グレード)
(100×150の場合)

立て管から横主管まで オールプラ化が完成



INDEX

耐火プラAD継手 HG・SG

SG(スタンダードグレード) HG(ハイグレード)

最下階タイプ 最上階タイプ 二段タイプ

page 13

耐火VPパイプシリーズ／エスロンパイプシリーズ

耐火VPパイプ 耐火VPパイプS 耐火VP受口付立て管 エスロンパイプ・+(プラス)VP VPパイプS VP受口付立て管

page 31

耐火DV継手／透明耐火DV継手／耐火DV遮音継手

耐火DV継手 透明耐火DV継手 耐火DV遮音継手

page 34

脚部継手

ブラ脚部継手 標準グレード ブラ脚部継手 遮音グレード AD脚部継手

page 41

耐火プラAD継手HG-SGとは	4	品揃え・規格 耐火DV継手、透明耐火DV継手	34
流下のしくみ	5	品揃え・規格 耐火DV遮音継手	39
最下階合流システムの適用、許容排水量と許容階数	6	品揃え・規格 ブラ脚部継手	41
各システムの特長	7	品揃え・規格 AD脚部継手	42
耐火認定・評価範囲	9	品揃え・規格 AD脚部継手・ADメカニカル継手	43
品揃え・規格 耐火プラAD継手HG-SG	13	品揃え・規格 関連製品	44
品揃え・規格 耐火プラAD継手HG-SG 関連製品	28	配管の納まり例	45
品揃え・規格 耐火プラAD継手HG 二段タイプ	29	支持金具の納まり例	49
品揃え・規格 エスロンパイプ・+(プラス)VP、VPパイプS、VP受口付立て管、遮音カバー	31	標準施工方法	50
品揃え・規格 耐火VPパイプ、耐火VPパイプS、耐火VP受口付立て管、遮音カバー	33	注意事項	65

■本カタログの掲載マークについて

- ▲警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、又は重傷を負う危険性が想定される内容が記載されています。
- ▲注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う危険性や物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

耐火プラAD継手HG・SGとは

排水性能、遮音性能、耐火性能など従来システムと同等の性能を備えながら、樹脂化により軽量化、耐食性と施工性の向上を実現しました。

耐火プラAD継手HG・SG

排水性能

旋回羽根により排水を整流化。業界トップクラスの排水性能を実現。

VPパイプS 耐火VPパイプS ほか

VPパイプ 耐火VPパイプ ほか

耐火VPパイプ・耐火DV継手の技術の活用で延焼防止。

耐火性能

耐火プラスチック技術の活用で国土交通大臣認定及び(一財)日本消防設備安全センター性能評価を取得。立て管・横枝管ともにエスロンパイプ・+(プラス)VPで接続できます。

どちらでもVP接続OK!

軽量・腐食レス

重量は鋳鉄継手の1/3。プラスチック製のため腐食の心配もありません。

1/3

錆 腐食

エスロンタイムズ 耐火プラAD継手HG・SGについて

製品情報を二次元コードでCheck!

<https://www.eslontimes.com/system/items-view/256/>

耐火VPパイプの構造

排水性能 内外層 硬質ポリ塩化ビニル

耐火性能 中間層 耐火塩ビ配合

積水化学の開発した耐火テクノロジーにより塩ビ管がさらに進化! 熱によりパイプの中間層が膨張し、貫通部からの火災の延焼を防止します。

システム紹介

耐火プラAD継手HG・SG

耐火VPパイプシリーズ

耐火DV遮音継手

脚部継手

その他の関連製品

継手の納まり

標準施工方法

注意事項

流下のしくみ

システム紹介

耐火ブラAD継手
HG・SG

耐火VPパイプシリーズ
エスロンパイプシリーズ

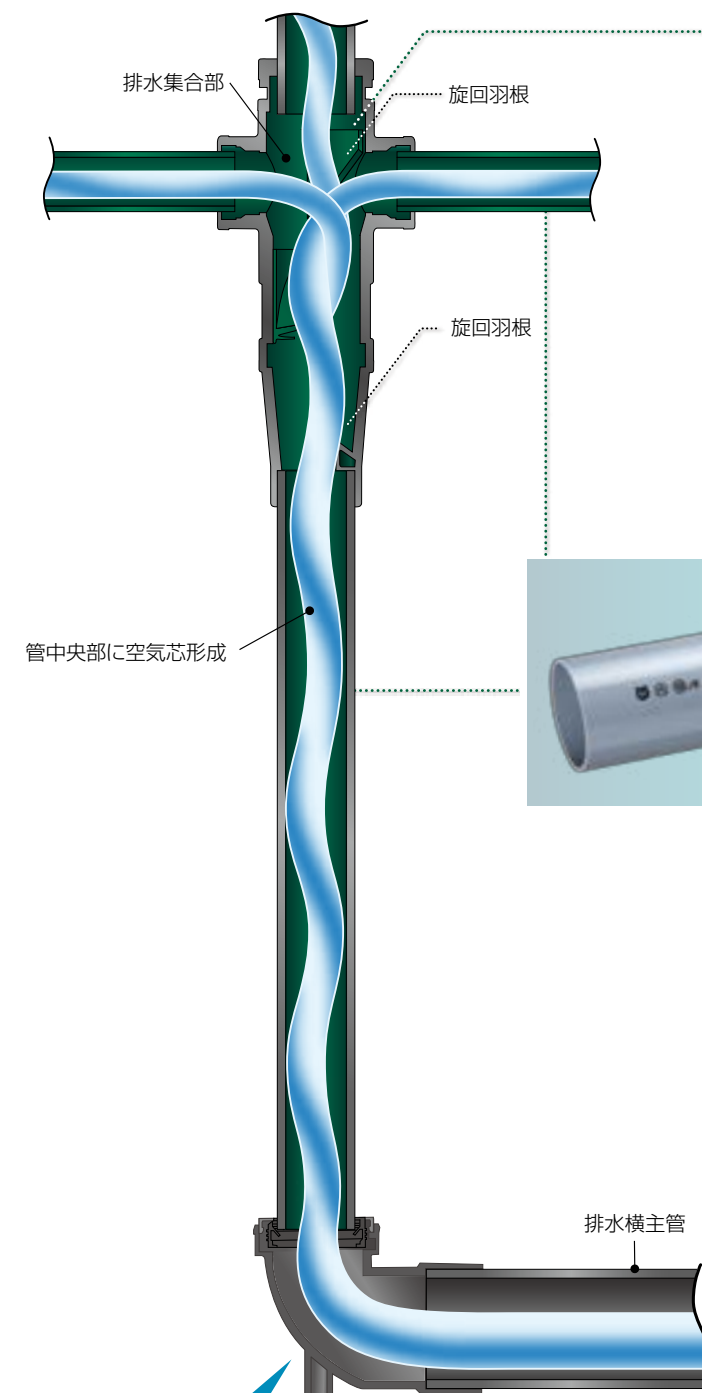
耐火DVV継手
遮音継手

脚部継手
その他関連製品

継手の納まり

標準施工方法

注意事項



耐火ブラAD継手 HG 耐火ブラAD継手 SG



エスロンパイプ・+ (プラス)

信頼と実績のエスロンパイプがパワーアップ！
年間を通して反りに強く、取り扱いやすく、施工のスピードアップに貢献します。

流下のしくみ

- 耐火ブラAD継手の集合部の大きな空間部により、立て管を流下する排水と横枝管からの排水は継手内でスムーズに合流します。
- 継手に流入した排水は、継手の旋回羽根によって立て管の管壁に沿って流れ、空気芯を確保します。
- 最下部の曲管に使用するブラ脚部継手の最適な底面形状設計によって排水はスムーズに流れ、空気の流通を確保します。

ブラ脚部継手(プラスチック製)

ブラ脚部継手
標準グレード



ブラ脚部継手
遮音グレード



AD脚部継手(鋳鉄製)



AD脚部継手
ロングタイプ



掃除口付支持付
AD脚部継手



AD脚部継手

最下階合流システム専用



掃除口付AD脚部継手
スリム直結ショートタイプ



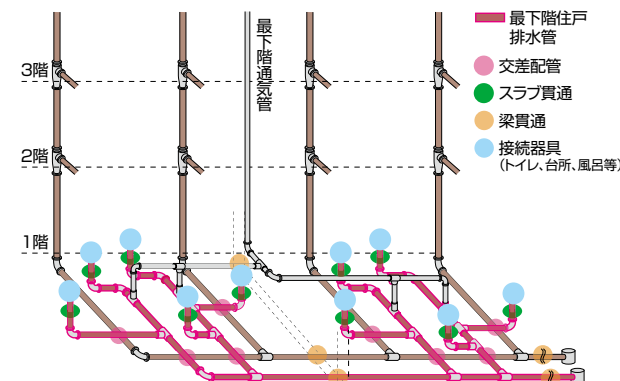
AD脚部継手
スリム直結ショートタイプ

最下階合流システムの適用、許容排水量と許容階数

- 当社独自の設計基準により**汚水・雑排水系統全てに適用可能。**
- 最下階住戸の排水配管の**簡略化が可能。**

従来システム<最下階住戸排水単独>

最下階住戸排水は、排水立て管と別系統。単独で排水。



最下階排水管

- 最下階住戸排水が別系統のため配管の維持管理(洗浄等)が大変。

通気スペース

- 最下階用通気管が必要で通気管の設置スペースの確保が大変。

交差配管

- 勾配確保のための設計・施工が大変。

スラブ貫通

- スラブ貫通が多くプラン変更やリフォーム時の間取り変更が大変。

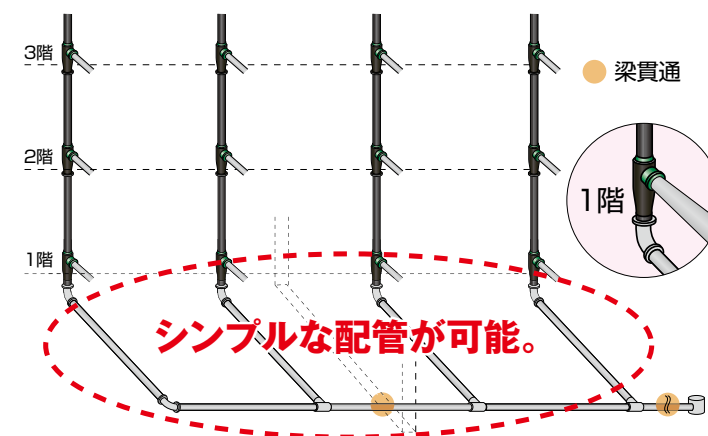
梁貫通

- 梁貫通が多くボイドや補強等の施工が大変。

従来システムでは
様々な課題が…
**最下階合流システム
を導入！**

最下階合流システム

最下階住戸排水を、排水立て管系統に合流。



システム導入のメリット

維持管理性の向上

最下階住戸の排水管も、他の階と同一の方法で維持管理が可能。

最下階住戸の間取り変更が容易

最下階住戸の排水配管もスラブ上部での配管になるため、間取り変更への対応が容易。

設計・施工が容易

他の配管との干渉や交差配管が低減され、配管勾配の確保が容易。

施工省力化・建物強度上有利

スラブ、梁の貫通が少なく、ボイド数が減少。

省スペース化と施工費・材料費のコストダウン

最下階単独排水管・通気管が不要。

メリット大

■ 許容排水量

SHASE-S218-2014「集合住宅の排水立て管システムの排水能力試験法」に準じて決定した許容排水量は下表の通りとなります。

立て管	継手	管径(A)	許 容 排 水 量 (ℓ/sec)									
			規模相当17階建て	規模相当20階建て	規模相当25階建て	規模相当30階建て	規模相当35階建て	規模相当40階建て	規模相当45階建て	規模相当50階建て	規模相当55階建て	規模相当60階建て
耐火VPパイプ、エスロンパイプ・+(プラス)VP	耐火ブラAD継手 HG-SG	75	3.5	3.4	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	3.0	3.0	2.9
		100	6.5	6.4	6.2	6.1	6.1	6.0	5.8	5.7	5.6	5.5

■ 許容階数早見表

※最下階排水を単独排水とした場合の階数により記しており、接続可能な住戸数は下表より1つ少なくなります。

			パターン									
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
接続器具の種類			便器			便器	便器		便器	便器	便器	便器
				浴槽				浴槽	浴槽	浴槽	浴槽	浴槽
				洗面				洗面	洗面	洗面	洗面	洗面
				洗濯				洗濯	洗濯	洗濯	洗濯	洗濯
					台所	台所		台所			台所	台所
					手洗い	手洗い			手洗い			手洗い
立て管	継手	管径(A)										
耐火VPパイプ、エスロンパイプ・+(プラス)VP	耐火ブラAD継手 HG-SG	75	—	12階	22階	—	—	7階	—	—	—	—
		100	60階	39階	59階	23階	50階	24階	21階	20階	15階	14階

システム紹介

耐火ブラAD継手
HG・SG

耐火VPパイプシリーズ
エスロンパイプシリーズ

耐火DVV継手
遮音継手

脚部継手
その他関連製品

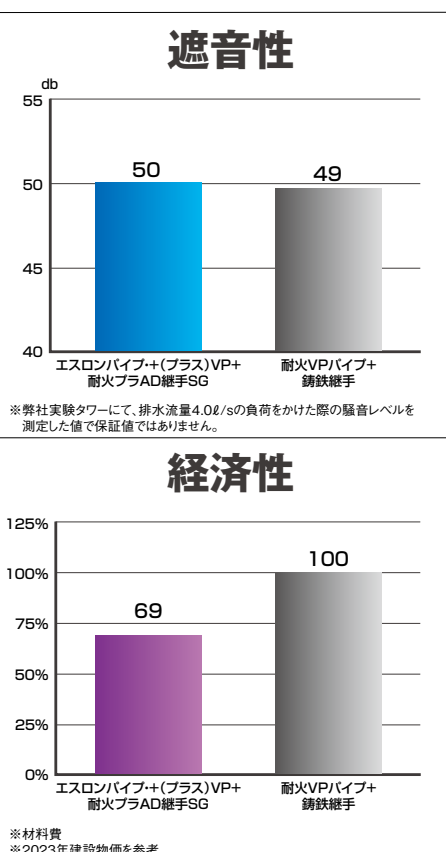
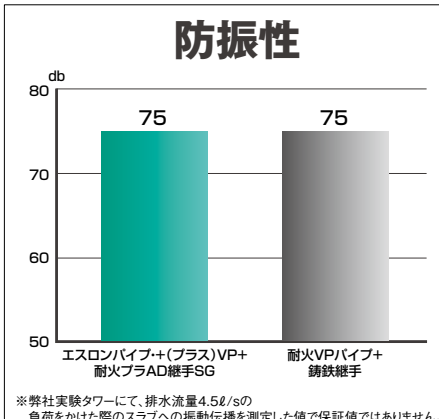
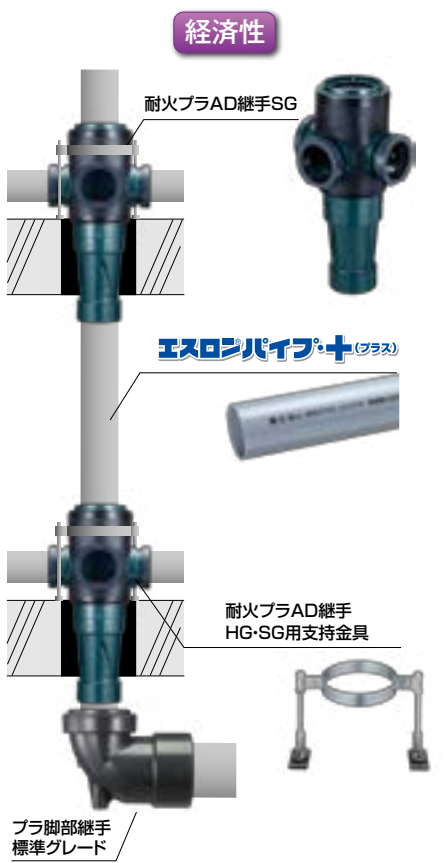
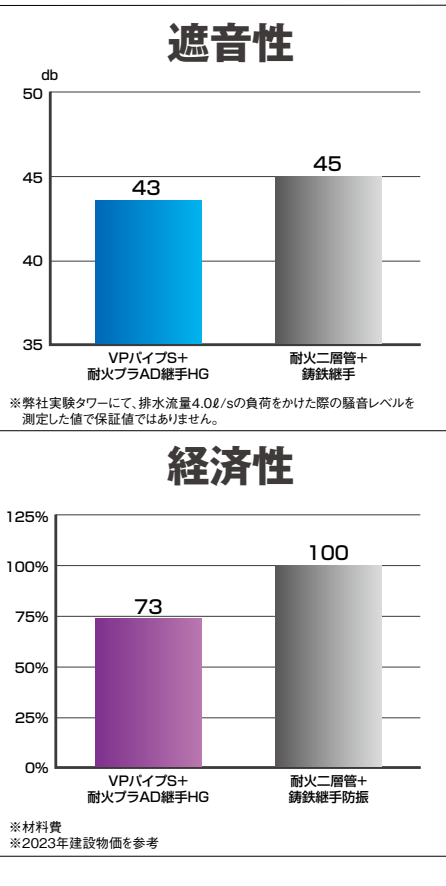
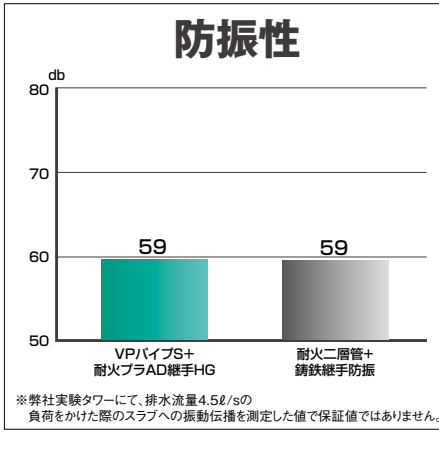
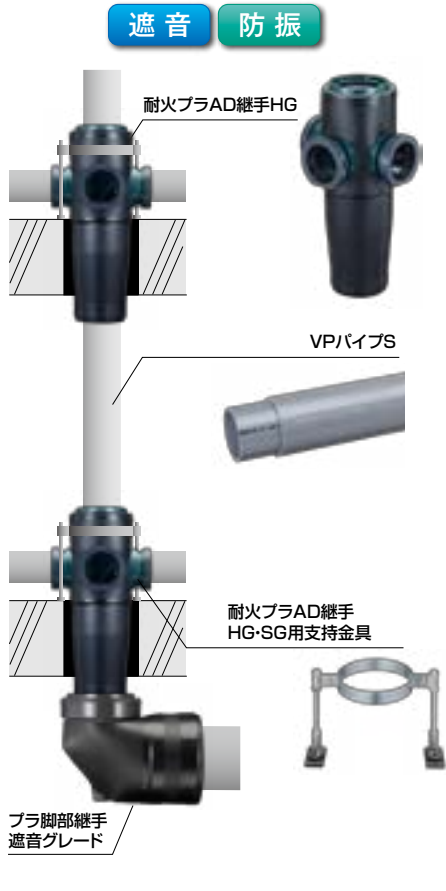
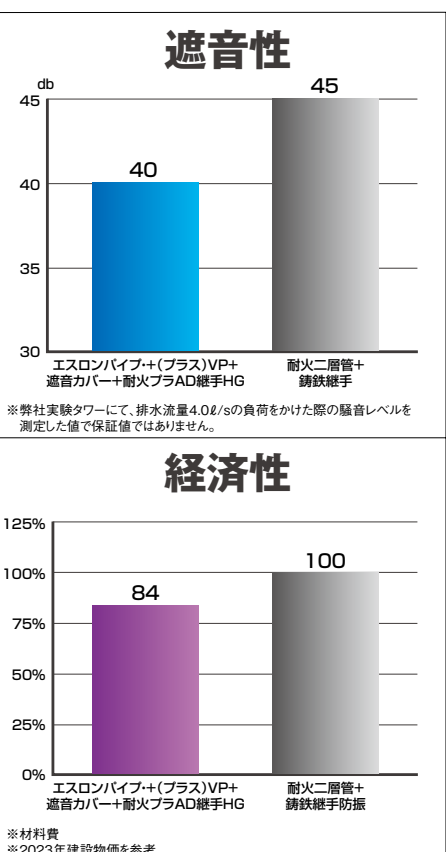
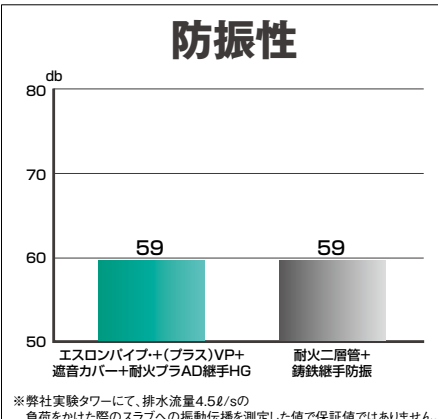
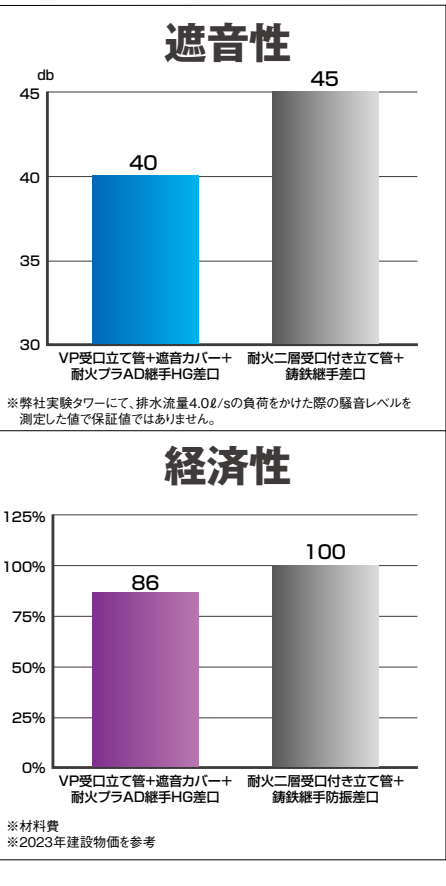
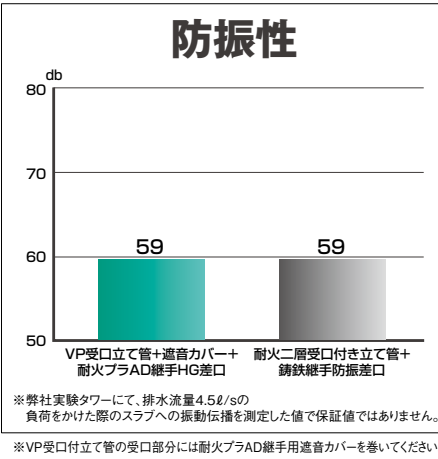
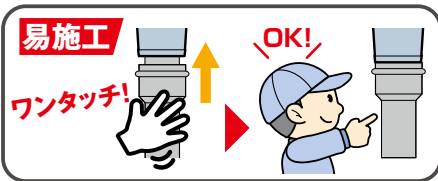
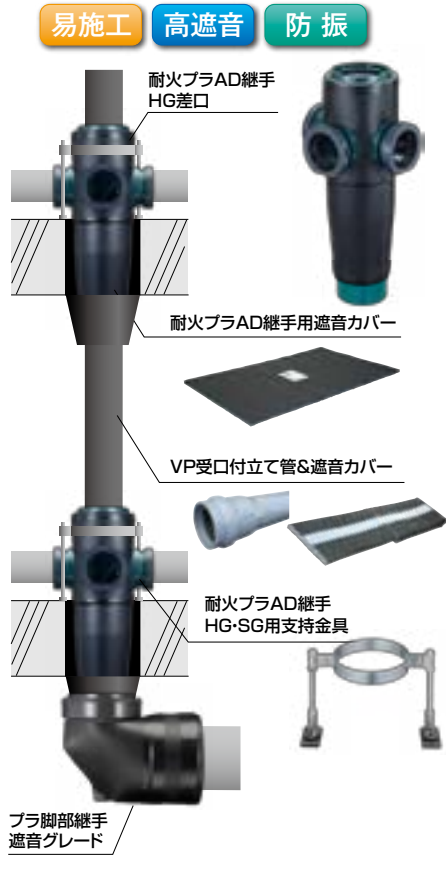
継手の納まり

標準施工方法

注意事項

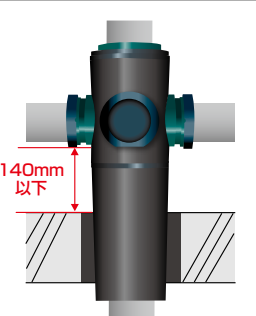
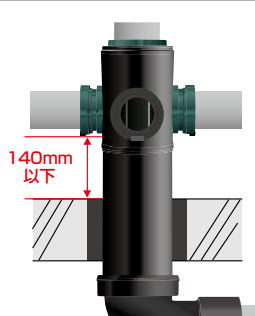
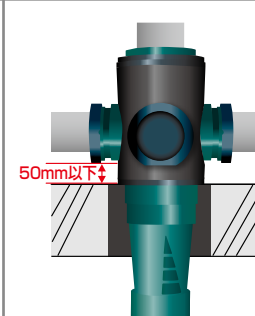
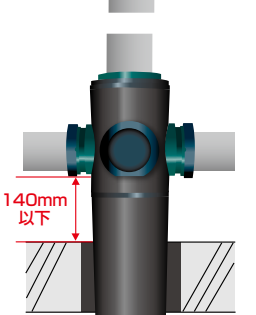
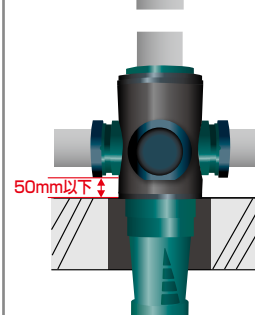
各システムの特長

遮音・防振・易施工シリーズを豊富にラインアップ。
用途に合わせた最適なシステムを構築できます。



耐火プラADシステムの耐火認定・評価（床貫通）

- ご使用の際には必ず認定書、評価書の内容をご確認ください。
- 他の認定・評価品と接続する場合には、認定・評価外となる恐れがありますので所轄の消防機関までご確認ください。
- 他社耐火性硬質ポリ塩化ビニル管・継手との組み合わせは認定・評価外となりますので使用しないでください。
- 防火区画貫通部についてご不明な点は、所轄の消防機関までご確認ください。

	耐火プラAD継手HG (二段タイプ、最上階タイプも同様)	耐火プラAD継手HG 最下階タイプ	耐火プラAD継手SG
床貫通			
			
枝浮かし高さ	140mm以下	140mm以下	50mm以下
国土交通大臣認定	PS060FL-1147	PS060FL-1054	PS060FL-1053
消防認定共住区画	KK2021-006	KK2019-016	KK2019-015
消防認定令8区画			
用途	排水管及び通気管(汚水雑排水等の生活排水用)		
スリーブ径	φ209mm以下		
貫通箇所/処理	床 ALC・コンクリート厚み 100mm以上/モルタル埋め戻し		

△ 脚部継手の上部受口はスラブに埋設しないようにしてください。

立て管に接続可能な管種

立て管
エスロンパイプ+(プラス)VP
エスロンパイプ+(プラス)VP
遮音カバー巻き
VPパイプS
VP受口付立て管
VP受口付立て管 遮音カバー巻き
耐火VPパイプ
耐火VPパイプ 遮音カバー巻き
耐火VPパイプS
耐火VP受口付立て管
耐火VP受口付立て管 遮音カバー巻き

横枝管に接続可能な管種

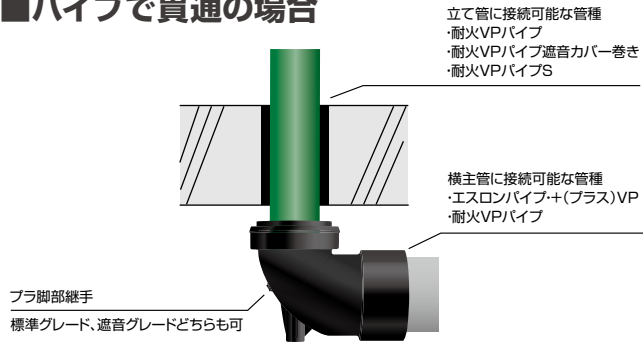
横枝管
エスロンパイプ+(プラス)VP
エスロンパイプ+(プラス)VP
遮音カバー巻き
VPパイプS
耐火VPパイプ
耐火VPパイプ 遮音カバー巻き
耐火VPパイプS

横主管に接続可能な管種

横主管
エスロンパイプ+(プラス)VP
耐火VPパイプ

耐火プラADシステムの耐火認定・評価（床貫通）

■パイプで貫通の場合



国土交通大臣認定	PS060FL-1052
消防認定共住区画	KK2019-014
消防認定令8区画	
用途	排水管及び通気管(汚水雑排水等の生活排水用)
スリーブ径	φ209mm以下
貫通箇所/処理	床ALC・コンクリート厚み100mm以上/モルタル埋め戻し

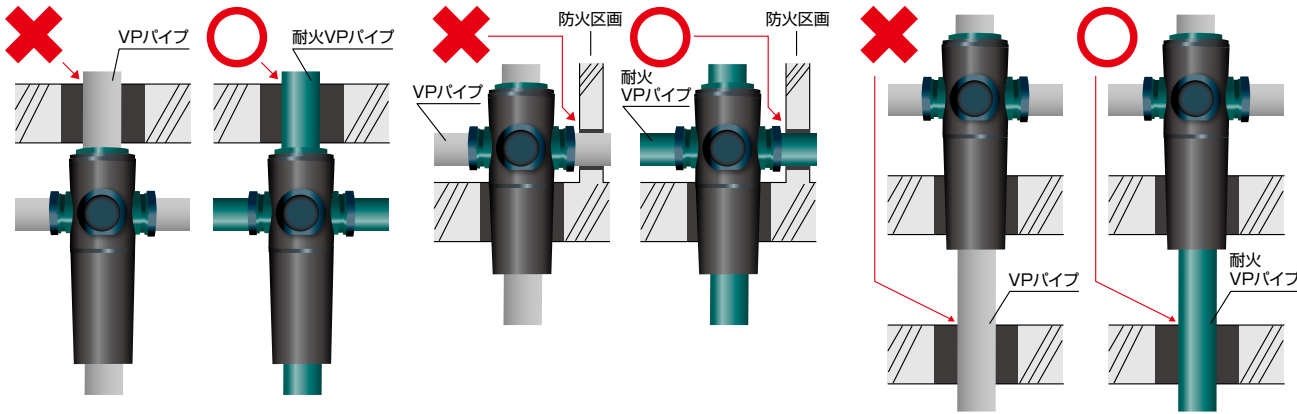
耐火プラAD継手HG・SGの認定書・評価書は
エスロンタイムズよりダウンロードいただけます。
<https://www.eslontimes.com/system/jump/123/>



【認定外となる施工方法】

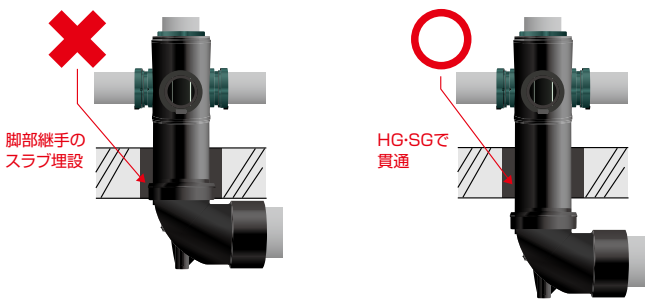
耐火プラAD継手HG・SG共通

- △ 防火区画貫通は耐火プラAD継手または耐火VPパイプが可能です。耐火プラAD継手と組み合わせても、VPパイプで防火区画を貫通することはできません。



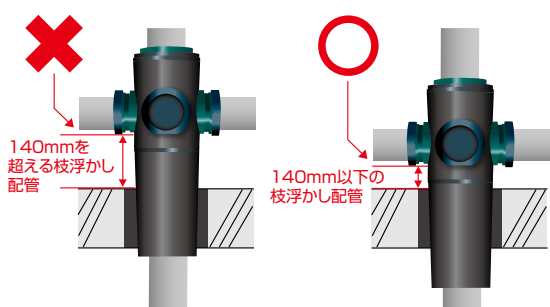
耐火プラAD継手HG・SG共通

- △ 脚部継手の上部受口はスラブに埋設しないようにしてください。



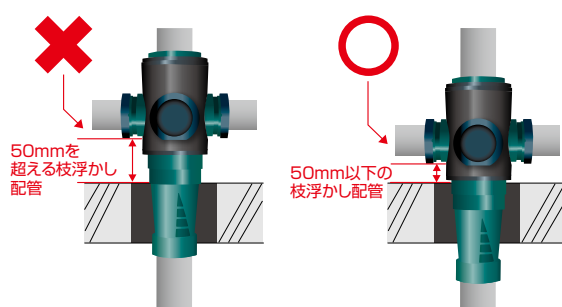
耐火プラAD継手HG(2段、最上階タイプも同様)

- △ 耐火プラAD継手HGをスラブから浮かして配管する場合、継手横枝管底とスラブ上面の距離は140mm以下としてください。



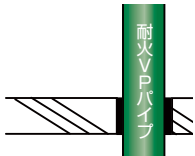
耐火プラAD継手SG

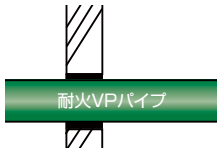
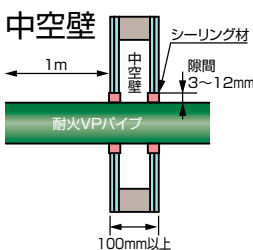
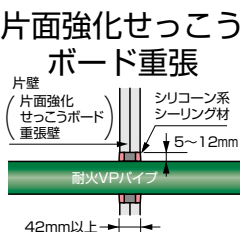
- △ 耐火プラAD継手SGをスラブから浮かして配管する場合、継手横枝管底とスラブ上面の距離は50mm以下としてください。



耐火VPパイプの耐火認定・評価

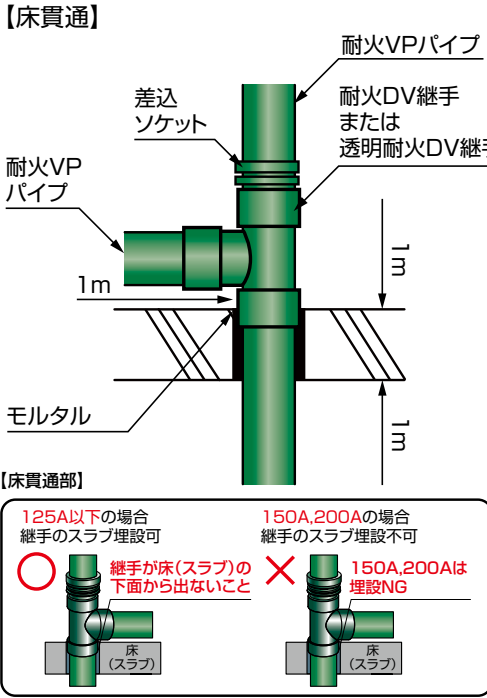
- ご使用の際には必ず認定書、評価書の内容をご確認ください。
- 他の認定・評価品と接続する場合には、認定・評価外となる恐れがありますので所轄の消防機関までご確認ください。
- 他社耐火性硬質ポリ塩化ビニル管・継手との組み合わせは認定・評価外となりますので使用しないでください。
- 防火区画貫通部についてご不明な点は、所轄の消防機関までご確認ください。

床貫通				※防火区画貫通部から1m 以内の範囲は耐火VPパイ プ、耐火DV継手、透明耐火 DV継手をご使用ください。		耐火VPパイプの認定書・評価書は エスロンタイムズより ダウンロードいただけます。 https://www.eslontimes.com/system/jump/124/			
管種									
口径		200A以下		100A以下		100A以下			
国土交通 大臣認定	スリーブ径	φ312mm以下		φ209mm以下		φ209mm以下			
	貫通部箇所	床 ALC厚み 100mm以上 床 コンクリート厚み 75mm以上		床 ALC・コンクリート厚み 100mm以上					
	貫通部処理	モルタル埋め戻し							
	認定番号	 PS060FL-1214		PS060FL-1052		PS060FL-1052			
消防評定 共住区画	スリーブ径	φ300mm以下		φ209mm以下		φ209mm以下			
	貫通部箇所	床 ALC厚み 100mm以上 床 コンクリート厚み 75mm以上		床 ALC・コンクリート厚み 100mm以上					
	貫通部処理	モルタル埋め戻し							
	評定番号	 KK2023-004		KK2019-014		KK2019-014			
消防評定 令8区画	スリーブ径	φ300mm以下		φ183mm以下		φ209mm以下			
	貫通部箇所	床 コンクリート厚み 150mm以上							
	貫通部処理	モルタル埋め戻し							
	評定番号	 RK2023-001		RK22-002		RK27-006			

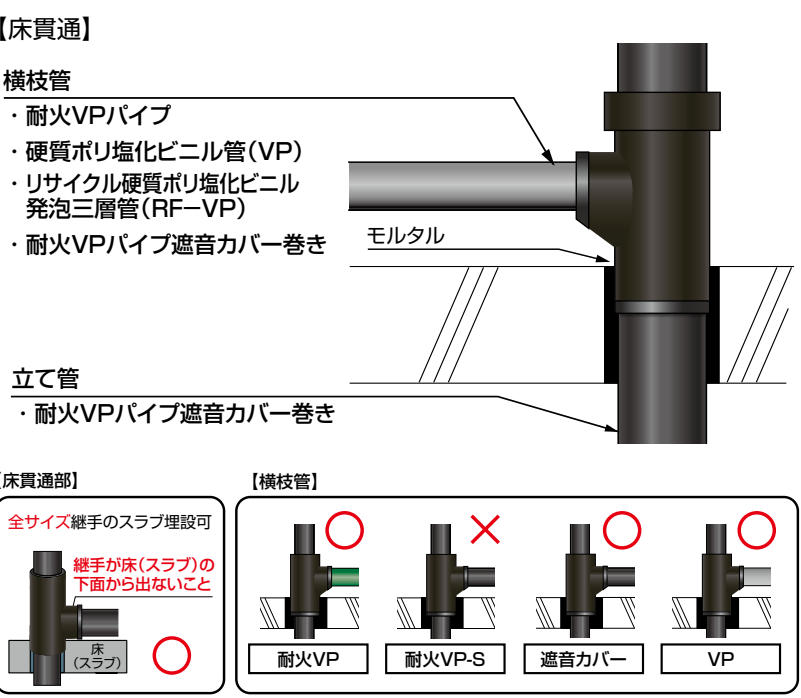
壁貫通		耐火VPパイプ				
						
口径		200A	125A~150A	100A以下	200A以下	150A以下
国土交通大臣認定	スリーブ径	φ312mm以下			φ240mm以下 (隙間3~12mm)	φ189mm以下
	貫通部箇所	壁 ALC・コンクリート厚み 75mm以上			中空壁 厚み100mm以上	片面強化石こうボード 重ね張り厚み 42mm以上
	貫通部処理	モルタル埋め戻し			シリコン系 シーリング材充填	シリコン系シーリング材充填
	認定番号	NEW PS060WL-1219			NEW PS060WL-1215	PS060WL-0849
消防評定 共住区画	スリーブ径	φ300mm以下			φ240mm以下 (隙間12mm以下)	
	貫通部箇所	壁 ALC・コンクリート厚み 75mm以上			中空壁 厚み100mm以上	
	貫通部処理	モルタル埋め戻し			シリコン系 シーリング材充填	
	認定番号	NEW KK2023-002			NEW KK2023-003	
消防評定 令8区画	スリーブ径		φ260mm以下	φ183mm以下		
	貫通部箇所		壁 コンクリート厚み 100mm以上			
	貫通部処理		モルタル埋め戻し			
	評定番号		RK27-008	RK19-042		

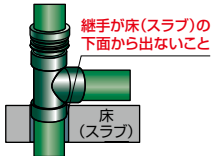
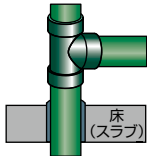
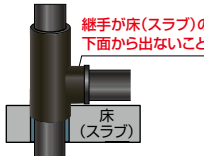
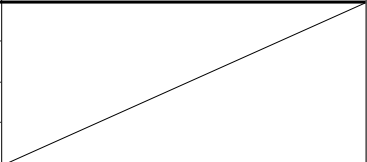
※耐火VPパイプS、耐火VPパイプ+遮音カバーでの壁貫通はできません。

耐火DV継手、透明耐火DV継手の耐火認定・評価

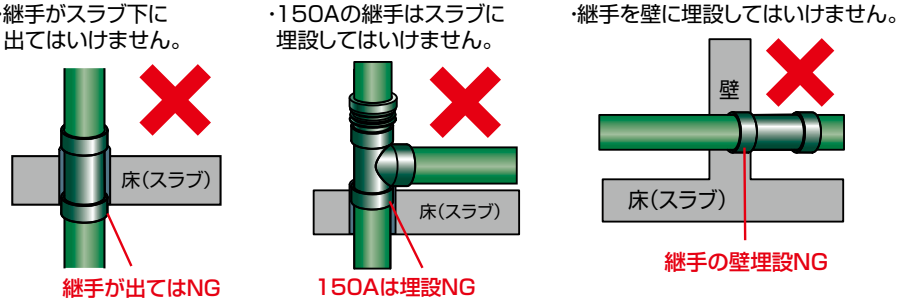


耐火DV遮音継手の耐火認定・評価



		耐火DV継手、透明耐火DV継手の耐火認定・評定		耐火DV遮音継手の耐火認定・評定
口径		125A以下	200A以下	125A以下
床貫通部		管+継手	管のみ	管+継手
				
国土交通大臣認定	スリーブ径	φ209mm以下	φ312mm以下	φ209mm以下
	貫通部箇所	床 ALC厚み 100mm以上 床 コンクリート厚み 75mm以上		床 ALC・コンクリート厚み 120mm以上
	貫通部処理	モルタル埋め戻し		
	認定番号	 PS060FL-1213	 PS060FL-1214	PS060FL-0902
消防評定 共住区画	スリーブ径	φ209mm以下	φ300mm以下	φ209mm以下
	貫通部箇所	床 ALC厚み 100mm以上 床 コンクリート厚み 75mm以上		床 ALC・コンクリート厚み 120mm以上
	貫通部処理	モルタル埋め戻し		
	認定番号	 KK2023-004		KK29-002
消防評定 令8区画	スリーブ径	φ209mm以下	φ300mm以下	
	貫通部箇所	床 コンクリート厚み 150mm以上		
	貫通部処理	モルタル埋め戻し		
	認定番号	 RK2023-001		

【耐火DV継手、透明耐火DV継手、耐火DV遮音継手の認定外となる施工方法】



耐火DV継手、透明耐火DV継手、耐火DV遮音継手の認定書・評価書はエスロンタイムズよりダウンロードいただけます。

<https://www.eslontimes.com/system/jump/124/>



耐火プラAD継手HG・SG 品番の見方

下図のように横枝管が無い方向を左、ある方向を上として時計回りに表記します。

品番例 **H G 1 7 0 5 U**

下部受口
枝管呼び径 75A-なし-50Aの2口
立て管100A
HGタイプ

75A
50A
枝管なし

HGタイプ
受口

※4～6桁目の末尾が枝なしとなる時は0を省略します。

品番例 **H G 1 7 U**

下部受口
枝管呼び径 75A-なし-なしの1口
立て管100A
HGタイプ

75A
枝管なし

	1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	5桁目	6桁目	7桁目											
	タイプ		立て管呼び径	枝管呼び径			下部接続											
HG	HG		100:1 75:7	品番4桁目  品番5桁目 品番6桁目			受口:U 差口:S M (100A:差口Sの145mm延長) 75A:差口Sの125mm延長) L (100A:差口Sの245mm延長)											
HG 最下階タイプ	HL			<table><tr><th>枝管呼び径</th><th>品 番</th></tr><tr><td>50A</td><td>5</td></tr><tr><td>65A</td><td>6</td></tr><tr><td>75A</td><td>7</td></tr><tr><td>100A</td><td>1</td></tr><tr><td>枝管なし</td><td>なし又は0</td></tr></table>	枝管呼び径	品 番	50A	5	65A	6	75A	7	100A	1	枝管なし	なし又は0		差口:S
枝管呼び径	品 番																	
50A	5																	
65A	6																	
75A	7																	
100A	1																	
枝管なし	なし又は0																	
HG 最上階タイプ	HU				受口:U 差口:S M (100A:差口Sの145mm延長) 75A:差口Sの125mm延長) L (100A:差口Sの245mm延長)													
SG	SG				受口:U													

各タイプの特長

耐火プラAD継手HG 最下階タイプ

本体は227mmまで切断可能なので現場での納まり調整が可能です。

△ 耐火プラAD継手HG最下階タイプは必ずプラ脚部継手(呼び径125×125、125×150)と組み合わせてご使用ください。

△ 耐火プラAD継手HG最下階タイプ本体下部への管の接続・延長は行わないでください。必ず最下階タイプ本体下部とプラ脚部継手を直接接続してください。

75A又は100A(ゴム輪)

配管の納まり例(横主管150Aの場合)
●最下階タイプ+プラ脚部継手(呼び径125×150)

最下階タイプの切断時

本体切断可能範囲 227mmまで

125Aパイプ

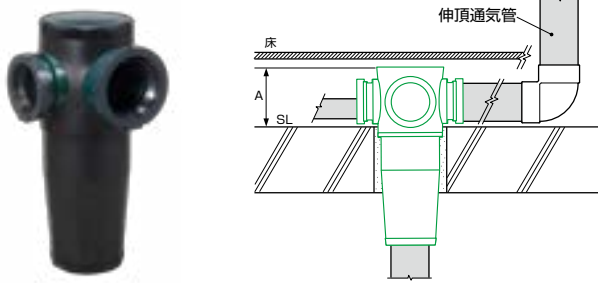
スラブ厚 360mm (最長)
スラブ厚 140mm (最短)

納まり 290mm
517mm

耐火プラAD継手HG 最上階タイプ

立て管の最上階で伸長通気管を横方向に取ることが可能です。

	呼び径	スラブから頂点までの長さA寸法(mm)
耐火プラAD 最上階継手	75A	175
	100A	175



品揃え拡充

差口タイプにニューラインアップ

耐火プラAD継手HG 差口M・L(厚スラブ対応)

本体枝下の延長により、厚スラブでの施工が可能です。

△ 受口パイプと接続する場合、継手の差口部は切断しないでください。長さ調整が必要な場合は受口パイプを切断し、調整してください。

品揃え品種

耐火プラAD継手HGの下表の品種で差口M、Lを品揃えしています。

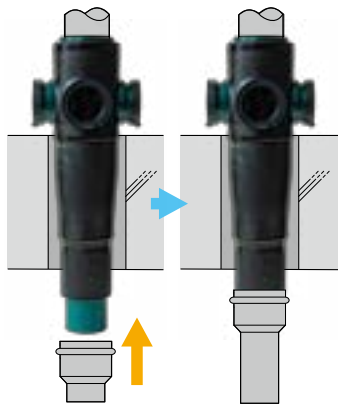
本体			標準タイプ	最上階タイプ	最下階タイプ	二段タイプ
	75A	差口M	○	○	—	—
	100A	差口M	○	○	—	—
		差口L	○	○	—	—

耐火プラAD継手HG 差口M・Lと受口パイプとの接続方法

受口パイプの端部と継手差口の端部が当たるまで挿入してください。従来の差口Sと同じ施工方法です。(P.55参照)

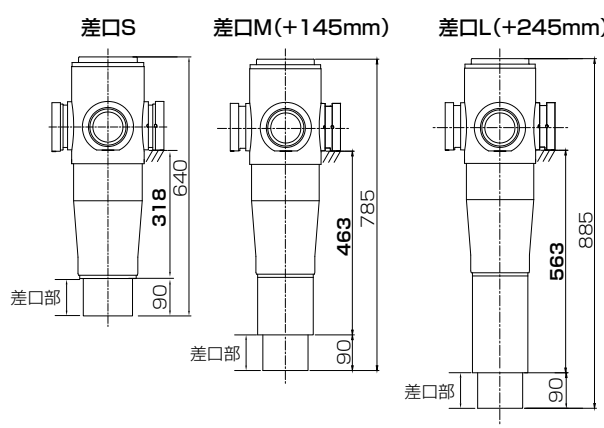
継手の差口部はS・M・Lとも同じ長さです。(100A:90mm、75A:80mm)

スラブ厚みに応じて、選定してください。

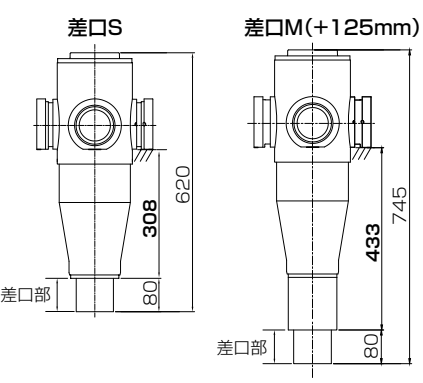


寸法

〈本体100A〉



〈本体75A〉

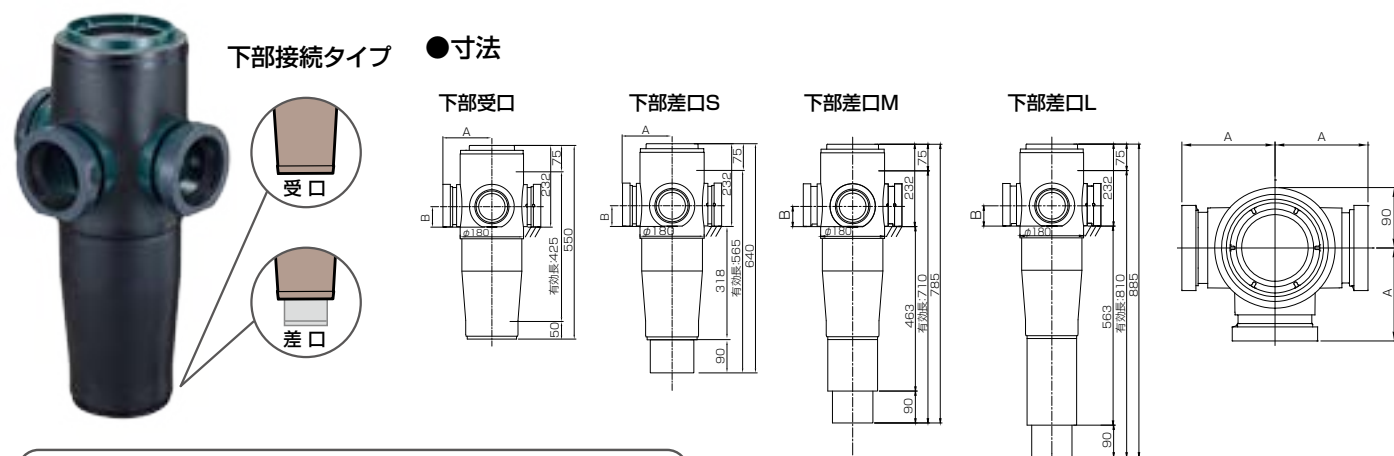


耐火プラAD継手HG・SGの承認図・CADデータは
エスロンタイムズよりダウンロードいただけます。

<https://www.eslontimes.com/system/jump/123/>



■耐火プラAD継手HG (立て管100A)



差口M:品番末尾のSをMに変えてください。
下表価格の6,000円加算となります。

差口L:品番末尾のSをLに変えてください。
下表価格の8,000円加算となります。

※差口Mと差口Lは全て受注生産品です。

横枝呼び径	耐火ブラAD HG	
	A寸法	B寸法
CO栓	107mm	—
50	139mm	42mm
65		51mm
75		58mm
100	160mm	71mm

■横枝管 ゴム輪受口 品揃え

・横枝管枝数0枝

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	横枝管無し
0枝	23,410		受口	HG1U
			差口	HG1S

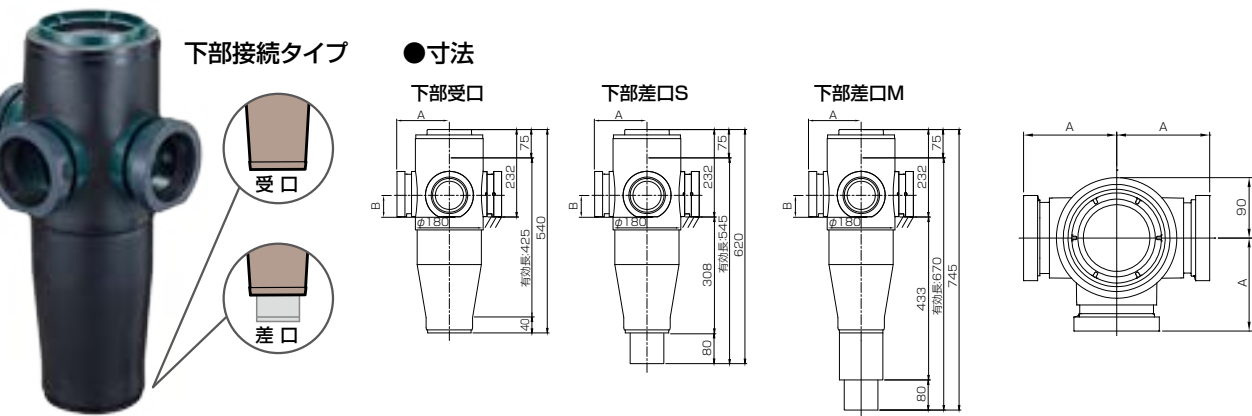
・横枝管枝数1～3枝

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	●横枝管呼び径							
				50		65		75		100	
1枝	23,410		受口	HG15U	★	HG16U	★	HG17U	★	HG11U	★
			差口	HG15S	★	HG16S	★	HG17S	★	HG11S	
2枝 90°	25,300		受口	HG155U		HG156U		HG157U	★	HG151U	
			差口	HG155S		HG156S		HG157S		HG151S	
			受口	HG165U		HG166U		HG167U	★	HG161U	
			差口	HG165S		HG166S		HG167S	★	HG161S	
			受口	HG175U	★	HG176U	★	HG177U	★	HG171U	
			差口	HG175S		HG176S	★	HG177S		HG171S	
			受口	HG115U		HG116U		HG117U		HG111U	★
			差口	HG115S		HG116S		HG117S		HG111S	
2枝 180°	25,300		受口	HG1505U		HG1506U		HG1507U		HG1501U	
			差口	HG1505S		HG1506S		HG1507S		HG1501S	
			受口	HG1605U		HG1606U		HG1607U		HG1601U	
			差口	HG1605S		HG1606S		HG1607S		HG1601S	
			受口	HG1705U		HG1706U		HG1707U		HG1701U	
			差口	HG1705S		HG1706S		HG1707S		HG1701S	
			受口	HG1105U		HG1106U		HG1107U		HG1101U	
			差口	HG1105S		HG1106S		HG1107S		HG1101S	

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	●横枝管呼び径							
				50		65		75		100	
3枝	27,200		受口	HG1555U		HG1556U		HG1557U		HG1551U	
			差口	HG1555S		HG1556S		HG1557S		HG1551S	
			受口	HG1565U		HG1566U		HG1567U		HG1561U	
			差口	HG1565S		HG1566S		HG1567S		HG1561S	
			受口	HG1575U		HG1576U	★	HG1577U		HG1571U	
			差口	HG1575S		HG1576S		HG1577S		HG1571S	
			受口	HG1515U		HG1516U		HG1517U		HG1511U	
			差口	HG1515S		HG1516S		HG1517S		HG1511S	
			受口	HG1655U		HG1656U		HG1657U		HG1651U	
			差口	HG1655S		HG1656S		HG1657S		HG1651S	
			受口	HG1665U		HG1666U		HG1667U		HG1661U	
			差口	HG1665S		HG1666S		HG1667S		HG1661S	
			受口	HG1675U	★	HG1676U		HG1677U		HG1671U	
			差口	HG1675S		HG1676S		HG1677S		HG1671S	
			受口	HG1615U		HG1616U		HG1617U		HG1611U	
			差口	HG1615S		HG1616S		HG1617S		HG1611S	
			受口	HG1755U		HG1756U		HG1757U		HG1751U	
			差口	HG1755S		HG1756S		HG1757S		HG1751S	
			受口	HG1765U		HG1766U		HG1767U		HG1761U	
			差口	HG1765S		HG1766S		HG1767S		HG1761S	
			受口	HG1775U		HG1776U		HG1777U		HG1771U	
			差口	HG1775S		HG1776S		HG1777S		HG1771S	
			受口	HG1715U		HG1716U		HG1717U		HG1711U	
			差口	HG1715S		HG1716S		HG1717S		HG1711S	
			受口	HG1155U		HG1156U		HG1157U		HG1151U	
			差口	HG1155S		HG1156S		HG1157S		HG1151S	
			受口	HG1165U		HG1166U		HG1167U		HG1161U	
			差口	HG1165S		HG1166S		HG1167S		HG1161S	
			受口	HG1175U		HG1176U		HG1177U		HG1171U	
			差口	HG1175S		HG1176S		HG1177S		HG1171S	
	受口	HG1115U		HG1116U		HG1117U		HG1111U			
	差口	HG1115S		HG1116S		HG1117S		HG1111S			

※★は標準品です。その他は受注生産品となります。
※便器排水の流入対面に横枝管を接続しないでください。(P.54参照)

■耐火プラAD継手HG (立て管75A)



差口M: 品番末尾のSをMに変えてください。
下表価格の6,000円加算となります。
※差口Mは全て受注生産品です。

横枝呼び径	耐火プラAD HG	
	A寸法	B寸法
CO栓	107mm	—
50	139mm	42mm
65		51mm
75		58mm
100	160mm	71mm

■横枝管 ゴム輪受口 品揃え
・横枝管枝数0枝

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	横枝管無し	
0枝	22,140		受口	HG7U	
			差口	HG7S	

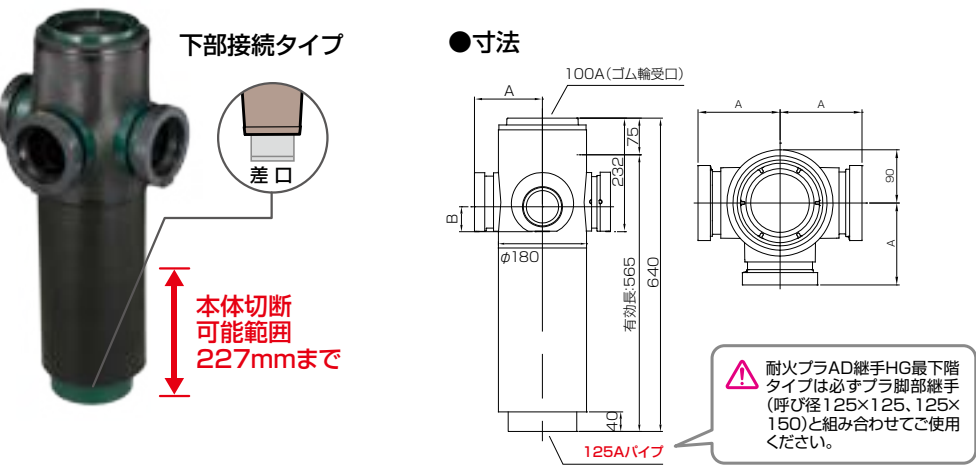
・横枝管枝数1～3枝

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	●横枝管呼び径			
				50	65	75	
1枝	22,140		受口	HG75U	★	HG76U	HG77U
			差口	HG75S		HG76S	HG77S
2枝 90°	24,040		受口	HG755U	★	HG756U	HG757U
			差口	HG755S		HG756S	HG757S
			受口	HG765U		HG766U	HG767U
			差口	HG765S		HG766S	HG767S
			受口	HG775U		HG776U	HG777U
			差口	HG775S		HG776S	HG777S
2枝 180°	24,040		受口	HG7505U		HG7506U	HG7507U
			差口	HG7505S		HG7506S	HG7507S
			受口	HG7605U		HG7606U	HG7607U
			差口	HG7605S		HG7606S	HG7607S
			受口	HG7705U		HG7706U	HG7707U
			差口	HG7705S		HG7706S	HG7707S

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	●横枝管呼び径			
				50	65	75	
3枝	25,940		受口	HG7555U	HG7556U	HG7557U	
			差口	HG7555S	HG7556S	HG7557S	
			受口	HG7565U	HG7566U	HG7567U	
			差口	HG7565S	HG7566S	HG7567S	
			受口	HG7575U	HG7576U	HG7577U	
			差口	HG7575S	HG7576S	HG7577S	
			受口	HG7655U	HG7656U	HG7657U	
			差口	HG7655S	HG7656S	HG7657S	
			受口	HG7665U	HG7666U	HG7667U	
			差口	HG7665S	HG7666S	HG7667S	
			受口	HG7675U	HG7676U	HG7677U	
			差口	HG7675S	HG7676S	HG7677S	
			受口	HG7755U	HG7756U	HG7757U	
			差口	HG7755S	HG7756S	HG7757S	
			受口	HG7765U	HG7766U	HG7767U	
			差口	HG7765S	HG7766S	HG7767S	
			受口	HG7775U	HG7776U	HG7777U	
			差口	HG7775S	HG7776S	HG7777S	

※★は標準品です。その他は受注生産品となります。
※便器排水の流入対面に横枝管を接続しないでください。(P.54参照)

■耐火プラAD継手HG 最下階タイプ (立て管100A)



横枝 呼び径	耐火プラAD HG	
	A寸法	B寸法
C0栓	107mm	—
50	139mm	42mm
65		51mm
75		58mm
100	160mm	71mm

⚠ 耐火プラAD継手HG最下階タイプ本体下部への管の接続・延長は行わないでください。
必ず最下階タイプ本体下部とプラ脚部継手を直接接続してください。

■横枝管 ゴム輪受口 品揃え
・横枝管枝数0枝

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	横枝管無し	
0枝	23,410		差口	HL1S	

・横枝管枝数1～3枝

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	●横枝管呼び径							
				50		65		75		100	
1枝	23,410		差口	HL15S	★	HL16S	★	HL17S	★	HL11S	★
2枝 90°	25,300		差口	HL155S		HL156S		HL157S		HL151S	
			差口	HL165S		HL166S		HL167S	★	HL161S	
			差口	HL175S		HL176S	★	HL177S	★	HL171S	
			差口	HL115S		HL116S		HL117S		HL111S	
			差口	HL115S		HL116S		HL117S		HL111S	
2枝 180°	25,300		差口	HL1505S		HL1506S		HL1507S		HL1501S	
			差口	HL1605S		HL1606S		HL1607S		HL1601S	
			差口	HL1705S		HL1706S		HL1707S		HL1701S	
			差口	HL1105S		HL1106S		HL1107S		HL1101S	

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	●横枝管呼び径							
				50		65		75		100	
3枝	27,200		差口	HL1555S		HL1556S		HL1557S		HL1551S	
			差口	HL1565S		HL1566S		HL1567S		HL1561S	
			差口	HL1575S		HL1576S		HL1577S		HL1571S	
			差口	HL1515S		HL1516S		HL1517S		HL1511S	
			差口	HL1655S		HL1656S		HL1657S		HL1651S	
			差口	HL1665S		HL1666S		HL1667S		HL1661S	
			差口	HL1675S		HL1676S		HL1677S		HL1671S	
			差口	HL1615S		HL1616S		HL1617S		HL1611S	
			差口	HL1755S		HL1756S		HL1757S		HL1751S	
			差口	HL1765S		HL1766S		HL1767S		HL1761S	
			差口	HL1775S		HL1776S		HL1777S		HL1771S	
			差口	HL1715S		HL1716S		HL1717S		HL1711S	
			差口	HL1155S		HL1156S		HL1157S		HL1151S	
			差口	HL1165S		HL1166S		HL1167S		HL1161S	
			差口	HL1175S		HL1176S		HL1177S		HL1171S	
			差口	HL1115S		HL1116S		HL1117S		HL1111S	

※★は標準品です。その他は受注生産品となります。
※便器排水の流入対面に横枝管を接続しないでください。(P.54参照)

■耐火プラAD継手HG 最下階タイプ (立て管75A)

下部接続タイプ

差口

本体切断
可能範囲
227mmまで

●寸法

75A(ゴム輪受口)

232

640

180

565

125A/パイプ

90

横枝 呼び径	耐火プラAD HG	
	A寸法	B寸法
C0栓	107mm	—
50	139mm	42mm
65		51mm
75		58mm
100	160mm	71mm

⚠ 耐火プラAD継手HG最下階タイプは必ずプラ脚部継手(呼び径125×125、125×150)と組み合わせてご使用ください。

⚠ 耐火プラAD継手HG最下階タイプ本体下部への管の接続・延長は行わないでください。必ず最下階タイプ本体下部とプラ脚部継手を直接接続してください。

■横枝管 ゴム輪受口 品揃え

・横枝管枝数0枝

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	横枝管無し	
0枝	22,140		差口	HL7S	

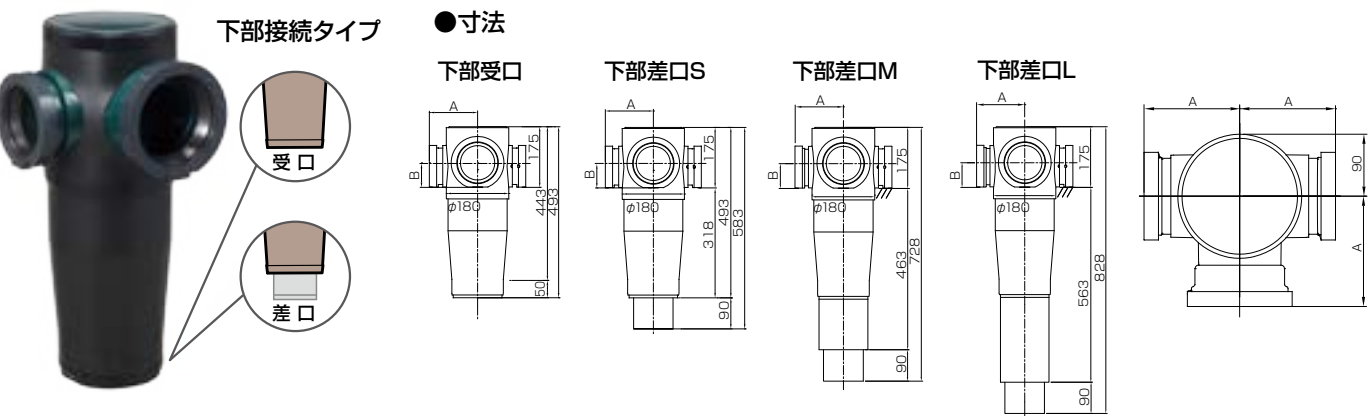
・横枝管枝数1～3枝

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	●横枝管呼び径				
				50	65		75	
1枝	22,140		差口	HL75S	★	HL76S		HL77S
2枝 90°	24,040		差口	HL755S		HL756S		HL757S
			差口	HL765S		HL766S		HL767S
			差口	HL775S		HL776S		HL777S
2枝 180°	24,040		差口	HL7505S		HL7506S		HL7507S
			差口	HL7605S		HL7606S		HL7607S
			差口	HL7705S		HL7706S		HL7707S

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	●横枝管呼び径			
				50	65	75	
3枝	25,940		差口	HL7555S	HL7556S	HL7557S	
			差口	HL7565S	HL7566S	HL7567S	
			差口	HL7575S	HL7576S	HL7577S	
			差口	HL7655S	HL7656S	HL7657S	
			差口	HL7665S	HL7666S	HL7667S	
			差口	HL7675S	HL7676S	HL7677S	
			差口	HL7755S	HL7756S	HL7757S	
			差口	HL7765S	HL7766S	HL7767S	
			差口	HL7775S	HL7776S	HL7777S	
			差口	HL7785S	HL7786S	HL7787S	

※★は標準品です。その他は受注生産品となります。
※便器排水の流入対面に横枝管を接続しないでください。(P.54参照)

■耐火プラAD継手HG 最上階タイプ (立て管100A)



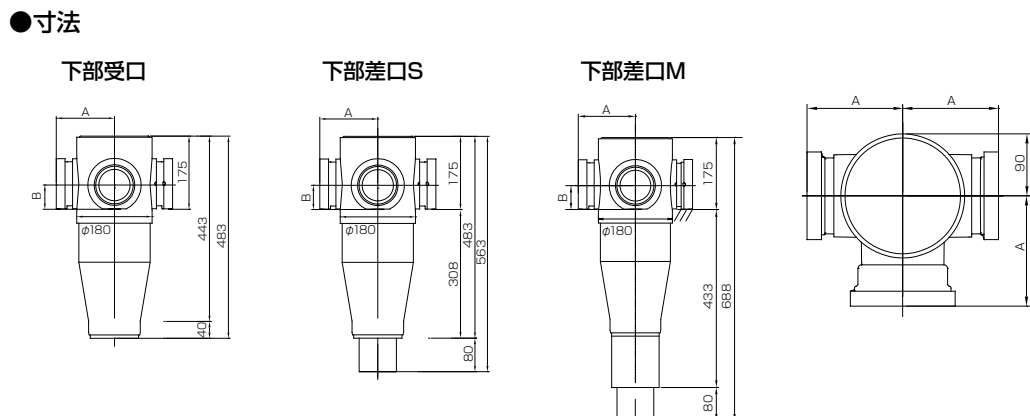
差口M：品番末尾のSをMに変えてください。
下表価格の6,000円加算となります。
差口L：品番末尾のSをLに変えてください。
下表価格の8,000円加算となります。
※差口Mと差口Lは全て受注生産品です。

横枝呼び径	耐火プラAD HG	
	A寸法	B寸法
CO栓	107mm	—
50	139mm	42mm
65		51mm
75		58mm
100	160mm	71mm

■横枝管 ゴム輪受口 品揃え

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	●横枝管呼び径			
				50	65	75	100
最上階 通気+1枝	25,300		受口	HU151U	HU161U	HU171U	
			差口	HU151S	HU161S	HU171S	
			受口	HU115U	HU116U	HU117U	HU111U
			差口	HU115S	HU116S	HU117S	HU111S
最上階 通気+2枝	27,200		受口	HU1551U	HU1561U	HU1571U	
			差口	HU1551S	HU1561S	HU1571S	
			受口	HU1515U	HU1516U	HU1517U	HU1511U
			差口	HU1515S	HU1516S	HU1517S	HU1511S
			受口	HU1651U	HU1661U	HU1671U	
			差口	HU1651S	HU1661S	HU1671S	
			受口	HU1615U	HU1616U	HU1617U	HU1611U
			差口	HU1615S	HU1616S	HU1617S	HU1611S
			受口	HU1751U	HU1761U	HU1771U	
			差口	HU1751S	HU1761S	HU1771S	
			受口	HU1715U	HU1716U	HU1717U	HU1711U
			差口	HU1715S	HU1716S	HU1717S	HU1711S
			受口	HU1155U	HU1156U	HU1157U	HU1151U
			差口	HU1155S	HU1156S	HU1157S	HU1151S
			受口	HU1165U	HU1166U	HU1167U	HU1161U
			差口	HU1165S	HU1166S	HU1167S	HU1161S
			受口	HU1175U	HU1176U	HU1177U	HU1171U
			差口	HU1175S	HU1176S	HU1177S	HU1171S
			受口	HU1115U	HU1116U	HU1117U	HU1111U
			差口	HU1115S	HU1116S	HU1117S	HU1111S

■耐火プラAD継手HG 最上階タイプ (立て管75A)



差口M：品番末尾のSをMに変えてください。
下表価格の6,000円加算となります。

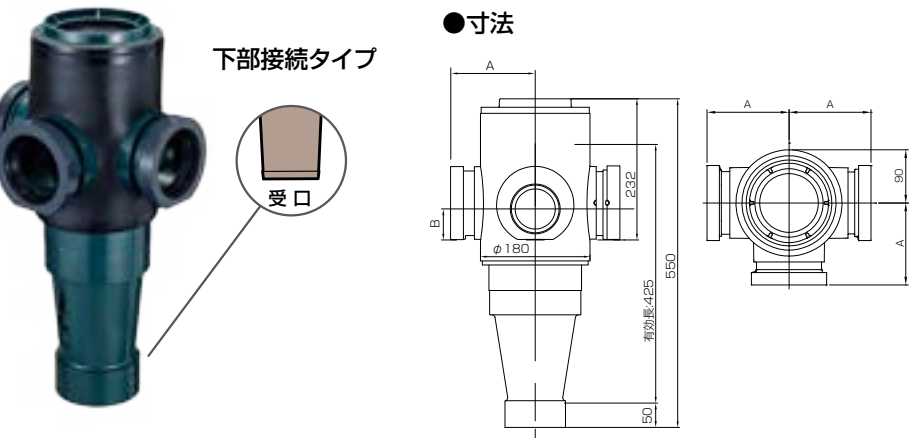
横枝呼び径	耐火プラAD HG	
	A寸法	B寸法
CO栓	107mm	—
50	139mm	42mm
65		51mm
75		58mm
100	160mm	71mm

■横枝管 ゴム輪受口 品揃え

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	●横枝管呼び径		
				50	65	75
最上階 通気+1枝	24,040		受口	HU757U	HU767U	
			差口	HU757S	HU767S	
			受口	HU775U	HU776U	HU777U
			差口	HU775S	HU776S	HU777S
最上階 通気+2枝	25,940		受口	HU7557U	HU7567U	
			差口	HU7557S	HU7567S	
			受口	HU7575U	HU7576U	HU7577U
			差口	HU7575S	HU7576S	HU7577S
			受口	HU7657U	HU7667U	
			差口	HU7657S	HU7667S	
			受口	HU7675U	HU7676U	HU7677U
			差口	HU7675S	HU7676S	HU7677S
			受口	HU7755U	HU7756U	HU7757U
			差口	HU7755S	HU7756S	HU7757S
			受口	HU7765U	HU7766U	HU7767U
			差口	HU7765S	HU7766S	HU7767S
			受口	HU7775U	HU7776U	HU7777U
			差口	HU7775S	HU7776S	HU7777S

※★は標準品です。その他は受注生産品となります。
※便器排水の流入対面に横枝管を接続しないでください。(P.54参照)

■耐火プラAD継手SG（立て管100A）



横枝 呼び径	耐火プラAD SG	
	A寸法	B寸法
C0栓	107mm	—
50	139mm	42mm
65		51mm
75		58mm
100	160mm	71mm

■横枝管 ゴム輪受口 品揃え

・横枝管枝数0枝

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	横枝管無し
0枝	18,350		受口	SG1U

・横枝管枝数1～3枝

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	●横枝管呼び径							
				50	65	75	100				
1枝	18,350		受口	SG15U	★	SG16U	★	SG17U	★	SG11U	
2枝 90°	20,240		受口	SG155U		SG156U		SG157U		SG151U	
			受口	SG165U		SG166U		SG167U	★	SG161U	
			受口	SG175U		SG176U	★	SG177U	★	SG171U	
			受口	SG115U		SG116U		SG117U		SG111U	
2枝 180°	20,240		受口	SG1505U		SG1506U		SG1507U		SG1501U	
			受口	SG1605U		SG1606U		SG1607U		SG1601U	
			受口	SG1705U		SG1706U		SG1707U		SG1701U	
			受口	SG1105U		SG1106U		SG1107U		SG1101U	

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	●横枝管呼び径							
				50	65	75	100				
3枝	22,140		受口	SG1555U		SG1556U		SG1557U		SG1551U	
			受口	SG1565U		SG1566U		SG1567U		SG1561U	
			受口	SG1575U		SG1576U		SG1577U		SG1571U	
			受口	SG1515U		SG1516U		SG1517U		SG1511U	
			受口	SG1655U		SG1656U		SG1657U		SG1651U	
			受口	SG1665U		SG1666U		SG1667U		SG1661U	
			受口	SG1675U		SG1676U		SG1677U		SG1671U	
			受口	SG1615U		SG1616U		SG1617U		SG1611U	
			受口	SG1755U		SG1756U		SG1757U		SG1751U	
			受口	SG1765U		SG1766U		SG1767U		SG1761U	
			受口	SG1775U		SG1776U		SG1777U		SG1771U	
			受口	SG1715U		SG1716U		SG1717U		SG1711U	
			受口	SG1155U		SG1156U		SG1157U		SG1151U	
			受口	SG1165U		SG1166U		SG1167U		SG1161U	
			受口	SG1175U		SG1176U		SG1177U		SG1171U	
			受口	SG1115U		SG1116U		SG1117U		SG1111U	

※★は標準品です。その他は受注生産品となります。
※耐火プラAD継手SGの最上階タイプと最下階タイプの品揃えはありません。
※便器排水の流入対面に横枝管を接続しないでください。(P.54参照)

品揃え・規格 耐火プラAD継手 HG・SG

■耐火プラAD継手SG（立て管75A）

下部接続タイプ

●寸法

横枝 呼び径	耐火プラAD SG	
	A寸法	B寸法
CO栓	107mm	—
50	139mm	42mm
65		51mm
75		58mm
100	160mm	71mm

■横枝管 ゴム輪受口 品揃え

・横枝管枝数0枝

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	横枝管無し
0枝	17,080		受口	SG7U

・横枝管枝数1～3枝

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	●横枝管呼び径		
				50	65	75
1枝	17,080		受口	SG75U	★ SG76U	SG77U
2枝 90°	18,980		受口	SG755U	SG756U	SG757U
			受口	SG765U	SG766U	SG767U
			受口	SG775U	SG776U	SG777U
2枝 180°	18,980		受口	SG7505U	SG7506U	SG7507U
			受口	SG7605U	SG7606U	SG7607U
			受口	SG7705U	SG7706U	SG7707U
3枝	20,880		受口	SG7555U	SG7556U	SG7557U
			受口	SG7565U	SG7566U	SG7567U
			受口	SG7575U	SG7576U	SG7577U
			受口	SG7655U	SG7656U	SG7657U
			受口	SG7665U	SG7666U	SG7667U
			受口	SG7675U	SG7676U	SG7677U
			受口	SG7755U	SG7756U	SG7757U
			受口	SG7765U	SG7766U	SG7767U
			受口	SG7775U	SG7776U	SG7777U

※★は標準品です。その他は受注生産品となります。 ※耐火プラAD継手SGの最上階タイプと最下階タイプの品揃えはありません。
※便器排水の流入対面に横枝管を接続しないでください。(P.54参照)

品揃え・規格 耐火プラAD継手HG・SG 関連製品

耐火プラAD継手HG・SG用防振支持金具

■耐火プラAD継手HG・SG用防振支持金具（100・75・2段兼用）

※最下階、最上階タイプも兼用

品 番	価格(円/個)	入 数
SJKPAD	6,270	5個

⚠ 耐火プラAD継手HGは枝浮かしにより支持金具の全ねじボルト長さが不足する場合があります。その場合は現地調達(全ねじボルトW1/2)をお願いします。

■支持固定箇所

- ・耐火プラAD継手HG・SGの支持金具 固定位置シールの矢印が隠れる位置に取り付けてください。
- ・耐火プラAD継手HGを施工する場合は必ず本支持金具を取り付けてください。

- ⚠ 耐火プラAD継手HGを枝浮かし配管する際は、継手横枝管底とスラブ上面の距離は140mm以下としてください。
- ⚠ 耐火プラAD継手SGを枝浮かし配管する際は、継手横枝管底とスラブ上面の距離は50mm以下としてください。
- ⚠ 脚部継手はスラブに埋設しないでください。

支持金具 固定位置

矢印が完全に隠れる位置に支持金具を取り付けて下さい

支持金具固定位置シールの上端から枝下までの寸法

- ・HG最上階タイプ :150
- ・上記以外のHG,SG :165

※他の位置を支持固定すると継手が凹み、遮音性能などが低下する恐れがあります。

耐火プラAD継手用遮音カバー

■耐火プラAD継手用遮音カバー

種 類	品 番	価格(円/枚)	入 数	梱包重量(kg/個)
耐火プラAD継手用 呼び径100,75共通	FSPADC	5,780	12枚(1枚/袋×12)	12.5

※受口付立て管の受口部分の遮音にご使用ください。
※ジョイントテープ2枚同梱

■遮音カバー用ジョイントテープ

品 番	価格(円/巻)	長 さ	入 数
FSVPCT	8,210	10m	12巻(1巻×12)

使用量

呼び径	切断長さ(mm)	使用箇所数
50	250	40
65	300	33
75	350	28
100	450	22

耐火プラAD継手HG 二段タイプの特長

上下段に排水が必要な住戸タイプへ対応

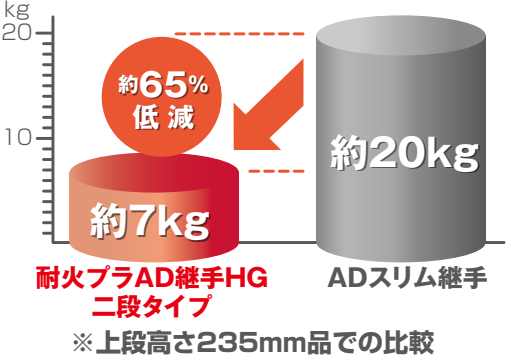
上段の便器排水、下段の台所排水や雑排水の二段タイプの単管式継手を必要とする住戸タイプに対応できます。

多彩な配管形態に対応

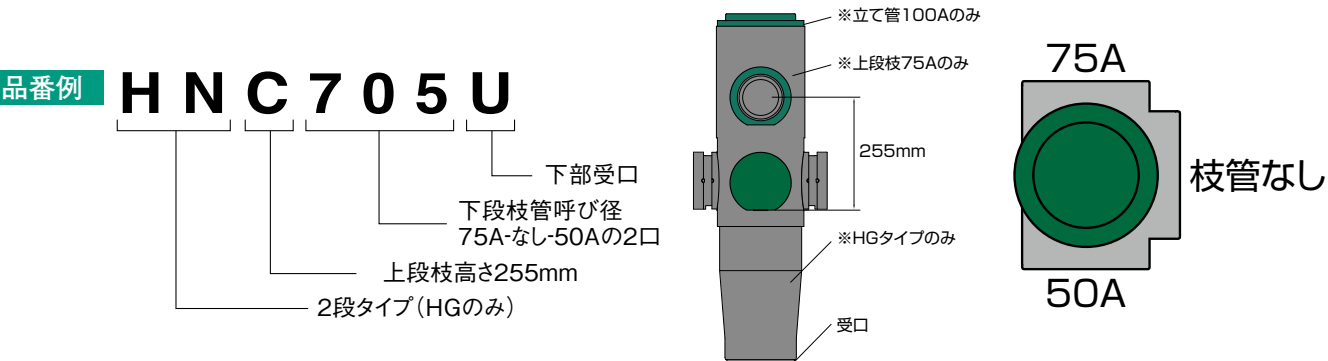
上段枝高さが235mmから405mmまでの**18段階**の高さまで対応の品揃えにより、従来の単管式二段タイプに対応できます。

軽量で施工が容易

立て管、横枝管にはエスロンパイプ・+(プラス)VPを接続可能。管、継手ともに軽量で作業性に優れています。また横枝管接続はゴム輪ワンタッチ接合で、パイプの熱伸縮の吸収も行います。



耐火プラAD継手HG 二段タイプ 品番の見方



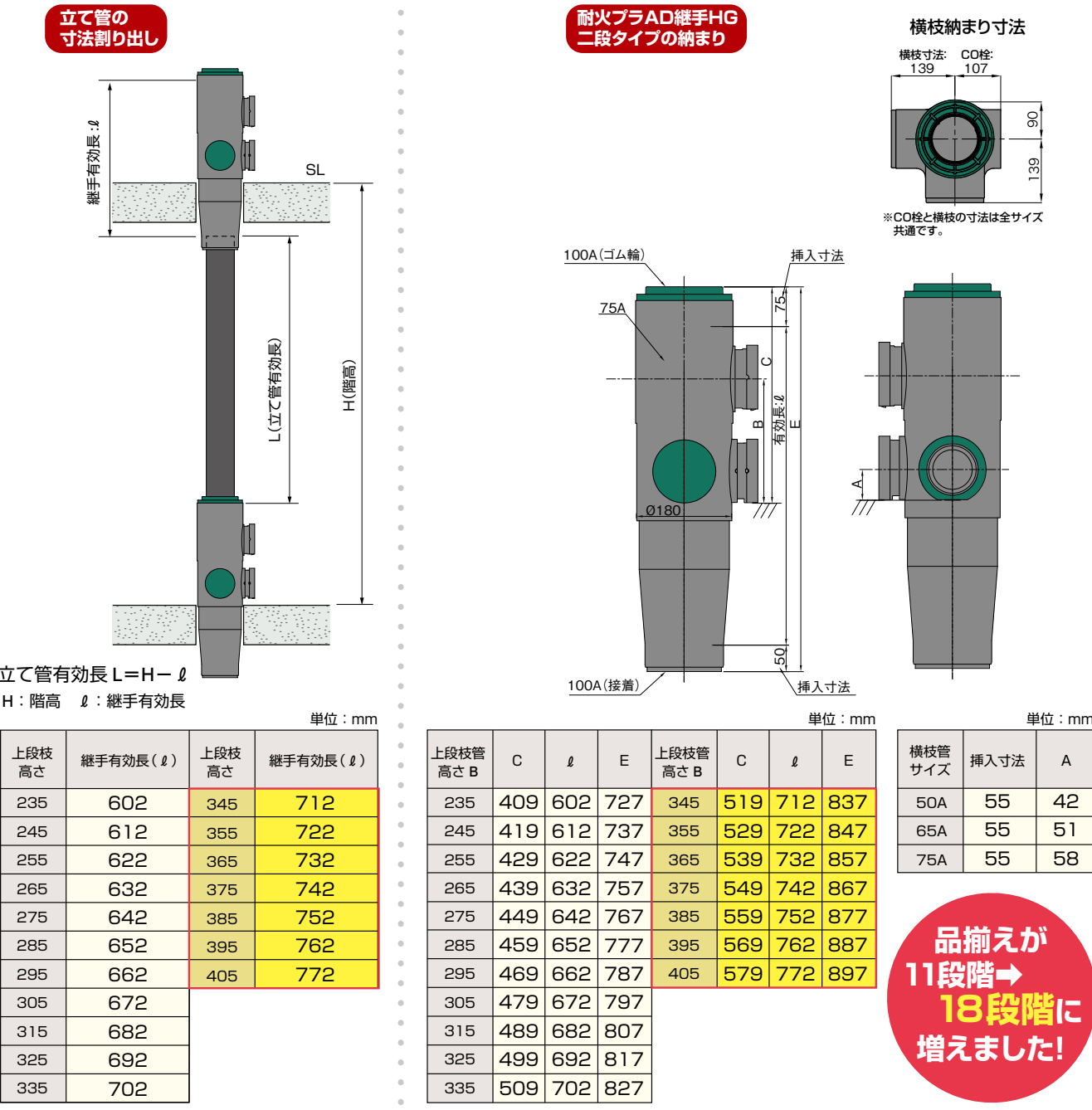
1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	5桁目	6桁目	7桁目
タイプ	上段枝高さ	枝管呼び径		下部接続		
HN	上段高さ 345mm~405mmの品揃え追加!		【上段】 75Aのみ		【下段】 品番4桁目 品番5桁目 品番6桁目	
	235mm ~ 405mm		255mm		単位: mm	
	高さ	品番	高さ	品番	高さ	品番
	235	A	295	G	355	M
	245	B	305	H	365	N
	255	C	315	I	375	O
	265	D	325	J	385	P
	275	E	335	K	395	Q
	285	F	345	L	405	R
			枝管呼び径	品番	受口:U 差口:S	
				50A	5	
				65A	6	
				75A	7	
				枝管なし	なし又は0	

■価格表

上段 呼び径	下段		上段枝高さ	定価(円/個)
	横枝管	呼び径		
75	枝無し	—	235~405	43,010
	1方向	75, 65, 50		45,540
	2方向	75×75, 75×65, 75×50		
		65×65, 65×50		
		50×50		48,070
	3方向	75×75×75, 75×75×65, 75×75×50		
		75×65×65, 75×65×50		
		75×50×50		
		65×65×65, 65×65×50		
		65×50×50		
		50×50×50		

※品揃え、品番は設計積算価格表をご参照ください。

■配管の納まり



エスロンパイプ・+(プラス)VP

反りにくさ歴代No.1 になって新発売。

耐火プラAD継手HG・SGには
エスロンパイプ・+(プラス)VPをご使用ください!

エスロンパイプ・+(プラス)パワーアップした性能 **+** 温暖化に伴う塩ビ管への影響を
最小限に抑えるため**対湾曲性能を強化**

基本性能にプラス

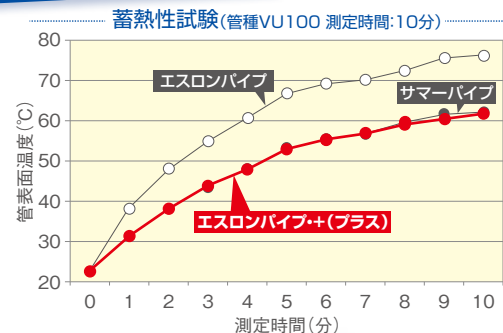
基本性能一覧

評価項目		評価方法	単位	エスロンパイプ	エスロンサマーパイプ	エスロンパイプ・+(プラス)
サマー性能	蓄熱性	自社評価※1	〔℃〕	76.2	62.1	61.8
	反り・湾曲	自社評価※2	—	BM(ベンチマーク)	湾曲量1/2以下	湾曲量1/2以下

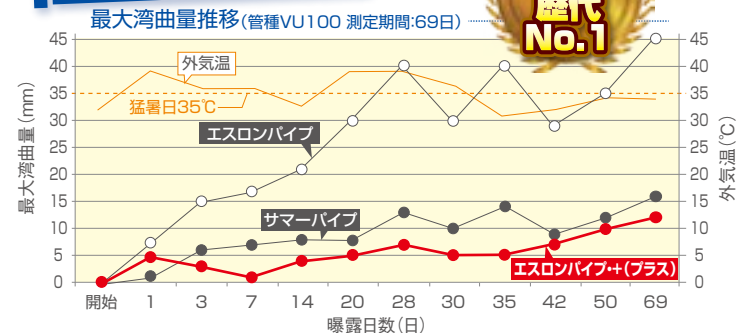
※1 赤外線ランプ照射による管表面温度の上昇を測定。照射10分時点の管表面温度を比較(当社調べ)

※2 屋外における湾曲量推移及び最大湾曲蓄積量推移の比較(当社調べ)

蓄熱性にプラス



最大湾曲量にプラス

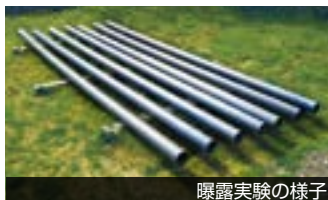


エスロンパイプの歴史の中で
反りにくさ
歴代
No.1

エスロンパイプ・+(プラス)パワーアップした特長 **+** 積水化学の配合技術が**時代の変化にプラス!**

年間通して**反りに強い**

反りに強いので安心して通年で保管できます。湾曲が抑えられるので取扱いやすさにもプラス! 施工のスピードアップに貢献します。



曝露実験の様子

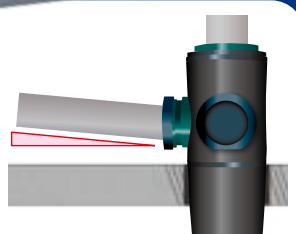


実際に反りが発生した様子

※保管場所は原則的に屋内とし、やむをえず屋外に保管するときは屋根を設けるか、シート掛けなどで直射日光を避けるとともに、熱気がこもらないように風通しのよい状態に保ってください。

反りに強いので
勾配出しが容易

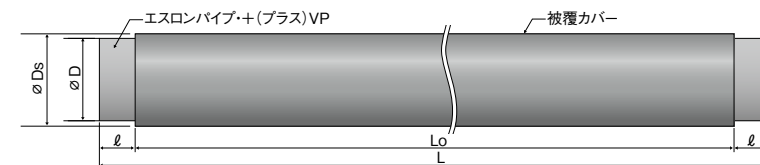
勾配出しが容易にできるので、ここでも施工のスピードアップに貢献します。



呼び径	外径(D)	外径の許容差(平均)	厚さ(t)		近似内径(参考)	長さ(L)	参考質量(kg/m)	品番	価格(円/本)
			最小	許容差					
40	48	±0.2	3.6	+0.8	40	4,000±10	0.791	VP404	3,430
50	60	±0.2	4.1	+0.8	51	4,000±10	1.122	VP504	4,840
65	76	±0.3	4.1	+0.8	67	4,000±10	1.445	VP654	6,170
75	89	±0.3	5.5	+0.8	77	2,900±10 4,000±10	2.202	VP7529 VP754	7,820 9,470
100	114	±0.4	6.6	+1.0	100	2,900±10 4,000±10	3.409	VP1H29 VP1H4	11,480 13,920
125	140	±0.5	7.0	+1.0	125	4,000±10	4.464	VP1Q4	17,860
150	165	±0.5	8.9	+1.4	146	4,000±10	6.701	VP1F4	26,810

※参考質量は比重を1.43として計算した参考数値であり規格の一部ではありません。

VPパイプS

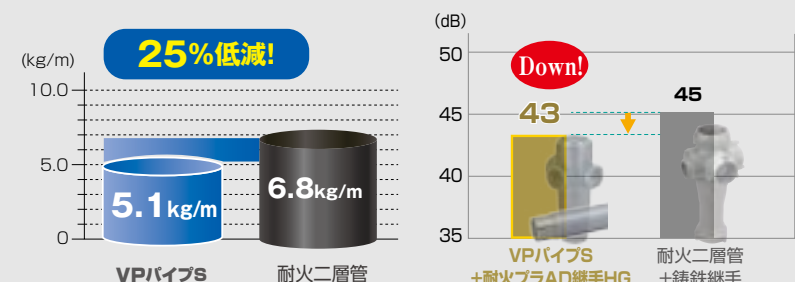


単位:mm

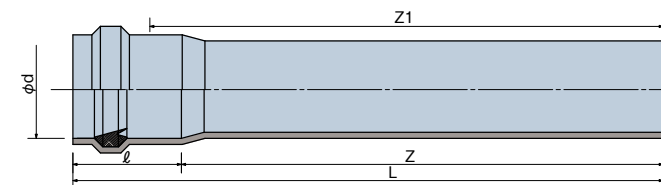
呼び径	VPパイプS 外径Ds	内管 VP 外径D			内管 VP 長さ L	被覆カバー 長さ Lo	管端長さ ℓ[標準]	標準重量 (kg/本)	品番	価格 (円/本)
		基準寸法	最大・最小外径の許容差	平均外径の許容差						
75	102.0	89.0	±0.50	±0.30	2900±10	2800±10	50	10.29	VP7529S	9,870
100	127.0	114.0	±0.60	±0.40	2900±10	2800±10	50	14.77	VP1H29S	13,820

VPパイプSの特長

耐火二層管と比べて軽く、耐火プラAD継手HGと組み合わせることで耐火二層管や鋳鉄継手以上の遮音性能を発揮します。



VP受口付立て管



単位:mm

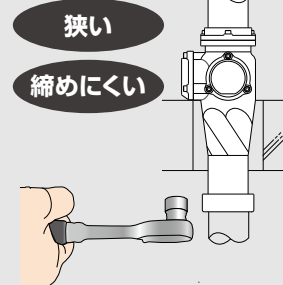
呼び径	L	Z	Z1	ℓ	d	品番	価格 (円/本)
75	2,880	2,763±20	2,800	117 ⁺⁵ ₀	90.0±0.25	VP7529R	10,630
100	2,880	2,753±20	2,790	127 ⁺⁵ ₀	115.0±0.40	VP1H29R	15,180

※VP受口付立て管は、耐火プラAD継手HG・SGの立て管にのみご使用いただけます。
※受口付立て管は熱伸縮の吸収用には使用できません。

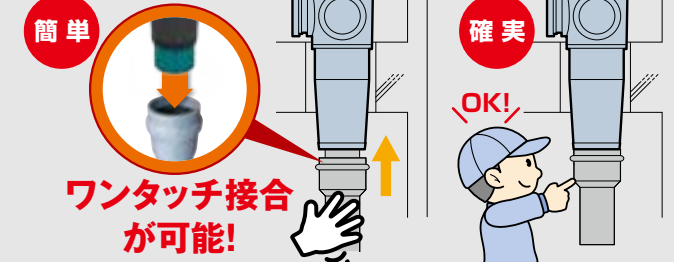
VP受口付き立て管の特長

耐火プラAD継手HG差口タイプと組み合わせることでワンタッチ接続が可能。簡単施工で**確実な止水性**を発揮します。

■フランジ接続の場合



■耐火プラAD差口+VP受口付立て管の場合



VPパイプ用遮音カバー

単位:mm

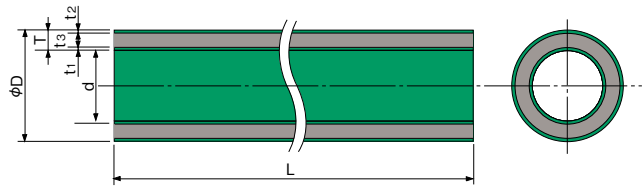
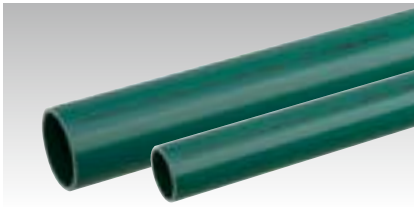
種類		W	入数	梱包重量(kg/箱)	品番	価格 (円/本)
VPパイプ用	75A(立て管サイズ)	162	6本(2本/袋×3)	8.8	VPC75	5,700
	100A(立て管サイズ)	201	6本(2本/袋×3)	10.5	VPC1H	5,930

※VPパイプ用遮音カバーで防火区画貫通はできません。

※ジョイントテープ1枚同梱

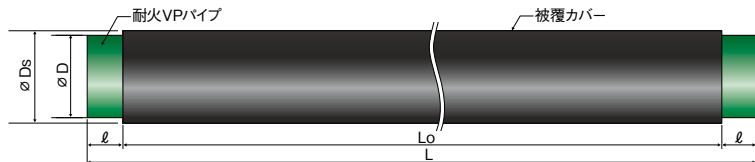
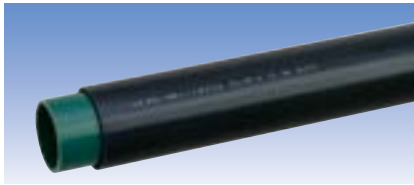
品揃え・規格 耐火VPパイプ、耐火VPパイプS、耐火VP受口付立て管、遮音カバー

耐火VPパイプ



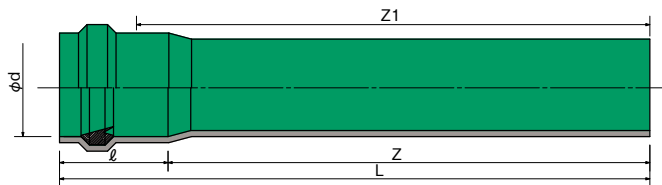
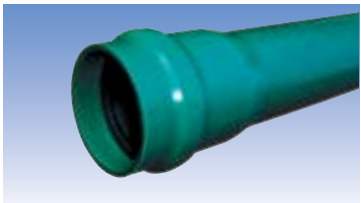
呼び径	外 径 D			全体厚さ T		内層厚さ t1 外層厚さ t2	中間層厚さ t3	長 さ L		参 考		品 番	価 格 (円/本)
	基準寸法	最大・最小 外径の許容差	平均外径 の許容差	基準寸法	許容差	最小	最小	基準寸法	許容差	近似内径 d	質 量 (kg/m)		
40	48.0	±0.30	±0.20	4.0	±0.4	0.3	2.1	4,000	±10	40	0.797	FSVP404	5,970
50	60.0	±0.40	±0.20	4.5	±0.4	0.3	2.4	4,000	±10	51	1.132	FSVP504	7,280
65	76.0	±0.50	±0.30	4.5	±0.4	0.3	2.4	4,000	±10	67	1.458	FSVP654	10,050
75	89.0	±0.50	±0.30	5.9	±0.4	0.4	3.2	2,900 4,000	±10	77	2.221	FSV7529 FSVP754	10,190 12,090
100	114.0	±0.60	±0.40	7.1	±0.5	0.5	3.9	2,900 4,000	±10	100	3.438	FSV1H29 FSVP1H4	14,550 17,610
125	140.0	±0.80	±0.50	7.5	±0.5	0.6	4.1	4,000	±10	125	4.501	FSVP1Q4	24,890
150	165.0	±1.00	±0.50	9.6	±0.7	0.7	5.3	4,000	±10	146	6.746	FSVP1F4	32,750
200	216.0	±1.30	±0.70	11.0	±0.7	0.9	6.4	4,000	±10	194	10.213	FSVP2H4	58,780

耐火VPパイプS



呼び径	耐火VPパイプS 外径Ds	内管 耐火VP 外径D			内管 耐火VP	被覆カバー	管端長さ	標準重量 (kg/本)	品 番	価 格 (円/本)
		基準寸法	最大・最小外径 の許容差	平均外径 の許容差	長さ L	長さ Lo	ℓ [標準]			
75	102.0	89.0	±0.50	±0.30	2900±10	2800±10	50	10.29	FS7529S	14,270
100	127.0	114.0	±0.60	±0.40	2900±10	2800±10	50	14.77	FS1H29S	20,530

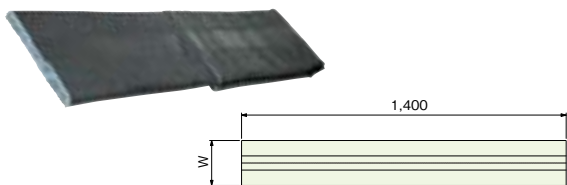
耐火VP受口付立て管



呼び径	L	Z	Z1	ℓ	d	品 番	価 格 (円/本)
75	2,880	2,763±20	2,800	117 ⁺⁵ ₀	90.0±0.25	FS7529R	18,040
100	2,880	2,753±20	2,790	127 ⁺⁵ ₀	115.0±0.40	FS1H29R	24,440

※耐火VP受口付立て管は、耐火ブラAD継手HG・SGの立て管にのみご使用いただけます。
※受口付立て管は熱伸縮の吸収用には使用できません。

耐火VPパイプ用遮音カバー

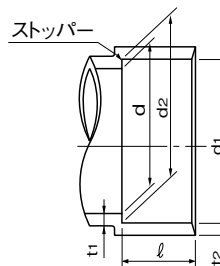


種 類	W	入 数	梱包重量 (kg/箱)	品 番	価 格 (円/本)
耐火VP パイプ用	50A(立て管サイズ)	116	6本(2本/袋×3)	FSVPC50	5,320
	65A(立て管サイズ)	141	6本(2本/袋×3)	FSVPC65	5,540
	75A(立て管サイズ)	162	6本(2本/袋×3)	FSVPC75	5,700
	100A(立て管サイズ)	201	6本(2本/袋×3)	FSVPC1H	5,930

※ジョイントテープ1枚同梱

品揃え・規格 耐火DV継手、透明耐火DV継手

耐火DV継手〈FS-DV〉



受口およびその他共通寸法

呼び径	d1		d2		ℓ		d		t1	t2
	基準寸法	許容差	基準寸法	許容差	基準寸法	許容差	基準寸法	許容差	最小寸法	最小寸法
40	48.30	±0.30	47.80	±0.30	22	±1	40.0	±0.9	2.7	2.5
50	60.35	±0.30	59.75	±0.30	25	±1	51.0	±0.9	3.1	3.0
65	76.40	±0.30	75.70	±0.30	35	±1	67.0	±0.9	3.1	3.0
75	89.45	±0.30	88.65	±0.30	40	±2	77.2	±0.9	3.6	3.4

呼び径	d1		d2		ℓ		d		t1	t2
	基準寸法	許容差	基準寸法	許容差	基準寸法	許容差	基準寸法	許容差	最小寸法	最小寸法
100	114.55	±0.35	113.55	±0.35	50	±2	98.8	±1.0	4.5	4.3
125	140.70	±0.40	139.40	±0.40	65	±2	125.0	±1.2	5.4	4.7
150	165.85	±0.45	164.25	±0.45	80	±2	145.8	±1.3	6.3	5.6
200	217.30	±0.55	215.00	±0.55	105	±2	194.0	±1.3	7.5	6.7

■コンパクト掃除口付継手



呼び径	L1	L2	L3	Z1	Z2	緑 色		透 明	
						品 番	価格(円)	品 番	価格(円)
75	88.5	88.5	73	48.5	48.5	FSCT75	5,820	SFCT75	6,400
100	98.5	98.5	84	48.5	48.5	FSCT1H	6,460	SFCT1H	7,110

■コンパクト掃除口付継手用遮音カバー



種 類	品 番	入 数	梱包数量 (kg/個)	価格(円/枚)
75A	FCSC075	12枚(1枚/袋×12)	6.3	5,630
100A	FCSC01H	12枚(1枚/袋×12)	7.1	5,700

※コンパクト掃除口付継手以外はご使用できません。

■ソケット〈DS〉



呼び径	Z	L	緑 色		透 明	
			品 番	価格(円)	品 番	価格(円)
40	3	47	FSDS40	700	SFDS40	780
50	3	53	FSDS50	810	SFDS50	890
65	3	73	FSDS65	970	SFDS65	1,070
75	4	84	FSDS75	1,070	SFDS75	1,170
100	4	104	FSDS1H	1,420	SFDS1H	1,560
125	4	134	FSDS1Q	2,190	SFDS1Q	2,410
150	4	164	FSDS1F	3,250	SFDS1F	3,580
200	5	215	—	—	SFDS2H	20,280

※ Zの許容差は±2mmとします。
※ Lは標準寸法を示します。

■90°エルボ〈DL〉



呼び径	Z	L	緑 色		透 明	
			品 番	価格(円)	品 番	価格(円)
40	27	49	FSDL40	920	SFDL40	1,010
50	33	58	FSDL50	1,160	SFDL50	1,270
65	42	77	FSDL65	1,400	SFDL65	1,540
75	48	88	FSDL75	1,620	SFDL75	1,770
100	62	112	FSDL1H	2,350	SFDL1H	2,600
125	75	140	FSDL1Q	3,540	SFDL1Q	3,910
150	88	168	FSDL1F	5,520	SFDL1F	6,070
200	113	218	—	—	SFDL2H	32,450

※ Zの許容差は±2mmとします。
※ Lは標準寸法を示します。
※ 流れ角度は91°10'±30'とします。

■45°エルボ〈45L〉



呼び径	Z	L	緑 色		透 明	
			品 番	価格(円)	品 番	価格(円)
40	14	36	FS4L40	890	SF4L40	980
50	18	43	FS4L50	1,050	SF4L50	1,140
65	22	57	FS4L65	1,300	SF4L65	1,420
75	25	65	FS4L75	1,450	SF4L75	1,580
100	30	80	FS4L1H	2,020	SF4L1H	2,230
125	38	103	FS4L1Q	3,170	SF4L1Q	3,490
150	44	124	FS4L1F	4,430	SF4L1F	4,870
200	48	153	—	—	SF4L2H	27,380

※ Zの許容差は±2mmとします。
※ Lは標準寸法を示します。

システム紹介

耐火ブラAD継手
HG・SG

耐火VPパイプシリーズ
エスロンパイプシリーズ

耐火DV継手
遮音継手

脚部継手
その他関連製品

継手の納まり

標準施工方法

注意事項

システム紹介

耐火ブラAD継手
HG・SG

耐火VPパイプシリーズ
エスロンパイプシリーズ

耐火DV継手
遮音継手

脚部継手
その他関連製品

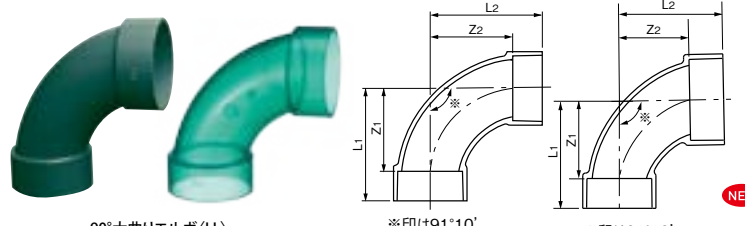
継手の納まり

標準施工方法

注意事項

品揃え・規格 耐火DV継手、透明耐火DV継手

■90°大曲リエルボ〈LL〉 径違い90°大曲リエルボ〈LL〉



90°大曲リエルボ〈LL〉

90°大曲リエルボ〈LL〉

径違い90°大曲リエルボ〈LL〉

※印は91°10'

※印は91°10'

単位:mm									
呼び径	Z1	Z2	L1	L2	緑 色		透 明		
					品 番	価格(円)	品 番	価格(円)	
40	52	52	74	74	FSLL40	1,490	SFLL40	1,640	
50	66	66	91	91	FSLL50	1,670	SFLL50	1,840	
65	90	90	125	125	FSLL65	2,000	SFLL65	2,210	
75	100	100	140	140	FSLL75	2,350	SFLL75	2,600	
100	128	128	178	178	FSLL1H	3,320	SFLL1H	3,650	
125	140	140	205	205	FSLL1Q	4,740	SFLL1Q	5,200	
150	170	170	250	250	FSLL1F	7,280	SFLL1F	8,010	
200	196	196	301	301	—	—	FSLL2H	40,560	
100×75	128	128	168	178	FSLL1H1	3,640	SFLL1H1	4,000	

※ Zの許容差は±2mmとします。
※ Lは標準寸法を示します。
※ 流れ角度は91°10'±30'とします。

■インクリーザ〈IN〉



インクリーザ〈IN〉

単位:mm							
呼び径	Z	L	緑 色		透 明		
			品 番	価格(円)	品 番	価格(円)	
50× 40	20	67	FSIN501	780	SFIN501	860	
65× 40	20	77	FSIN652	830	SFIN652	910	
65× 50	20	80	FSIN651	890	SFIN651	980	
75× 40	25	87	FSIN753	910	SFIN753	1,000	
75× 50	25	90	FSIN752	980	SFIN752	1,080	
75× 65	25	100	FSIN751	1,070	SFIN751	1,170	
100× 40	30	102	FSIN1H4	1,080	SFIN1H4	1,200	
100× 50	30	105	FSIN1H3	1,140	SFIN1H3	1,250	
100× 65	30	115	FSIN1H2	1,270	SFIN1H2	1,400	
100× 75	30	120	FSIN1H1	1,330	SFIN1H1	1,470	
125× 75	35	140	FSIN1Q2	1,820	SFIN1Q2	1,990	
125×100	35	150	FSIN1Q1	2,280	SFIN1Q1	2,510	
150×100	40	170	FSIN1F2	3,490	SFIN1F2	3,840	
150×125	40	185	FSIN1F1	3,610	SFIN1F1	3,980	

※ Zの許容差は±2mmとします。
※ Lは標準寸法を示します。

■偏芯インクリーザ〈IN〉



偏芯インクリーザ〈IN〉

単位:mm							
呼び径	Z	L	m	緑 色		透 明	
				品 番	価格(円)	品 番	価格(円)
50× 40	20	67	5.5	FSIH501	870	SFIH501	960
65× 50	20	80	8	FSIH651	990	SFIH651	1,090

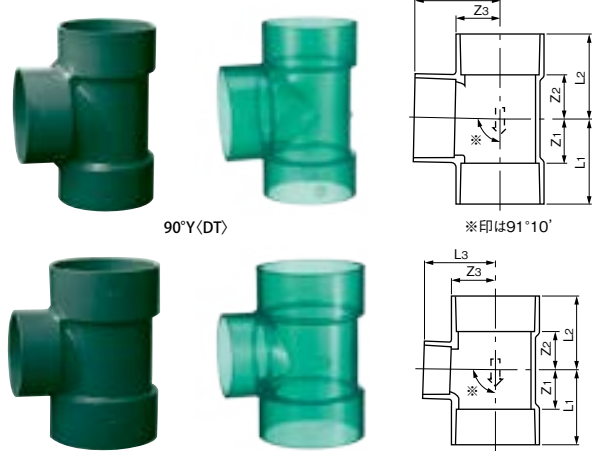
■ブッシュ〈BU〉



ブッシュ〈BU〉

単位:mm							
呼び径	D	L	緑 色		透 明		
			品 番	価格(円)	品 番	価格(円)	
200× 150	216	105	—	—	SFBU2H1	23,320	

■90°Y〈DT〉 径違い90°Y〈DT〉



90°Y〈DT〉

径違い90°Y〈DT〉

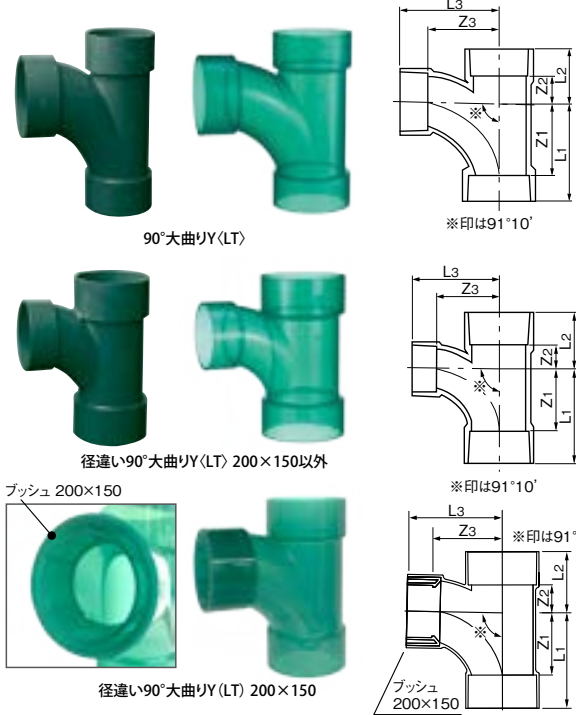
※印は91°10'

※印は91°10'

単位:mm												
呼び径	Z1	Z2	Z3	L1	L2	L3	緑 色		透 明			
							品 番	価格(円)	品 番	価格(円)		
40	27	27	27	49	49	49	FSDT40	910	SFDT40	1,000		
50	34	34	34	59	59	59	FSDT50	1,460	SFDT50	1,620		
65	42	43	42	77	78	77	FSDT65	1,900	SFDT65	2,090		
75	48	49	48	88	89	88	FSDT75	2,270	SFDT75	2,500		
100	62	63	62	112	113	112	FSDT1H	3,410	SFDT1H	3,750		
125	75	76	75	140	141	140	FSDT1Q	5,300	SFDT1Q	5,840		
150	89	90	89	169	170	169	FSDT1F	8,720	SFDT1F	9,590		
200	113	113	113	218	218	218	—	—	SFDT2H	49,680		
50× 40	27	27	33	52	52	55	FSDT501	1,400	SFDT501	1,540		
65× 40	27	28	42	62	63	64	FSDT652	1,520	SFDT652	1,670		
65× 50	34	35	42	69	70	67	FSDT651	1,790	SFDT651	1,970		
75× 40	27	28	48	67	68	70	FSDT753	1,520	SFDT753	1,670		
75× 50	34	35	48	74	75	73	FSDT752	1,930	SFDT752	2,120		
75× 65	42	43	48	82	83	83	FSDT751	2,130	SFDT751	2,340		
100× 40	27	28	62	77	78	84	FSDT1H4	2,440	SFDT1H4	2,680		
100× 50	34	35	62	84	85	87	FSDT1H3	2,570	SFDT1H3	2,830		
100× 65	42	43	62	92	93	97	FSDT1H2	2,830	SFDT1H2	3,100		
100× 75	48	49	62	98	99	102	FSDT1H1	2,990	SFDT1H1	3,290		
125×100	61.5	63	75	126.5	128	124.5	FSDT1Q1	4,740	SFDT1Q1	5,200		
150×100	61.5	62.5	90	141	142	140	FSDT1F2	7,690	SFDT1F2	8,460		

※ Z1、Z2、Z3の許容差は±2mmとします。
※ L1、L2、L3は標準寸法を示します。
※ 流れ角度は91°10'±30'とします。

■90°大曲りY〈LT〉 径違い90°大曲りY〈LT〉



90°大曲りY〈LT〉

径違い90°大曲りY〈LT〉 200×150以外

径違い90°大曲りY (LT) 200×150

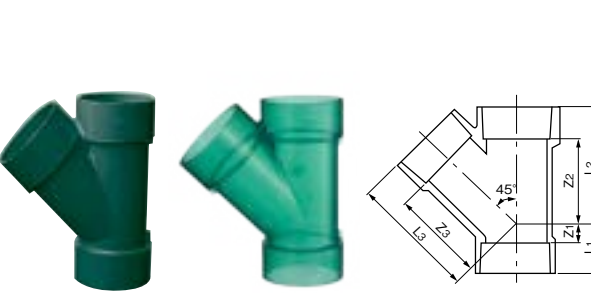
※印は91°10'

※印は91°10'

単位:mm												
呼び径	Z1	Z2	Z3	L1	L2	L3	緑 色		透 明			
							品 番	価格(円)	品 番	価格(円)		
40	52	23	52	74	45	74	FSLT40	1,460	SFLT40	1,620		
50	66	26	66	91	51	91	FSLT50	1,650	SFLT50	1,820		
65	90	33	90	125	68	125	FSLT65Y	2,150	SFLT65Y	2,350		
75	100	30	100	140	70	140	FSLT75	2,500	SFLT75	2,750		
100	128	45	128	178	95	178	FSLT1H	3,830	SFLT1H	4,200		
125	140	50	140	205	115	205	FSLT1Q	5,980	SFLT1Q	6,580		
150	170	65	170	250	145	250	FSLT1F	10,100	SFLT1F	11,110		
200	196	88	196	301	193	301	—	—	SFLT2H	58,820		
50× 40	52	23	57	77	48	79	FSLT501	1,550	SFLT501	1,710		
65× 40	52	24	66	87	59	88	FSLT652	1,930	SFLT652	2,120		
65× 50	66	27	74	101	62	99	FSLT61Y	1,940	SFLT61Y	2,130		
75× 40	52	25	71	92	65	93	FSLT753	2,000	SFLT753	2,210		
75× 50	66	29	79	106	69	104	FSLT752	2,150	SFLT752	2,350		
75× 65	90	32	95	130	72	130	FSLT751	2,390	SFLT751	2,630		
100× 40	52	28	82	102	78	104	FSLT1H4	2,700	SFLT1H4	2,970		
100× 50	66	32	90	116	82	115	FSLT1H3	2,900	SFLT1H3	3,190		
100× 65	90	36	107	140	86	142	FSLT1H2	3,170	SFLT1H2	3,490		
100× 75	100	33	110	150	83	150	FSLT1H1	3,330	SFLT1H1	3,660		
125× 75	100	42	124	165	107	164	FSLT1Q2	3,910	SFLT1Q2	4,290		
125×100	128	52	140	193	117	190	FSLT1Q1	5,430	SFLT1Q1	5,970		
200×150	196	88	221	301	193	301	—	—	SFLT2H1	56,780		

※ Z1、Z2、Z3の許容差は±2mmとします。
※ L1、L2、L3は標準寸法を示します。
※ 流れ角度は91°10'±30'とします。
※ 呼び径200×150の径違い90°大曲りYは、呼び径200の90°大曲りYとブッシュの組み合わせ品です。

■45°Y〈Y〉

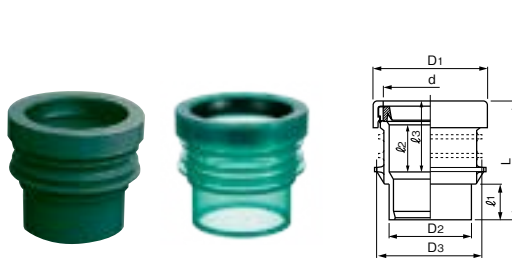


45°Y〈Y〉

単位:mm												
呼び径	Z1	Z2	Z3	L1	L2	L3	緑 色		透 明			
							品 番	価格(円)	品 番	価格(円)		
40	12	58	62	34	80	84	FSY40	1,400	SFY40	1,540		
50	20	72	78	45	97	103	FSY50	1,520	SFY50	1,670		
65	20	92	98	55	127	133	FSY65Y	1,970	SFY65Y	2,170		
75	26	106	115	66	146	155	FSY75	2,300	SFY75	2,520		
100	32	134	144	82	184	194	FSY1H	3,540	SFY1H	3,910		
125	38	172	175	103	237	240	FSY1Q	5,800	SFY1Q	6,380		
150	44	204	210	124	284	290	FSY1F	9,990	SFY1F	10,990		
200	42	258	268	147	363	373	—	—	SFY2H	56,780		
50× 40	8	62	70	33	87	92	FSY501	1,330	SFY501	1,470		
65× 40	—1	72	82	34	107	104	FSY652	1,420	SFY652	1,560		
65× 50	8	80	88	43	115	113	FSY651Y	1,760	SFY651Y	1,940		
75× 40	—6	78	92	34	118	114	FSY753	1,840	SFY753	2,020		
75× 50	3	86	98	43	126	123	FSY752	1,990	SFY752	2,190		
75× 65	14	98	106	54	138	141	FSY751	2,180	SFY751	2,400		
100× 40	—14	96	112	36	146	134	FSY1H4	2,660	SFY1H4	2,930		
100× 50	—8	98	118	42	148	143	FSY1H3	2,850	SFY1H3	3,150		
100× 65	3	110	125	53	160	160	FSY1H2	2,900	SFY1H2	3,190		
100× 75	19	118	132	69	168	172	FSY1H1	3,270	SFY1H1	3,600		
125×100	19	150	171	84	215	221	FSY1Q1	5,260	SFY1Q1	5,790		
150×100	6	165	185	86	245	235	FSY1F2	7,490	SFY1F2	8,240		

※ Z1、Z2、Z3の許容差は±2mmとします。
※ L1、L2、L3は標準寸法を示します。

■差込ソケット〈ES〉



<

■ねじ式掃除口



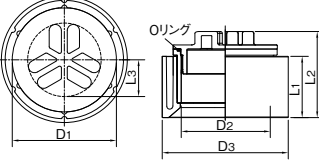
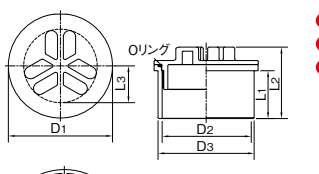
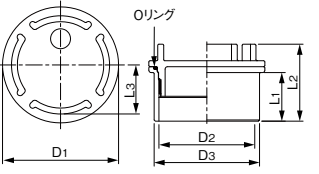
●40~100



●125~150



●200



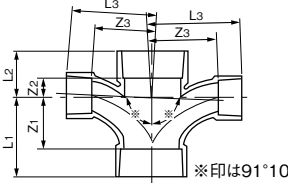
呼び径	D1	D2	D3	L1	L2	L3	締付けトルク (N・m)	品 番	価 格 (円/個)
40	55	41	48	23	44.5	24	4	FSC040	880
50	68	51	60	26	47.5	29	5	FSC050	920
65	84	69	76	36	57.5	36	5	FSC065	1,070
75	98	81	89	41	65	42	5	FSC075	1,200
100	125	104	114	51	76	46	5	FSC01H	1,770
NEW 125	154	128	140	67	106	55	8	FSC01Q	6,850
NEW 150	179	151	165	82	123	63	8	FSC01F	9,960
NEW 200	179	151	216	105	148	63	8	FSC02H	22,310

※ 呼び径200は、呼び径150のねじ式掃除口とブッシュの組み合わせ品です。

■径違い90°大曲両Y〈WLT〉



呼び径	Z1	Z2	Z3	L1	L2	L3	緑 色		透 明	
							品 番	価 格 (円)	品 番	価 格 (円)
100×75	100	40	110	150	90	150	FSWT1H1	7,910	SFWT1H1	8,710
125×100	128	52	140	193	117	190	FSWT1Q1	11,070	SFWT1Q1	12,170

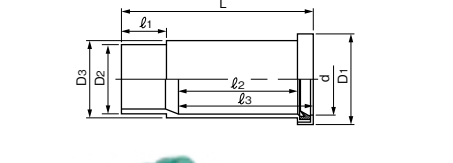


※印は91°10'

■やりとりソケット〈LES〉



●40~150



●200

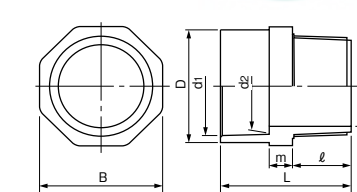
呼び径	D1	D2	D3	d	L	ℓ1	ℓ2	ℓ3	緑 色		透 明	
									品 番	価 格 (円)	品 番	価 格 (円)
40	69	48	54.0	48.6	121.5	23	78	92.0	FSYS40	1,750	SFYS40	1,930
50	85	60	67.0	60.9	134.5	26	85	101.0	FSYS50	2,080	SFYS50	2,280
65	106	76	86.5	77.1	170.0	36	107	122.0	FSYS65	2,640	SFYS65	2,900
75	120	89	99.0	90.0	195.0	41	124	144.5	FSYS75	2,840	SFYS75	3,110
100	150	114	125.0	115.2	236.0	51	151	176.0	FSYS1H	4,040	SFYS1H	4,440
125	181	140	151.0	141.2	290.5	66	183	212.5	FSYS1Q	5,950	SFYS1Q	6,550
150	211	165	178.9	166.3	351.0	80	223	256.5	FSYS1F	10,600	SFYS1F	11,670
NEW 200	268	216	236.0	218.7	400.0	108	245	283.0	—	—	SFYS2H	32,450

※ 呼び径200のみD3寸法は支持金具取付部寸法を示します。呼び径200は点線の通りのリブが付いています(固定バンド用)。
呼び径200は耐火二層管呼び径200の固定バンドをご使用ください。

■排水用バルブソケット〈VS〉



●40~100



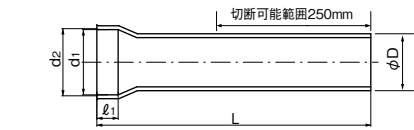
●125~150

●200

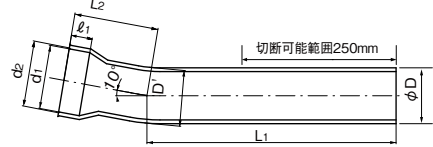
呼び径	d1	d2	d	D	ℓ	m	L	B	ねじ部 呼び	緑 色		透 明	
										品 番	価 格 (円)	品 番	価 格 (円)
40	48.30	47.80	39.0	54	27	10	59	56	R1½	FSVS40	640	SFVS40	700
50	60.35	59.75	51.0	67	30	13	70	67	R2	FSVS50	790	SFVS50	880
65	76.40	75.70	65.0	83	35	15	85	86	R2½	FSVS65	890	SFVS65	980
75	89.45	88.65	77.2	97	39	16	95	100	R3	FSVS75	1,050	SFVS75	1,160
100	114.55	113.55	98.8	124	47	18	115	128	R4	FSVS1H	1,520	SFVS1H	1,670

■耐火VPサニタリーベンド

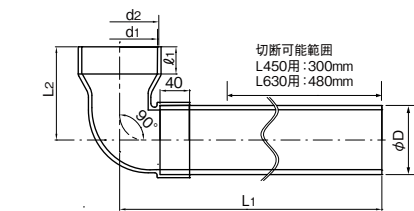
【ストレートタイプ】



【10°曲がりタイプ】



【90°曲がりタイプ】



※耐火VPパイプ・耐火DV継手と同一の材質で、アイボリー色としています。
※90°曲がりタイプの切断時には挿入代を確保してください。

80°サニタリーベンドシステム P型便器専用

改修現場でのP型便器の接続を簡単・確実に!!

排水高さが変わっても調整が可能です。

● 便器交換が容易になります。

便器交換する際、P型便器の排水口高さ
が変化しても、80°サニタリーベンド管を切
断することで簡単・確実に接続が可能です。

● 耐久性が向上します。

排水で実績のある塩ビ素材のため、劣化
や詰まりに対する信頼性が向上します。

● 接続部の止水が確実です。

便器との接続部および配管の組み合わせ
部は、現行のサニタリーベンドおよび差込
みソケットと同様の構造のため、接続部
における止水は確実です。

ストレートタイプ

呼び径	φD	L	ℓ1	d1	d2 参考値	品 番	価 格 (円/個)
75	89.0	450.0	35.0	102.0	105.0	FSPSBS	3,490

10°曲がりタイプ

呼び径	φD	L1	L2	ℓ1	D'	d1	d2 参考値	品 番	価 格 (円/個)
75	89.0	417.0	141.0	35.0	89.0	102.0	105.0	FSPSB10	3,800

90°曲がりタイプ

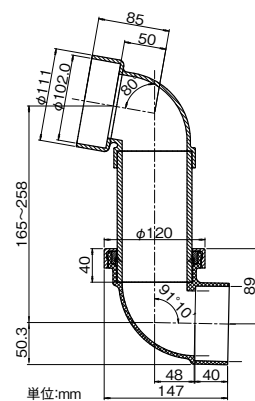
呼び径	種 類	φD	L1	L2	ℓ1	d1	d2 参考値	品 番	価 格 (円/個)
75	L450用	89.0	450	120	35	102	105.0	FSPSB94	5,060
	L630用		630					FSPSB96	6,330

※パッキンは付属しておりませんので、器具側のものをご使用ください。



■80°サニタリーベンド管・継手

耐火アイボリー シルバー

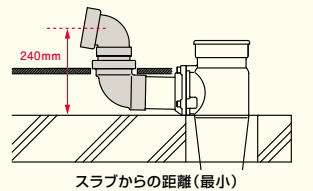
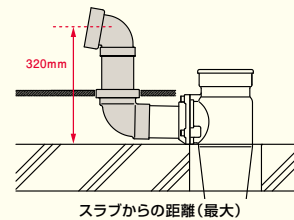


※80°サニタリーベンドシステムの施工等詳細につきましては、
別途パンフレットをご参照ください。

呼び径	種 類	品 番	価 格 (円/個)
75	耐火アイボリー(耐火VP仕様)	FSPSB80	9,490
	シルバー(ノーマルVP仕様)	JPSB80	8,730

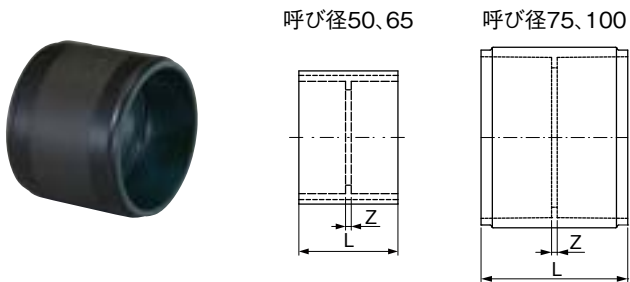
※防火区画で耐火VPの認定が必要な場合、必ず耐火アイボリーを使用してください。

納まり例



耐火DV遮音継手

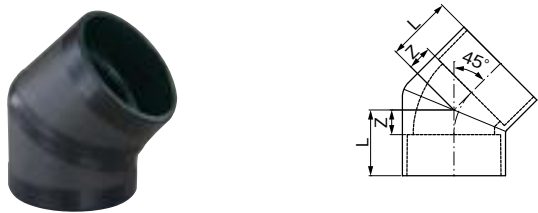
■ソケット〈DS〉



単位:mm				
呼び径	Z	L	品 番	価格(円/個)
50	3	53	FZDS50	1,540
65	3	73	FZDS65	1,670
75	4	84	FZDS75	1,900
100	4	104	FZDS1H	2,490

※ Zの許容差は±2mmとします。
※ Lは基準寸法を示します。

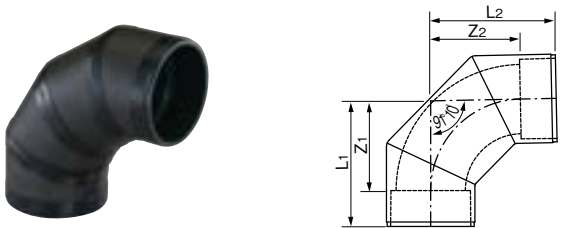
■45°エルボ〈45L〉



単位:mm				
呼び径	Z	L	品 番	価格(円/個)
75	25	65	FZ4L75	2,330
100	30	80	FZ4L1H	3,280

※ Zの許容差は±2mmとします。
※ Lは基準寸法を示します。

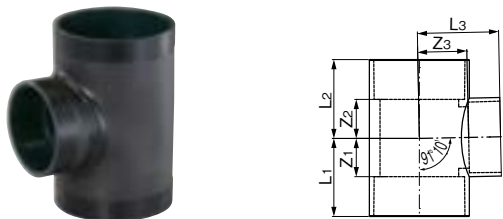
■90°大曲りエルボ〈LL〉



単位:mm						
呼び径	Z1	Z2	L1	L2	品 番	価格(円/個)
75	100	100	140	140	FZLL75	3,860
100	128	128	178	178	FZLL1H	5,390

※ Z1、Z2の許容差は±2mmとします。
※ 流れ角度91°10'の許容差は±30'とします。
※ L1、L2は基準寸法を示します。

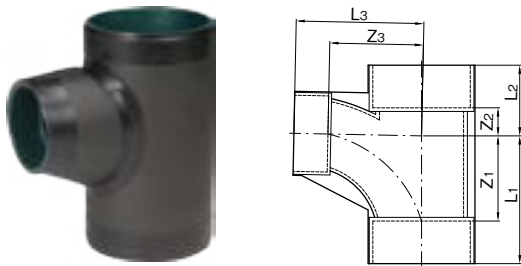
■90°Y〈DT〉 / 径違い90°Y〈DT〉



単位:mm								
呼び径	Z1	Z2	Z3	L1	L2	L3	品 番	価格(円/個)
50	34	34	34	59	59	59	FZDT50	2,770
65	42	43	42	77	78	77	FZDT65	3,140
75	48	49	48	88	89	88	FZDT75	3,280
65×50	34	35	42	69	70	67	FZDT651	3,070
75×50	34	35	48	74	75	73	FZDT752	3,140
75×65	42	43	48	82	83	83	FZDT751	3,200
100×65	42	43	62	92	93	97	FZDT1H2	4,240
100×75	48	49	62	98	99	102	FZDT1H1	4,370

※ Z1、Z2、Z3の許容差は±2mmとします。
※ 流れ角度91°10'の許容差は±30'とします。
※ L1、L2及びL3は基準寸法を示します。

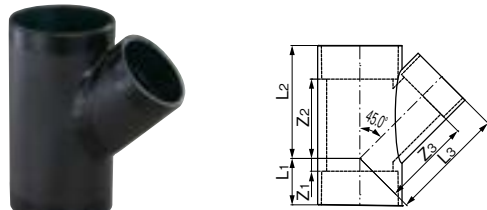
■90°大曲りY〈LT〉 / 径違い90°大曲りY〈LT〉



単位:mm									
呼び径	Z1	Z2	Z3	L1	L2	L3	品 番	価格(円/個)	
50	66	26	66	91	51	91	FZLT50	3,140	
65	90	33	90	125	68	125	FZLT65	3,580	
75	100	30	100	140	70	140	FZLT75	3,860	
50×40	52	23	57	77	48	79	FZLT501	2,920	
65×50	66	27	74	101	62	99	FZLT651	3,420	
75×50	66	29	79	106	69	104	FZLT752	3,580	
75×65	90	32	95	130	72	130	FZLT751	3,710	
100×65	90	36	107	140	86	142	FZLT1H2	5,030	
100×75	100	33	110	150	83	150	FZLT1H1	5,170	

※ Z1、Z2、Z3の許容差は±2mmとします。
※ 流れ角度91°10'の許容差は±30'とします。
※ L1、L2及びL3は基準寸法を示します。

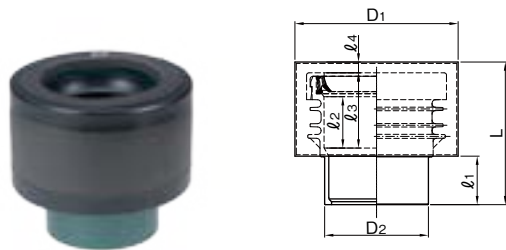
■45°Y〈Y〉



単位:mm									
呼び径	Z1	Z2	Z3	L1	L2	L3	品 番	価格(円/個)	
50	20	72	78	45	97	103	FZY50	3,070	
65	20	92	98	55	127	133	FZY65	3,420	
75	26	106	115	66	146	155	FZY75	3,780	
100	32	134	144	82	184	194	FZY1H	6,270	
75×65	14	98	106	54	138	141	FZY751	3,650	
100×75	19	118	132	69	168	172	FZY1H1	5,100	

※ Z1、Z2、Z3の許容差は±2mmとします。
※ L1、L2及びL3は基準寸法を示します。

■差込ソケット〈ES〉



単位:mm									
呼び径	D1	D2	L	ℓ1	ℓ2	ℓ3	ℓ4	品 番	価格(円/個)
50	105	60	94	26	35	51	9	FZSS50	3,860
65	131	76	112	36	37	58	9	FZSS65	4,810
75	140	89	122	41	44	65	9	FZSS75	5,100
100	169	114	143	51	51	76	9	FZSS1H	6,270

■掃除口〈CO〉

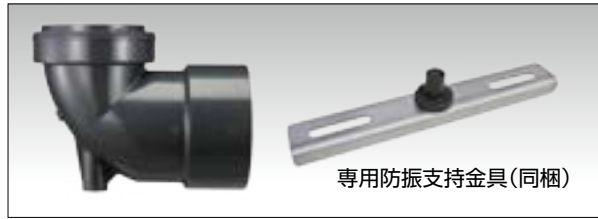


単位:mm			
呼び径	D	H	品 番
50	68	40	FZCO50
65	84	50	FZCO65
75	98	55	FZCO75

プラ脚部継手

●プラ脚部継手

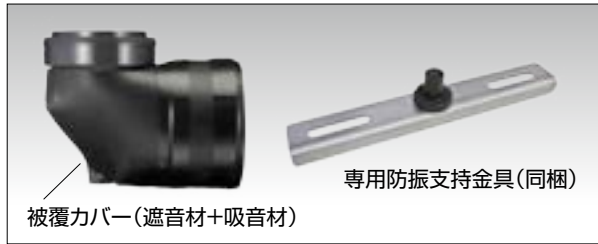
〈標準グレード〉被覆カバーがないので、ピット配管等の遮音性が要求されない場所に最適です。



呼 び 径	品 番		価格(円/個)	
	標 準 ^{※1}	SUS仕様	標 準 ^{※1}	SUS仕様
75×100	PL7H★	PL7HS	12,650	15,180
75×125	PL7Q★	PL7QS	13,920	16,450
100×125	PLHQ★	PLHQS	15,180	17,710
100×150	PLHF★	PLHFS	17,710	20,240
125×125 ^{※2}	PLQQ★	PLQQS	15,180	17,710
125×150 ^{※2}	PLQF★	PLQFS	17,710	20,240

※1. 支持金具:ユニクロメッキ仕様
※2. 呼び径125×125、125×150は耐火プラAD継手HG 最下階タイプとの接続専用です。
※★は標準品です。その他は受注生産品となります。

〈遮音グレード〉被覆カバーが巻かれており、エントランスの天井配管等の遮音性が要求される場所に最適です。



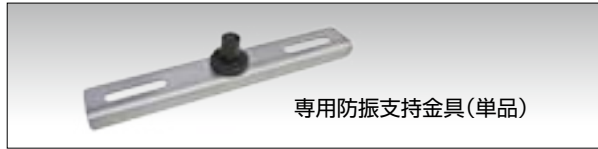
呼 び 径	品 番		価格(円/個)	
	標 準 ^{※1}	SUS仕様	標 準 ^{※1}	SUS仕様
75×100	PLS7H★	PLS7HS	18,980	21,510
75×125	PLS7Q★	PLS7QS	20,240	22,770
100×125	PLSHQ★	PLSHQS	21,510	24,040
100×150	PLSHF★	PLSHFS	24,040	26,570
125×125 ^{※2}	PLSQQ★	PLSQQS	21,510	24,040
125×150 ^{※2}	PLSQF★	PLSQFS	24,040	26,570

※1. 支持金具:ユニクロメッキ仕様
※2. 呼び径125×125、125×150は耐火プラAD継手HG 最下階タイプとの接続専用です。
※★は標準品です。その他は受注生産品となります。

※遮音グレードは鋳鉄脚部継手とほぼ同等の遮音性能です。
要求される遮音性能に応じて鋳鉄脚部と同様に遮音材を巻くことをご検討ください。

⚠
プラ脚部継手呼び径125×125、125×150は
耐火プラAD継手HG 最下階タイプと組み合わせてご使用ください。

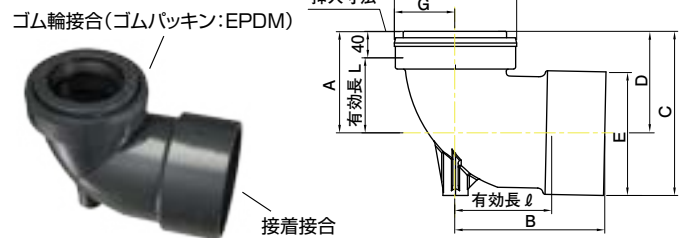
〈プラ脚部継手 専用防振支持金具〉※標準、遮音グレード兼用



品 番		価格(円/個)	
標 準 ^{※1}	SUS仕様	標 準 ^{※1}	SUS仕様
SJKPKT★	SUSPKT★	3,800	6,330

※1. 支持金具:ユニクロメッキ仕様
※★は標準品です。その他は受注生産品となります。

●寸法・構造

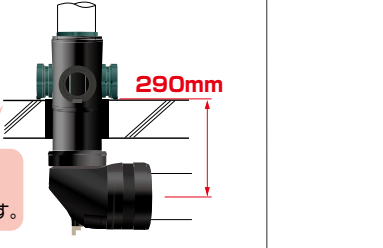
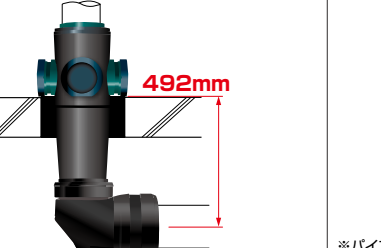
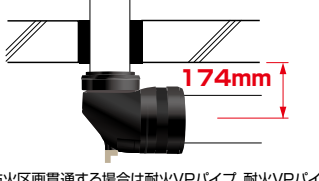


〈標準グレード〉

呼び径	A	B	C ^{※1}	D	E ^{※1}	F	G	L	ℓ
75×100	127	181	198	130	136	158	78	87	131
75×125	148	224	234	153	161	184	78	108	159
100×125	149	211	234	153	161	184	91	109	146
100×150	150	226	247	154	186	184	91	110	146
125×125 ^{※2}	144	210	229	148	161	193	97	104	145
125×150 ^{※2}	145	225	242	149	186	193	97	105	145

※1. 遮音グレードの寸法は上記表のCに10mm、Eに20mm加えた値となります。
※2. 呼び径125×125、125×150は耐火プラAD継手HG 最下階タイプとの接続専用です。

●プラ脚部継手 上流受口側の接続パターンと最小納まり(立て管100A、横主管150Aの場合)

最下階合流システムの場合		最下階住戸排水単独の場合	
プラ脚部継手(呼び径125×150)		プラ脚部継手(呼び径100×150)	
耐火プラAD継手HG 最下階タイプ(227mm切断時)	耐火プラAD継手 HG・SG	立て管	
 最下階タイプとの接続時は現場での納まり調整が可能です。 ※最下階タイプを切断しない場合: 納まり517mm(最長)		 ※パイプで防火区画貫通する場合は耐火VPパイプ、耐火VPパイプS、耐火VPパイプ遮音カバー巻きて貫通してください。	

※ご使用の際には必ず認定書、評定書の内容をご確認ください。
※防火区画貫通部についてご不明な点は、所轄の消防機関までご確認ください。
※ADスリム継手との接続は行わないでください。

AD脚部継手・関連製品

●AD脚部継手(フランジ付品)



呼 び 径	品 番		価格(円/個)	
	標 準	SUS仕様	標 準	SUS仕様
80× 80	LEAD808★	LAD808S	21,910	26,270
80×100	LEAD80★	LAD80S	23,230	27,590
80×125	LEAD805★	LAD805S	27,720	35,090
80×150	LEAD806★	LAD806S	36,430	43,800
100×100	LEAD1H4★	LAD1H4S	26,800	31,150
100×125	LEAD1H★	LAD1HS	33,920	41,290
100×150	LEAD1H6★	LAD1H6S	39,200	46,570
100×200	LEAD1H8★	LAD1H8S	59,140	67,710

※SUS仕様:フランジ用ボルト・ナット
※★は標準品です。その他は受注生産品となります。

●掃除口付支持付(フランジ付品)



呼 び 径	品 番		価格(円/個)	
	標 準	SUS仕様	標 準	SUS仕様
80×100	LAD804B★	AD804BS	43,960	48,310
100×125	LAD1H5B★	AD1H5BS	52,140	59,510
100×150	LAD1H6B★	AD1H6BS	63,230	70,600

※SUS仕様:フランジ用ボルト・ナット
※★は標準品です。その他は受注生産品となります。

●ロングタイプ(フランジ付品)

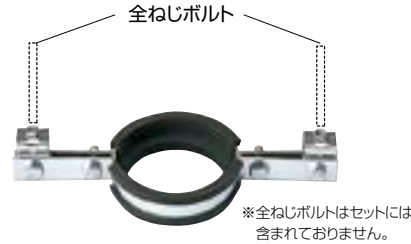


呼 び 径	品 番		価格(円/個)	
	標 準	SUS仕様	標 準	SUS仕様
80×100	LEAD84L★	LAD84LS	31,280	35,640
80×125	LEAD85L★	LAD85LS	32,870	40,240
80×150	LEAD86L	LAD86LS	53,720	61,090
100×125	LEAD1HL★	LAD1HLS	36,430	43,800
100×150	LEAD1FL★	LAD1FLS	55,570	62,940
100×200	LEAD18L	LAD18LS	71,540	80,110

※SUS仕様:フランジ用ボルト・ナット
※★は標準品です。その他は受注生産品となります。

●支持金具セット

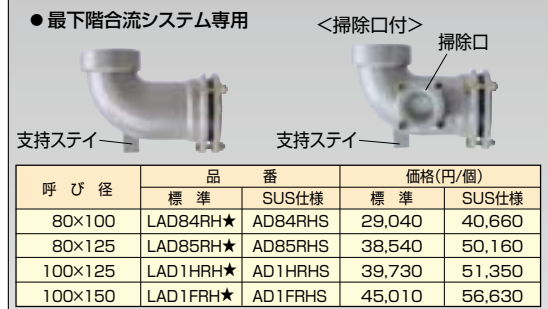
●脚部継手用



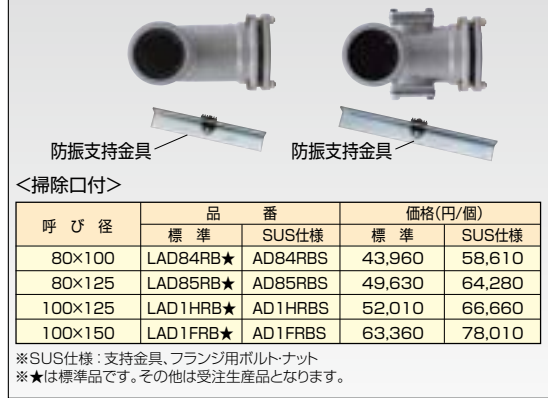
●脚部継手ロング用



●スリム直結ショートタイプ(フランジ、防振支持金具付品)



※SUS仕様:支持金具、フランジ用ボルト・ナット
※★は標準品です。その他は受注生産品となります。

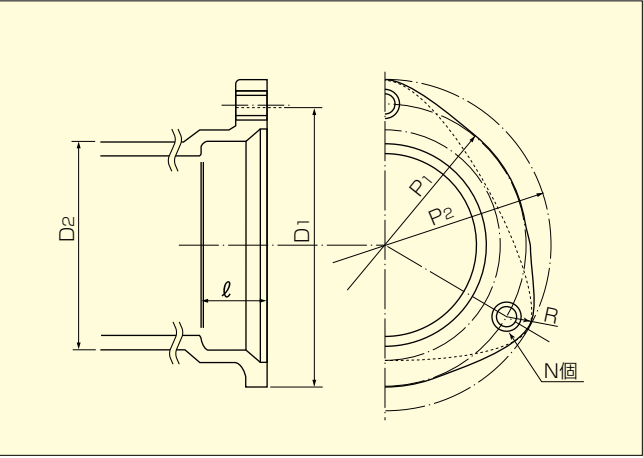


⚠
・最下階合流システム用継手です。
・ADスリム継手、耐火プラAD継手差口タイプと組み合わせてご使用ください。
・ラセンDVLPとの組み合わせでは、使用できません。
・スリム直結ショートタイプの立管側の受口は、ゴム輪による接続となります。

継 手 品 種		品 番	価格(円/個)
AD脚部継手	80A(立て管サイズ)	SJJK80★	4,880
	100A(立て管サイズ)	SJJK100★	5,020
	125A(立て管サイズ)	SJJK125★	6,600
AD脚部継手(SUS製)	80A(立て管サイズ)	SUSK80★	10,820
	100A(立て管サイズ)	SUSK100★	11,350
AD脚部継手ロングタイプ	80A(立て管サイズ)	SJKL80★	10,560
	100A(立て管サイズ)	SJKL100★	11,220

※★は標準品です。その他は受注生産品となります。

●継手本体の端部



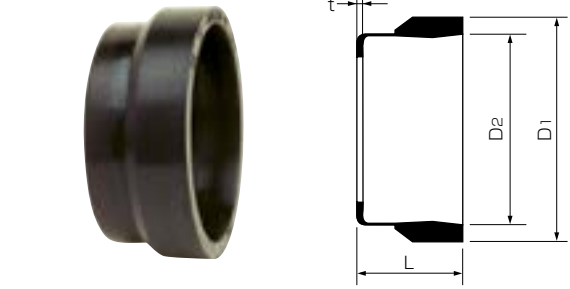
受け口の共通寸法

呼び径	D1	D2	ℓ	P1	P2	R	N
80	124	92	28	126	150	12	3
100	151	116	33	152	176	12	3
125	180	143	36	181	209	14	3
150	209	167	39	210	238	14	3
200	264	221	48	266	298	16	3

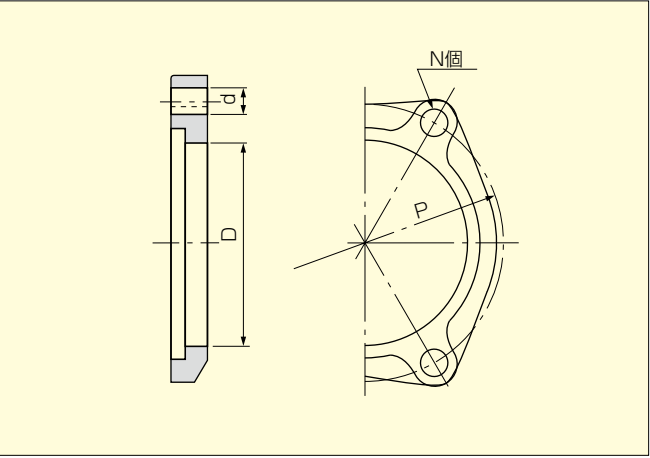
継手本体・フランジの材料

区 分	材 料	備 考
ねずみ鋳鉄製	JIS G 5501 (ねずみ鋳鉄品)のFC150	継手本体
球状黒鉛鋳鉄製	JIS G 5502 (球状黒鉛鋳鉄品)のFCD400、450又は500	フランジ

●パッキン

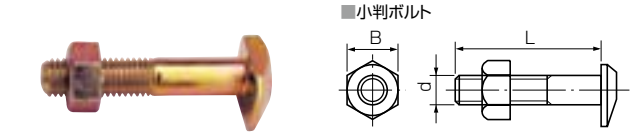


●フランジ



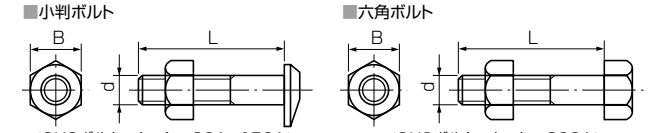
呼び径	品 番	D	d	P	N
80	ADMF80	92	12	126	3
100	ADMF1H	117	12	152	3
125	ADMF1Q	143	15	181	3
150	ADMF1F	169	15	210	3
200	ADMF2H	221	17	266	4

●ボルト・ナット



呼び径	品 番	L	d	B
80	ADMBN80	50	10	17
100	ADMBN1H	50	10	17
125	ADMBN1Q	65	12	19
150	ADMBN1F	65	12	19
200	ADMBN2H	70	14	22

●材質及びメッキ仕様
ボルト:JIS G 3539(SWCH)冷間圧造用炭素鋼線
ナット:JIS G 3505(SWRM)軟鋼線材
メッキ:JIS H 8610(SWCH)電気亜鉛メッキ1種または2種の2級以上



呼び径	品 番	L	d	B	種 類
80	ADMSB80	50	10	17	小判ボルト
100	ADMSB80	50	10	17	
125	ADMSB1Q	65	12	19	
150	ADMSB1Q	65	12	19	
200	ADMSB2H	70	14	22	六角ボルト

●材質
ボルト:SUS 304
ナット:SUS 304

●掃除口付ソケット(COS)



呼び径	品 番		価格(円/個)	
	フランジタイプ	RRタイプ	フランジタイプ	RRタイプ
80	COSM80★	COSRR80★	16,130	16,730
100	COSM1H★	COSRR1H★	20,500	21,270
125	COSM1Q★	COSRR1Q★	35,090	36,470

※★は標準品です。その他は受注生産品となります。

●満水試験兼用掃除口付継手(COS-T II)



呼び径	品 番		価格(円/個)	
	フランジタイプ	RRタイプ	フランジタイプ	RRタイプ
80	COSTM80★	COSTR80★	32,600	34,140
100	COSTM1H★	COSTR1H★	45,470	47,100
125	COSTM1Q★	COSTR1Q★	66,920	69,500

※★は標準品です。その他は受注生産品となります。

●満水試験用治具(COS-TPA II)



呼び径	品 番	価格(円/個)
80	ADMMA80★	42,300
100	ADMMA1H★	48,570
125	ADMMA1Q★	60,740

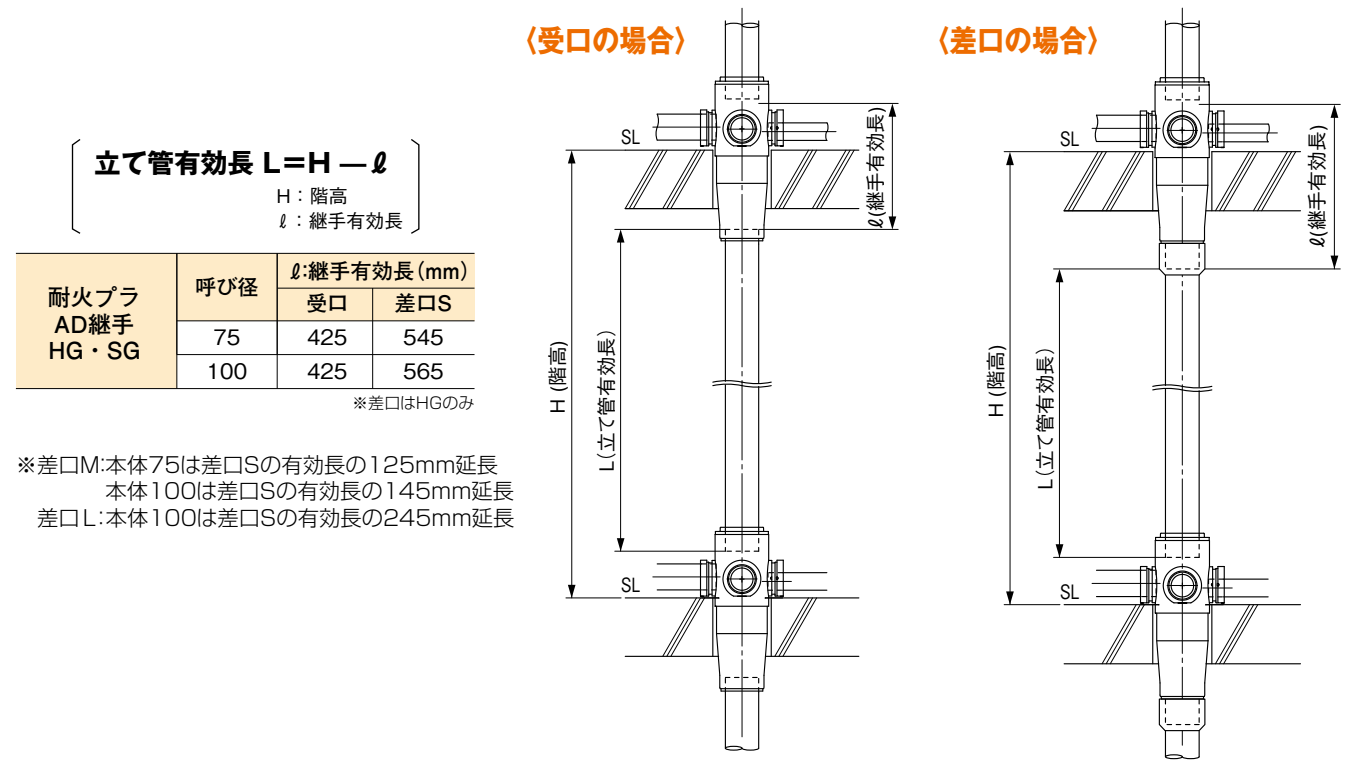
※★は標準品です。その他は受注生産品となります。

エスロン接着剤・滑剤

No.73S ブルー 〈色付き接着剤〉 容量：500g缶(筆付) 1kg缶(筆付)	No.75S ブルー-N 〈色付き低粘度タイプ〉 容量：500g缶(筆付) 1kg缶(筆付)	No.73S 容量：500g缶(筆付) 1kg缶(筆付)	No.75S 容量：500g缶(筆付) 1kg缶(筆付)	
No.73S UV 〈蛍光接着剤〉 容量：500g缶(筆付)	No.73S バイオレット 容量：500g缶(筆付) 1kg缶(筆付)	No.80S 容量：500g缶(筆付) 1kg缶(筆付)	No.83Sホワイト 容量：500g缶(筆付) 1kg缶(筆付)	エスロン滑剤 No.1 容量：1kg缶、2kg缶

配管の納まり例

■ 立て管の寸法割り出し

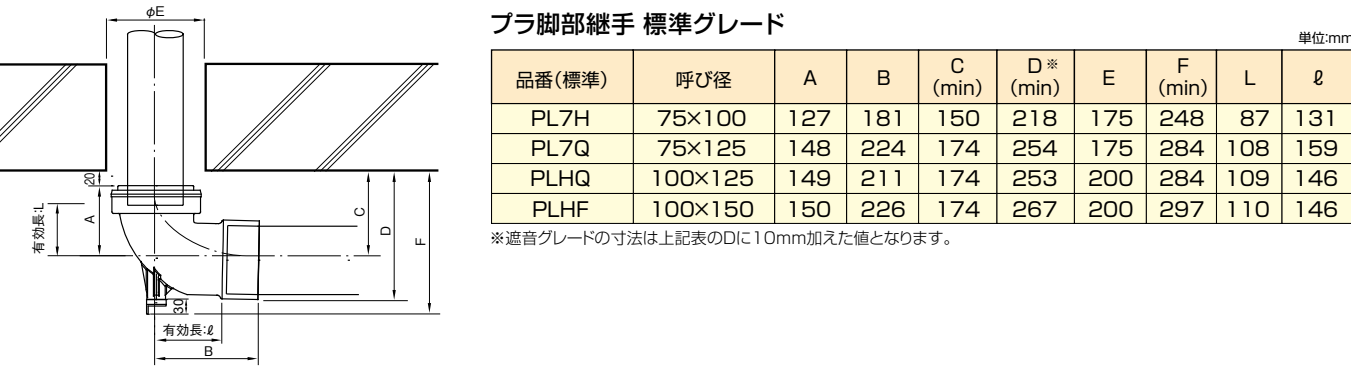


■ 最下階住戸排水単独の場合

各脚部継手における最小納まり例（立て管100A、横主管125Aの場合）			
脚部継手	ブラ脚部継手	AD脚部継手	AD脚部継手ロングタイプ
最小納まり (C寸法)			

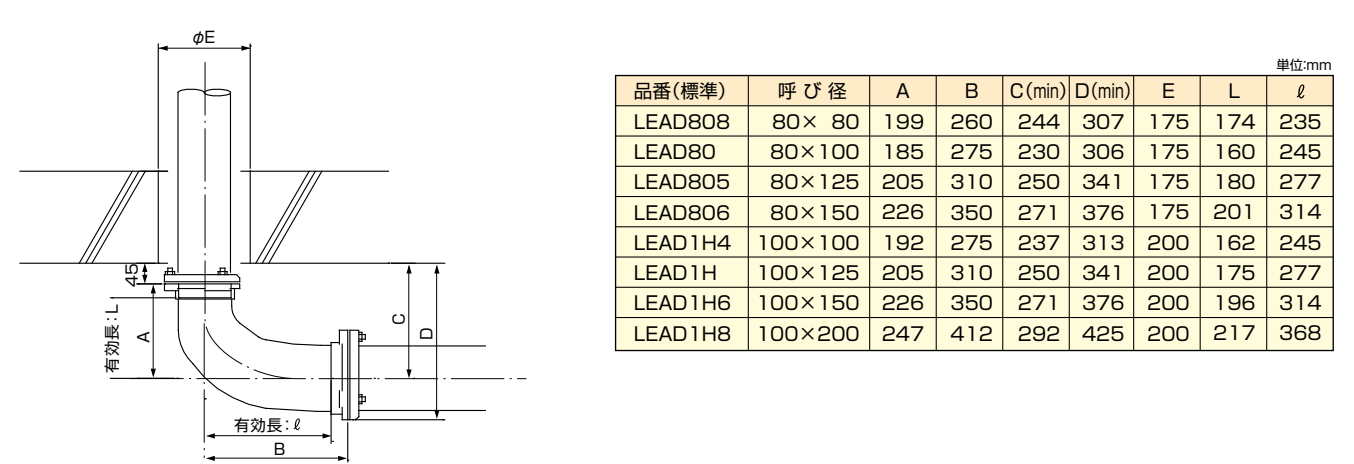
※パイプで防火区画貫通する場合は耐火VPパイプ、耐火VPパイプS、耐火VPパイプ遮音カバー巻きて貫通してください。

ブラ脚部継手

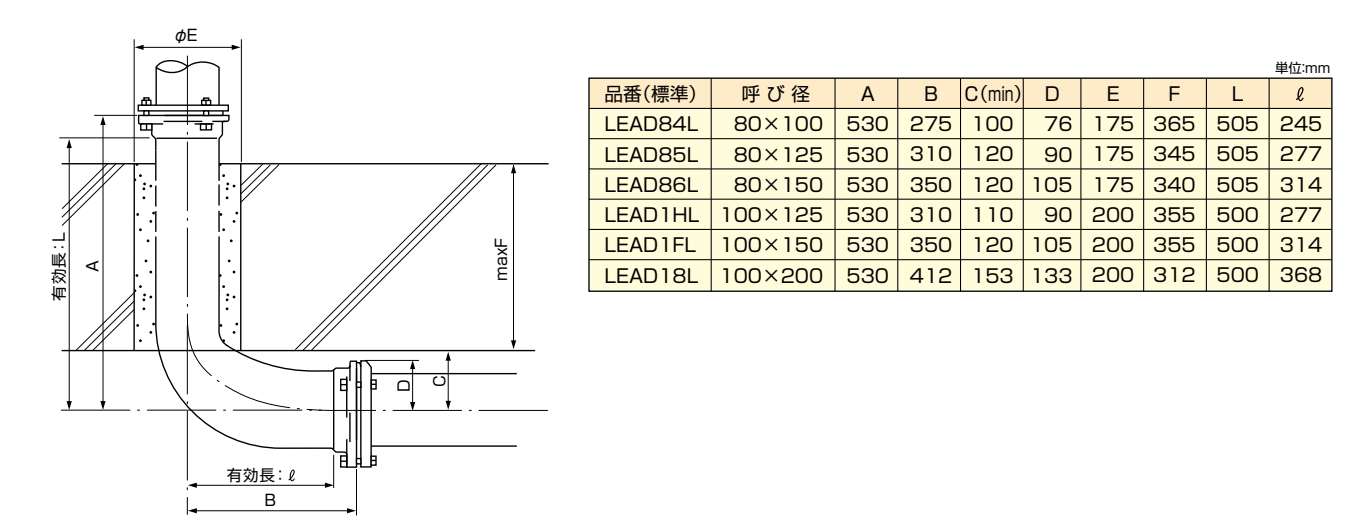


■ 最下階住戸排水単独の場合

AD脚部継手・掃除口付支持付AD脚部継手



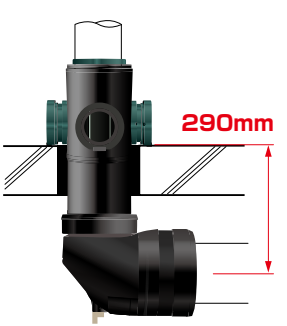
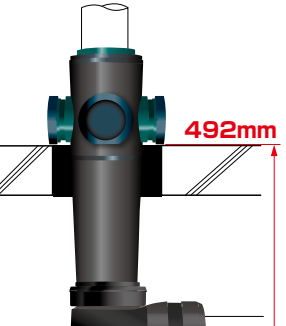
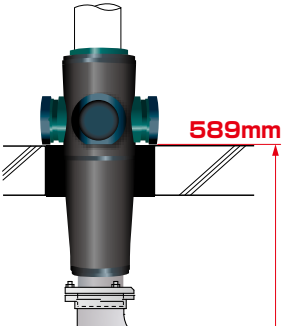
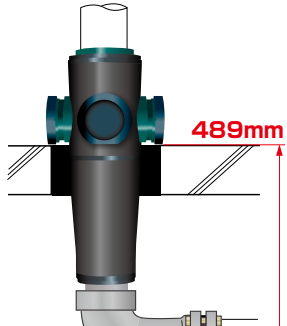
AD脚部継手ロングタイプ



配管の納まり例

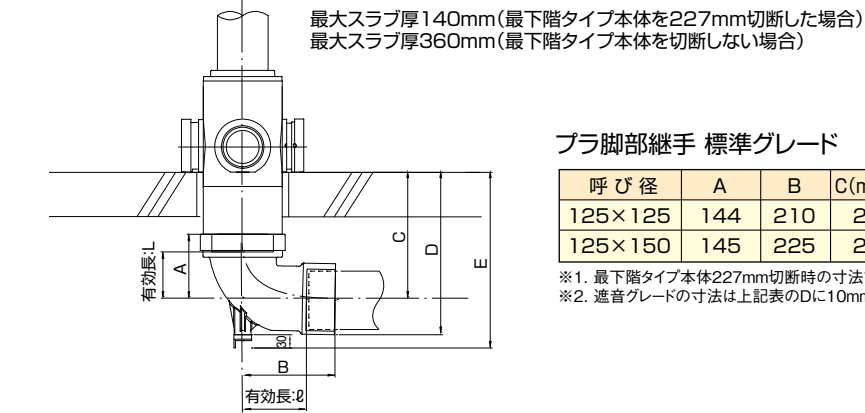
■ 最下階合流システムの場合

各脚部継手における最小納まり例（立て管100A、横主管150Aの場合）

脚部継手	ブラ脚部継手 (呼び径125×150)	ブラ脚部継手 (呼び径100×150)	AD脚部継手 (呼び径100×150)	AD脚部継手スリム直結ショート (呼び径100×150)
集合継手	耐火ブラAD継手HG最下階タイプ (227mm切断時)	耐火ブラAD継手HG-SG	耐火ブラAD継手HG-SG	耐火ブラAD継手HG-SG
最小納まり (C寸法)	 290mm ※最下階タイプを切断しない場合: 納まり517mm(最長)	 492mm	 589mm	 489mm

ブラ脚部継手

〈最下階タイプとの接続の場合〉

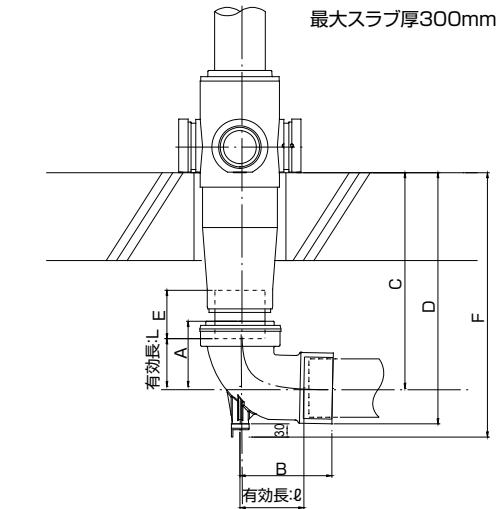


ブラ脚部継手 標準グレード

呼 び 径	A	B	C(min) ^{※1}	D(min) ^{※2}	E(min)	L	ℓ
125×125	144	210	289	370	400	104	145
125×150	145	225	290	383	413	105	145

※1. 最下階タイプ本体227mm切断時の寸法です。切断しない場合はC寸法517mmとなります。
※2. 遮音グレードの寸法は上記表のDに10mm加えた値となります。

〈HG-SGとの接続の場合〉



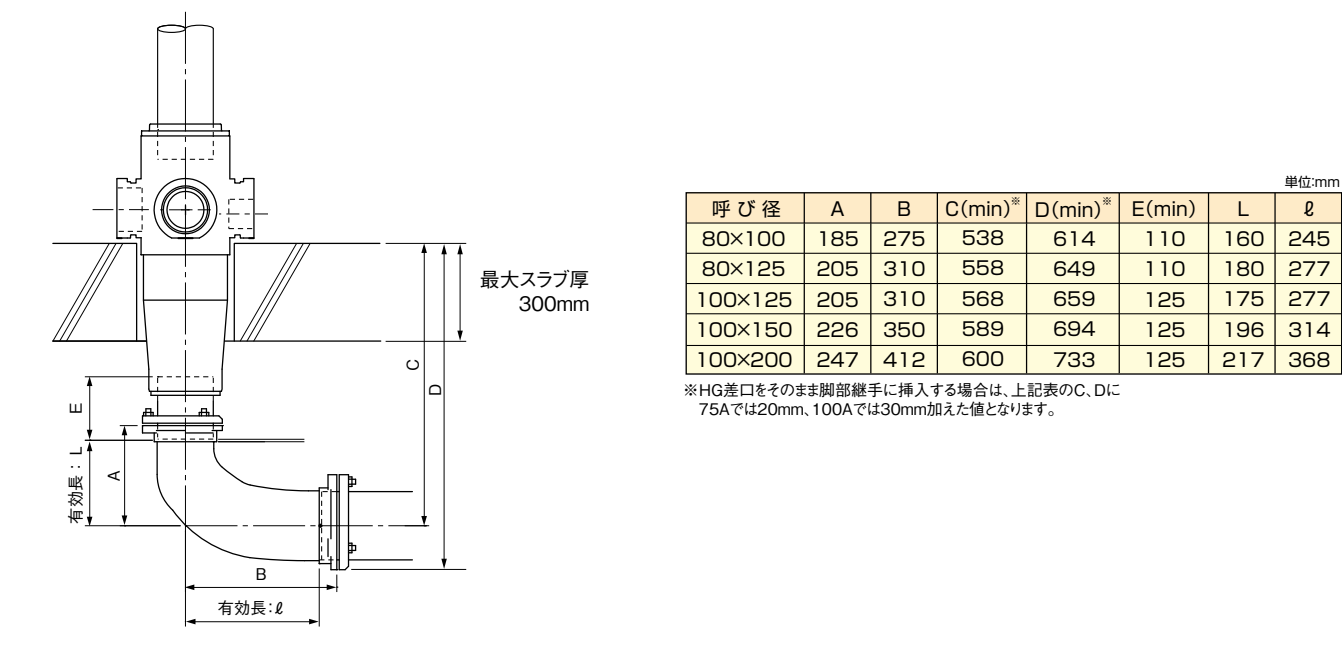
ブラ脚部継手 標準グレード

呼 び 径	A	B	C(min) ^{※2}	D(min) ^{※1,2}	E(min)	F(min) ^{※2}	L	ℓ
75×100	127	181	458	526	100	556	87	131
75×125	148	224	482	562	100	592	108	159
100×125	149	211	492	572	110	602	109	146
100×150	150	226	492	585	110	615	110	146

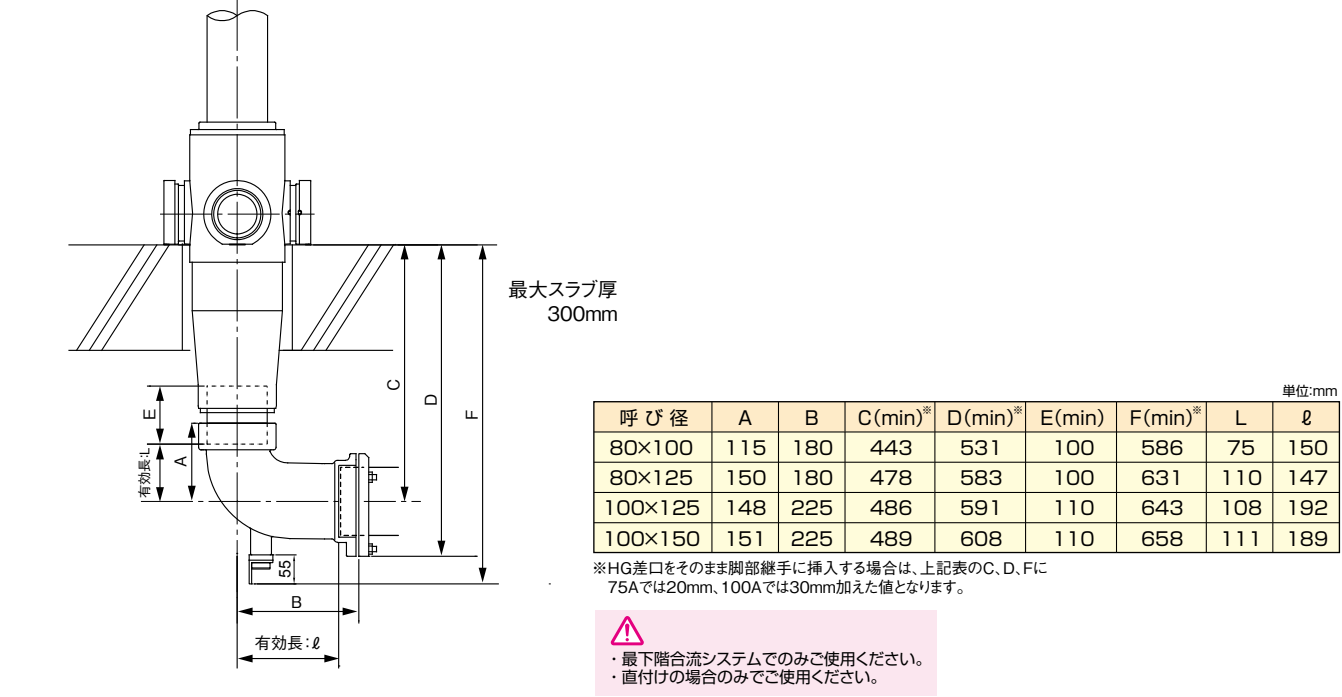
※1. 遮音グレードの寸法は上記表のDに10mm加えた値となります。
※2. HG差口をそのまま脚部継手に挿入する場合は、上記表のC、D、Fに75Aでは20mm、100Aでは30mm加えた値となります。

■ 最下階合流システムの場合

AD脚部継手・掃除口付支持付AD脚部継手



AD脚部継手 スリム直結ショートタイプ・掃除口付AD脚部継手 スリム直結ショートタイプ

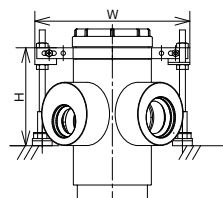


支持金具の納まり例

■支持金具の納まり例

■ 耐火プラAD継手HG・SG

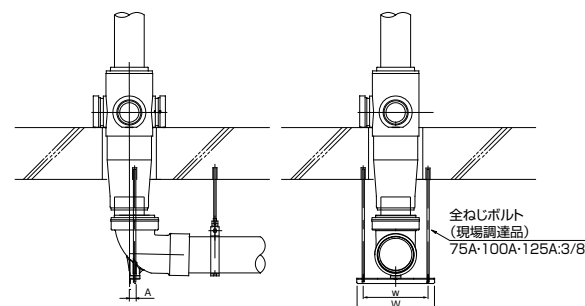
呼 び 径	支持金具 品 番	W	H 単位：mm	
			(min)	(max)
75	SJKPAD	300	160	270
100				



■ VPパイプS、耐火VPパイプS

●VPパイプS、耐火VPパイプSは耐火二層管と外径が同じですので、耐火二層管用立てバンド(アカギ製TNF用)等をご使用ください。

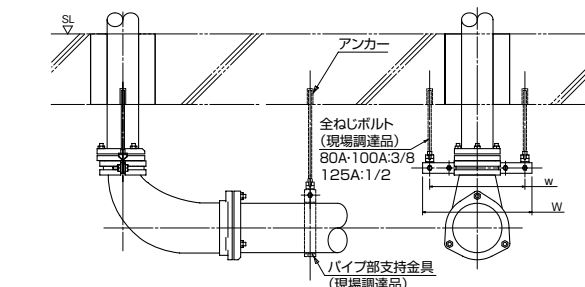
■ プラ脚部継手



呼 び 径	A	W	w
75×100	1	300	150~250
75×125	14		
100×125	1		
100×150	1		
125×125*	0		
125×150*	0		

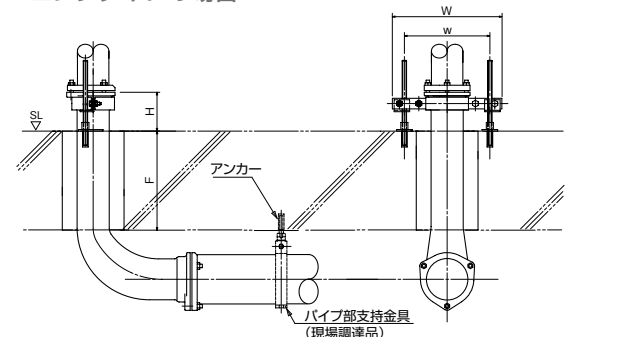
※呼び径125×125、125×150は耐火プラAD継手HG 最下階タイプとの接続専用です。

■ AD脚部継手



呼 び 径	防振支持金具 品 番	W	w
80×80	SJKK80	310	270
80×100			
80×125			
80×150			
100×100	SJKK100	337	297
100×125			
100×150			
100×200			

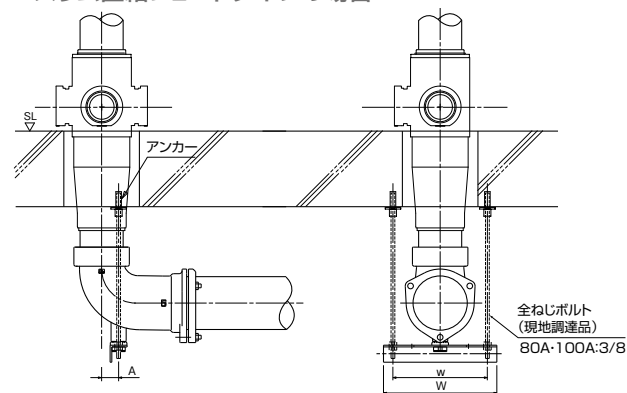
<ロングタイプの場合>



●AD脚部継手ロングタイプ

呼 び 径	防振支持金具 品 番	W	w	H (min)	F (max)
80×100	SJKL80	310	242	110	320
80×125					300
80×150					300
100×125					305
100×150	SJKL100	337	269	115	295
100×200					268

<スリム直結ショートタイプの場合>



●AD脚部継手 スリム直結ショートタイプ

呼 び 径	A	W	w
80×100	40	300	150~250
80×125	40	300	
100×125	45	300	
100×150	45	300	

●掃除口付AD脚部継手 スリム直結ショートタイプ

呼 び 径	A	W	w
80×100	40	400	340
80×125	40	400	340
100×125	45	400	340
100×150	45	400	340

■施工上の注意点

- △ 1. 支持固定は、必ず各階継手で行ってください。
- △ 2. 継手は必ず支持固定を行ってから、上階の配管を行ってください。
- △ 3. 配管後は、必ず適切な埋め戻しを行ってください。
- △ 4. 支持高さが納まり寸法値maxを超える場合は、弊社までお問い合わせください。

- 5. 脚部継手用防振支持金具(ロングタイプ用除く)には、全ねじボルトが付属しておりませんので、現場調達品となります。他の継手用防振支持金具は、付属の全ねじボルトをご使用ください。アンカー等スラブへの固定具は全て現場調達品となります。
- 6. 防振支持金具の設置、施工方法については、防振支持金具セットに同梱の施工マニュアルをご参照ください。

標準施工方法

■耐火プラAD継手HG・SGの標準施工方法

●VPパイプS、耐火VPパイプS、耐火VPパイプ等の切断寸法は接続する継手および接合方法によって異なりますのでご注意ください。

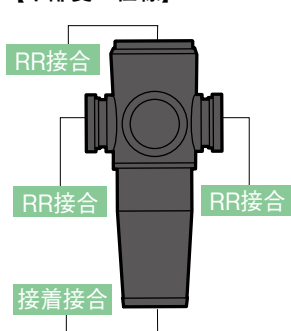
■ 使用部材



■ 継手の接続部の構造

●耐火プラAD継手HG・SG ※RR:ゴムリング接合

【下部受口仕様】



上側-RR接合

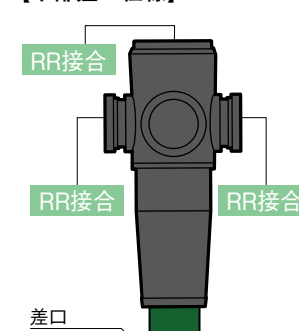
△ バッキンには滑剤が塗布されています。挿入が困難な場合は、滑剤(エスロン滑剤No.1等)を塗布してください。

横枝-RR接合

△ 横枝バッキンは滑剤が必要ない構造になっておりますので、滑剤を塗布せずにそのまま管を挿入してください。

下側-接着接合

【下部差口仕様】



上側-RR接合

△ バッキンには滑剤が塗布されています。挿入が困難な場合は、滑剤(エスロン滑剤No.1等)を塗布してください。

横枝-RR接合

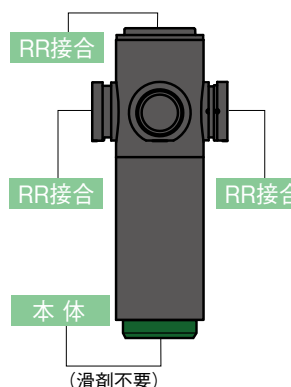
△ 横枝バッキンは滑剤が必要ない構造になっておりますので、滑剤を塗布せずにそのまま管を挿入してください。

下側-RR接合(受口立て管)

△ 受口立て管と接続する際、差口は切断禁止です。端部にエスロン滑剤No.1を塗布し挿入してください。

△ 脚部継手との接続に伴い、差口を切断する際は脚部継手受口への挿入長さを確保してください。

●耐火プラAD継手HG 最下階タイプ



上側-RR接合

△ バッキンには滑剤が塗布されています。挿入が困難な場合は、滑剤(エスロン滑剤No.1等)を塗布してください。

横枝-RR接合

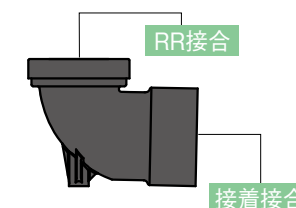
△ 横枝バッキンは滑剤が必要ない構造になっておりますので、滑剤を塗布せずにそのまま管を挿入してください。

下側-RR接合

△ プラ脚部継手受口のバッキンに滑剤が塗布されているため、滑剤を塗布せずにそのまま挿入してください。

△ 本体切断可能範囲は本体下側より227mm以内としてください。

●プラ脚部継手



上流受口-RR接合

△ バッキンには滑剤が塗布されています。挿入が困難な場合は、滑剤(エスロン滑剤No.1等)を塗布してください。

下流受口-接着接合

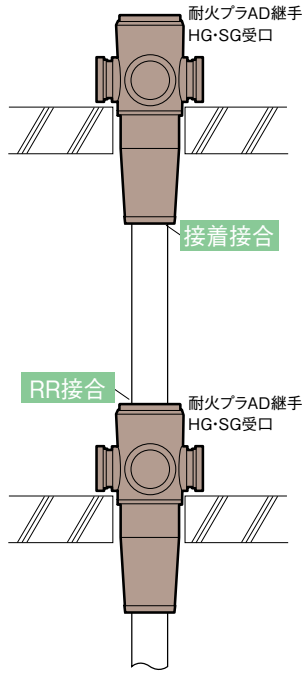
△ 必ずプラ脚部継手(呼び径125×125、125×150)と組み合わせてください。

△ 耐火プラAD継手HG最下階タイプ本体下部への管の接続・延長は行わないでください。必ず最下階タイプ本体下部とプラ脚部継手を直接接続してください。

■ 接続・施工のパターン

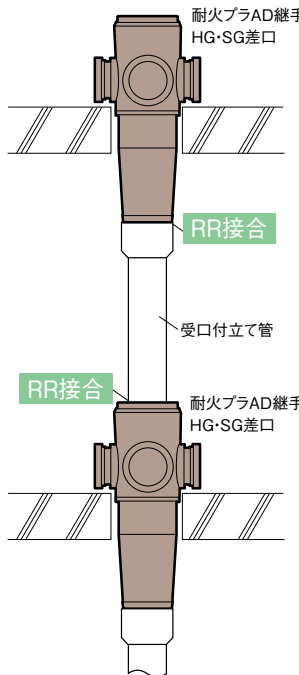
① 耐火プラAD継手HG・SG
下部受口仕様の接続

RR+接着

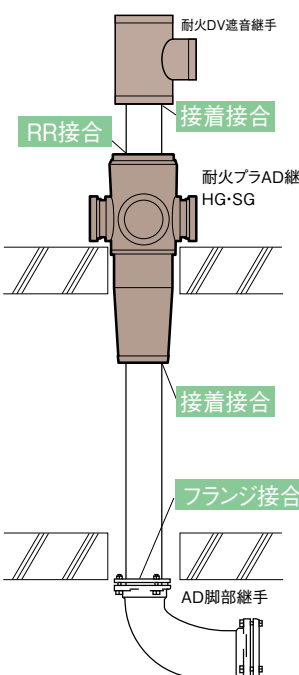


② 耐火プラAD継手HG・SG
下部差口仕様+
受口付立て管の接続

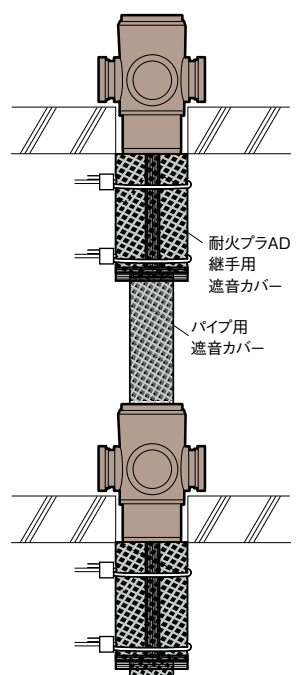
RR+RR



③ フランジなどとの接続

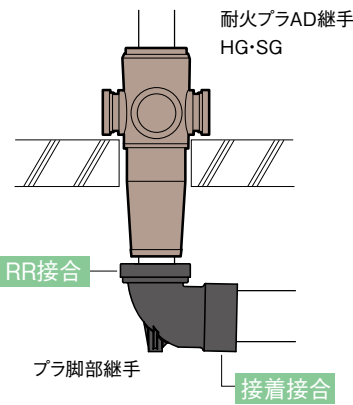


④ 遮音カバーの巻きつけ

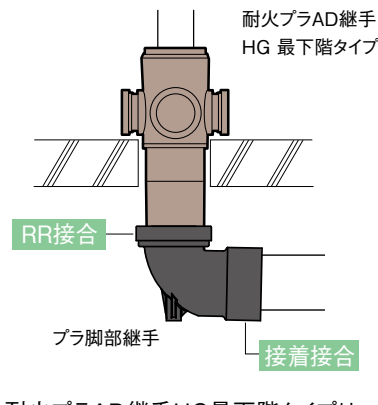


⑤ プラ脚部継手との接続

⑤-1 耐火プラAD継手
HG・SGの場合

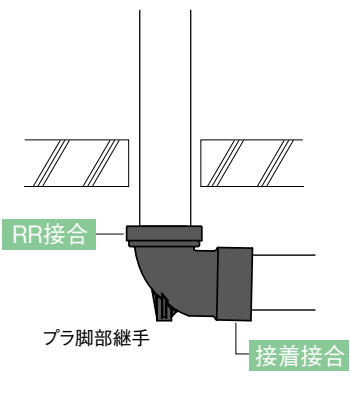


⑤-2 耐火プラAD継手HG
最下階タイプの場合



⚠ 耐火プラAD継手HG最下階タイプは必ずプラ脚部継手(呼び径125×125、125×150)と組み合わせてご使用ください。

⑤-3 立て管の場合



■ ① 耐火プラAD継手HG・SG 下部受口仕様の接続方法(立て管:VPパイプS・耐火VPパイプSの場合)

作業事項 作業手順および注意事項

VPパイプS、
耐火VPパイプS
の切断

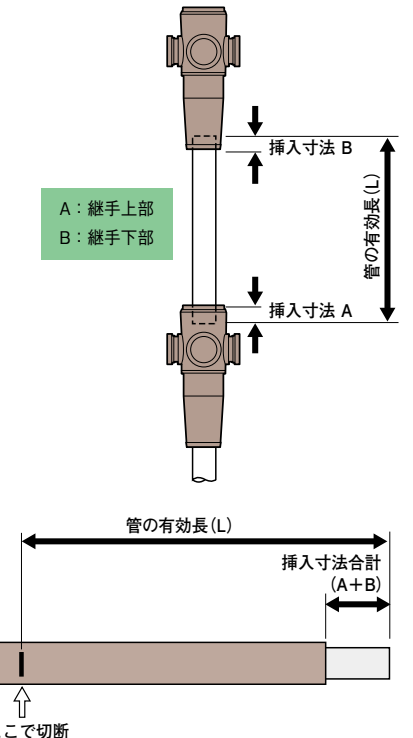
※内管と被覆カバーを以下の方法で同時に切断してください。

① 切断標線の記入

- ・管を接続する両側の継手の挿入寸法の合計(A+B)で内管をスライドしてください。
- ・管の有効長に応じて標線を記入してください。(継手受口への挿入寸法(A+B)は下表でご確認ください。)

● 継手受口への挿入寸法

継手受口への挿入寸法	呼び径	75	100
A:継手上部	RR接着	75mm	75mm
B:継手下部	接着接着	40mm	50mm
A+B		115mm	125mm



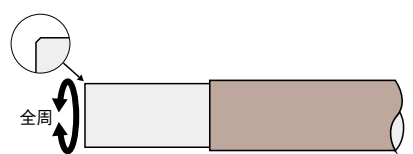
② 管の切断

- ・バンドソー、塩ビ用ノコギリを用いて、内管と被覆カバーを同時に切断してください。

- ⚠ 切断前に内管のスライド代がずれていないことを確認してください。
- ⚠ 管軸に直角に切断してください。
- ⚠ 高速砥石カッターは使用しないでください。
- ⚠ 内管、被覆カバーが変形した部分は切り除いてください。

③ バリ取り、清掃

- ・面取り器等を用いて内管の内外面全周にわたり糸面取りを行ってください。
- ・バリやカエリのないように管端面をきれいに仕上げてください。
- ・被覆カバーの面取りは不要です。



VPパイプS、
耐火VPパイプSの
接続準備

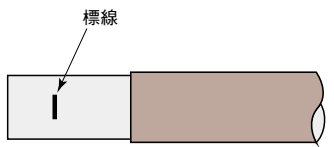
① 挿入標線の記入

- ・接続する継手受口に応じた挿入寸法で、VPパイプS、耐火VPパイプSの内管に標線を記入してください。

● 管の標線寸法

管の標線寸法	呼び径	75	100
RR接着		75mm	75mm
接着接着		40mm	50mm

その後、管差口内外面を乾いたウエスできれいに拭いた後次頁からの方法で継手と接続してください。



作業事項	作業手順および注意事項	
上部立て管との接続	耐火プラAD継手HG・SGの上側との接続 (RR接合)	
	管の接続	①耐火プラAD継手HG・SGの立て管挿入部の養生シールを剥がしてください。 ②管軸を合わせて挿入標線の位置までまっすぐ挿入してください。 ⚠ パッキンには滑剤が塗布されています。 挿入が困難な場合は滑剤 (エスロン滑剤No.1等) を塗布してください。 ⚠ たたき込みや斜め挿入は漏水の原因となりますので、絶対に行わないでください。
	接続の確認	①挿入標線まで挿入されていることを確認してください。 ⚠ 接続完了後は接続部に曲げや引っ張り等の無理な力がかからないようにしてください。
下部立て管との接続	接続部の処理	①管と継手の接続部にジョイントテープ (P.28) を1周以上、又はエスロンテープNo.340 (厚み0.4mm、幅50mm) を2周以上巻き、隙間を塞いでください。
	耐火プラAD継手HG・SGの下側との接続 (接着接合)	
	管の接続	①下記の接着剤を使用して、継手内面、管の外面の順に適量を均一に塗布してください。 ※使用可能な接着剤 エスロン接着剤=No.73S、73Sブルー、73S UV、73Sバイオレット、75S、75Sブルー-N、80S、83Sホワイト ②継手受口と管差口の軸を合わせ、速やかに標線の位置まで挿入してください。その後、30秒以上保持し抜け戻りが無いことを確認してください。 ⚠ 管の挿入、保持後はみ出した接着剤を拭き取ってください。 ⚠ たたき込みや斜め挿入は漏水の原因となりますので、絶対に行わないでください。
	接続の確認	①挿入標線まで挿入されていることを確認してください。 ⚠ 接続完了後は接続部に曲げや引っ張り等の無理な力がかからないようにしてください。
	接続部の処理	①隙間が20mm以下の場合は、管と継手の接続部にジョイントテープ (P.28) を1周以上、又はエスロンテープNo.340 (厚み0.4mm、幅50mm) を2周以上巻き、隙間を塞いでください。 巾20mm以上の隙間がある場合は、VPパイプS、耐火VPパイプSの切り取った被覆カバー端材を巻き付けた上からテープを巻いてください。

作業事項	作業手順および注意事項	
支持固定	継手の支持	耐火プラAD継手HG・SGの金具取り付け位置に割バンドを設置し、 支持金具 固定位置シール 同梱のボルトとナット(M10)で締め付けてください。
		⚠ 耐火プラAD継手HG・SGの支持金具 固定位置シールの矢印が隠れる位置に必ず金具を取り付けてください。 指定位置以外に取り付けると、固定が不十分になります。 ⚠ 左右のボルトは片締めにならないよう、均等に締め付けてください。 また、過剰な力で締め付けると、ボルトがねじ切れるおそれがあります。 ⚠ 耐火プラAD継手HGを施工する場合は必ず支持金具を取り付けてください。 ⚠ 耐火プラAD継手HGを枝浮かし配管する際は、継手横枝管底とスラブ上面の距離は140mm以下としてください。 ⚠ 耐火プラAD継手HGは枝浮かしにより支持金具の全ねじボルト長さが不足する場合があります。その場合は現地調達(W1/2)をお願いします。 ⚠ 耐火プラAD継手SGを枝浮かし配管する際は、継手横枝管底とスラブ上面の距離は50mm以下としてください。
横枝管の接続	管に挿入標線記入	①挿入標線の記入 継手受口に接続するVPパイプ、耐火VPパイプに挿入標線を記入してください。 (呼び径50、65、75Aは全て55mm、呼び径100Aは50mm)
		管の接続
	接続の確認	①挿入標線まで挿入されていることを確認してください。
		⚠ 接続完了後は、接続部に曲げや引っ張り等の無理な力がかからないようにしてください。

横枝管の引き抜き方

万一、横枝管を抜かなければならない場合は、以下の方法で抜いてください。

①水で濡らした金属製のヘラを、パッキンと管の隙間に数力所差し込んでください。

⚠ パッキンに傷が付かないよう、ヘラはできるだけ薄くて先端のまるいものをご用意ください。

②管を回転させるようにしながら、引き抜いてください。

③パッキンが破れていたり、パッキンに傷が付いていないことを確認してください。

⚠ 引き抜く際に管が傷つくことがありますので、引き抜いた管は再使用しないでください。

⚠ 対面流入の注意点

耐火プラAD継手HG・SGでは、便器排水流入口の対面に横枝管を接続しないでください。

汚水横枝管の対面に、同一レベルで別の横枝管を接続すると、汚水横枝管の配管形態や便器のタイプによっては、便器排水が対面の横枝管に流入する恐れがあります。便器排水の対面に横枝管を接続する場合は、ADスリム対面合流継手をご使用ください。

横枝管

汚水横枝管

便器排水

横枝管

汚水横枝管

便器排水

ADスリム対面合流継手

横枝管接続部の流入形状の効果で、汚水の対面横枝への飛出しを防止します。

対面に接続OK

汚水

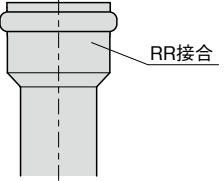
※詳細は、エスロン単管式排水システムカタログをご参照ください。

■②耐火ブラAD継手HG 下部差口仕様の接続方法(受口付立て管の場合)

●VP受口付立て管、耐火VP受口付立て管は必ず耐火ブラAD継手HG(差口タイプ)と組み合わせてご使用ください。ADスリム継手にはご使用できません。

■ 接続部の構造

<VP受口付立て管、耐火VP受口付立て管>

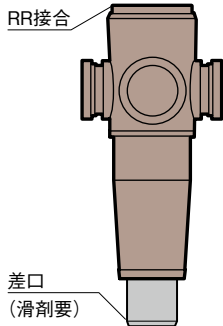


RR接合

△ VP受口付立て管、耐火VP受口付立て管は立て管専用です。横枝管にはご使用できません。

△ パッキンには滑剤が塗布されていませので滑剤(エスロン滑剤No.1)を塗布してください。

<耐火ブラAD継手HG 差口タイプ(差口S・M・L)>



RR接合

差口(滑剤要)

上側-RR接合

△ パッキンには滑剤が塗布されています。管の挿入が困難な場合には滑剤(エスロン滑剤No.1)を塗布してください。

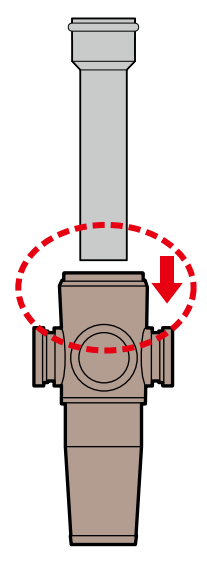
下側(差口) ※滑剤要

△ 端部にエスロン滑剤No.1を塗布し、VP受口付立て管、耐火VP受口付立て管の受口に差し込んでください。

△ 差口は切断禁止です。

作業事項	作業手順および注意事項
VP受口付立て管、耐火VP受口付立て管の切断	①切断標線の記入 ・切断位置に標線を記入してください。
	②管の切断 ・バンドソー、塩ビ用ノコギリを用いて、切断してください。 △ 管軸に直角に切断してください。 △ 高速砥石カッターは使用しないでください。 △ 管が変形したもの、擦り傷の付いた部分は切り除いてください。
	③バリ取り、清掃 ・面取り器等を用いて内管の内外面全周にわたり糸面取りを行ってください。 ・バリやカエリのないように管端面をきれいに仕上げてください。

耐火ブラAD継手の上側(受口)への接続

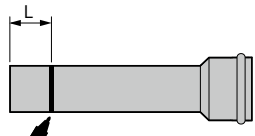


①挿入標線の記入

- ・耐火ブラAD継手HGの上側受口の挿入長さ分、VP受口付立て管、耐火VP受口付立て管に標線を記入してください。
- ・VP受口付立て管、耐火VP受口付立て管の差口の内外面を乾いたウエスできれいに拭いてください。

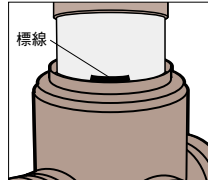
● 管の標線寸法

管 径	75A	100A
L	75mm	75mm



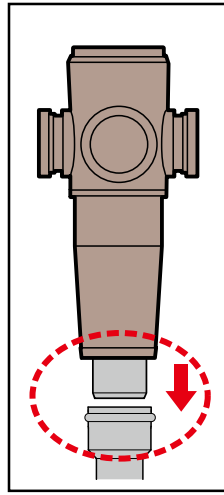
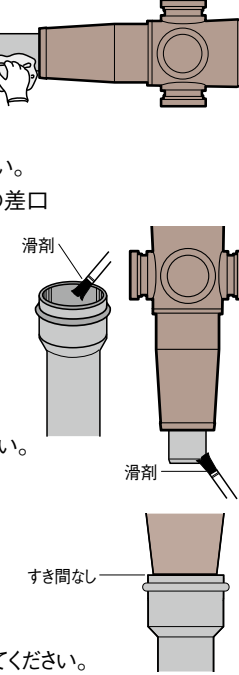
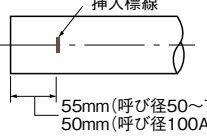
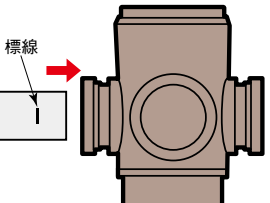
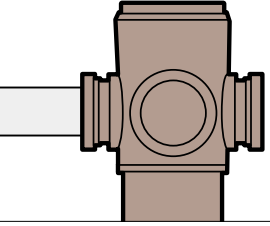
②管の接続

- ・耐火ブラAD継手HGの立て管挿入部の養生シールを剥がしてください。
- ・管軸を合わせて挿入標線の位置までまっすぐ挿入してください。
- △ 耐火ブラAD継手HGの受口パッキンには滑剤が塗布されています。挿入が困難な場合は滑剤(エスロン滑剤No.1)を塗布してください。
- △ たたき込みや斜め挿入は漏水の原因となりますので絶対に行わないでください。



③接続の確認

- ・挿入標線まで挿入されていることを確認してください。
- △ 接続完了後は接続部に曲げや引っ張り等の無理な力がかからないようにしてください。

作業事項	作業手順および注意事項					
下部立て管との接続	①清掃 ・耐火ブラAD継手HGの差口の内外面を乾いたウエスできれいに拭いて清掃してください。					
	②接続 ・VP受口付立て管、耐火VP受口付立て管の受口の保護材を取り外してください。 ・VP受口付立て管、耐火VP受口付立て管の受口及び耐火ブラAD継手HGの差口(受口長さ分)にエスロン滑剤No.1を塗布してください。 ・管軸を合わせて、まっすぐ挿入してください。 ・差口S・M・Lの施工方法と差口長さは同じです。 <table><thead><tr><th>管 径</th><th>75A</th><th>100A</th></tr></thead><tbody><tr><td>受口挿入長さ</td><td>80mm</td><td>90mm</td></tr></tbody></table> △ たたき込みや斜め挿入は漏水の原因となりますので絶対に行わないでください。 △ 耐火ブラAD継手HGの差口は切断禁止です。	管 径	75A	100A	受口挿入長さ	80mm
管 径	75A	100A				
受口挿入長さ	80mm	90mm				
支持固定	③接続の確認 ・挿入が完了したことを確認してください。 ・差口と受口との隙間は奥まで挿入されます。 △ 接続完了後は接続部に曲げや引っ張り等の無理な力がかからないようにしてください。 △ 受口付立て管と耐火ブラAD継手HGを事前に接続しないでください。 ・施工中に抜け、落下する恐れがあります。					
	継手の支持	耐火ブラAD継手HGの金具取り付け位置に割バンドを設置し、同梱のボルトとナット(M10)で締め付けてください。 △ 耐火ブラAD継手HGの支持金具 固定位置シールの矢印が隠れる位置に必ず金具を取り付けてください。 指定位置以外に取り付けると、固定が不十分になります。 △ 左右のボルトは片締めにならないよう、均等に締め付けてください。また、過剰な力で締め付けると、ボルトがねじ切れるおそれがあります。 △ 耐火ブラAD継手HGを施工する場合は必ず支持金具を取り付けてください。 △ 耐火ブラAD継手HGを枝浮かし配管する際は、継手横枝管底とスラブ上面の距離は140mm以下としてください。 △ 耐火ブラAD継手HGは枝浮かしにより支持金具の全ねじボルト長さが不足する場合があります。その場合は現地調達(W1/2)をお願いします。 				
横枝管の接続	管に挿入標線記入	①挿入標線の記入 継手受口に接続するVPパイプ、耐火VPパイプに挿入標線を記入してください。 (呼び径50、65、75Aは全て55mm、呼び径100Aは50mm) 				
	管の接続	①管軸に合わせて挿入標線の位置(受口最奥部)までまっすぐ挿入してください。 △ パッキンには滑剤が塗布されていませんが、滑剤を塗布せずにそのまま管を挿入してください。挿入前に管の内外全面にわたり糸面取りを行ってください。 △ 一度管を接続すると非常に引き抜きにくい為、横枝管の仮差しはしないでください。どうしても横枝管を抜かなければならない場合は、P.54を参照してください。 △ 斜め挿入は行わないでください。 △ 叩き込み挿入等による無理な挿入はしないでください。 				
接続の確認	接続の確認	①挿入標線まで挿入されていることを確認してください。 △ 接続完了後は、接続部に曲げや引っ張り等の無理な力がかからないようにしてください。 				

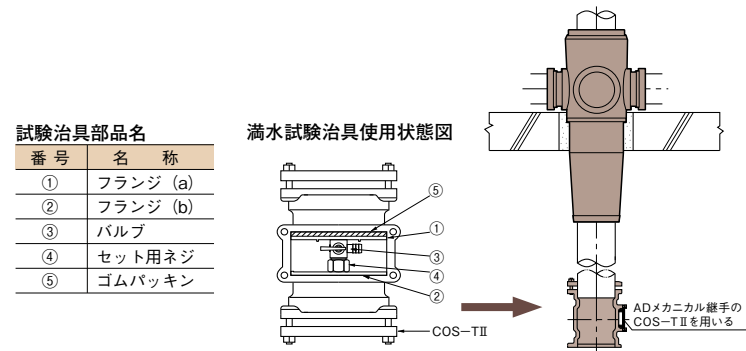
③フランジなどとの接続方法(立て管:VPパイプS・耐火VPパイプSの場合)

作業事項	作業手順および注意事項																																					
VPパイプS、耐火VPパイプSの切断	※①と同様に内管と被覆カバーを以下の方法で同時に切断してください。 ①切断標線の記入 - 管を接続する両側の継手の挿入寸法の合計(A+B)で内管をスライドしてください。 - 管の有効長に応じて標線を記入してください。(継手受口への挿入寸法(A+B)は下表でご確認ください。) ● 継手受口への挿入寸法 <table> <tr> <th>接合方法</th><th>呼び径</th><th>75</th><th>100</th></tr> <tr> <td>RR接合</td><td></td><td>75mm</td><td>75mm</td></tr> <tr> <td>接着接合</td><td></td><td>40mm</td><td>50mm</td></tr> <tr> <td>フランジ接合</td><td></td><td>46mm</td><td>52mm</td></tr> </table> ● 挿入寸法合計(A+B)の早見表 <table> <tr> <th>接合方法</th><th>呼び径</th><th>75</th><th>100</th></tr> <tr> <td>RR+接着</td><td></td><td>115mm</td><td>125mm</td></tr> <tr> <td>RR+フランジ</td><td></td><td>121mm</td><td>127mm</td></tr> <tr> <td>接着+接着</td><td></td><td>80mm</td><td>100mm</td></tr> <tr> <td>接着+フランジ</td><td></td><td>86mm</td><td>102mm</td></tr> </table>	接合方法	呼び径	75	100	RR接合		75mm	75mm	接着接合		40mm	50mm	フランジ接合		46mm	52mm	接合方法	呼び径	75	100	RR+接着		115mm	125mm	RR+フランジ		121mm	127mm	接着+接着		80mm	100mm	接着+フランジ		86mm	102mm	
接合方法	呼び径	75	100																																			
RR接合		75mm	75mm																																			
接着接合		40mm	50mm																																			
フランジ接合		46mm	52mm																																			
接合方法	呼び径	75	100																																			
RR+接着		115mm	125mm																																			
RR+フランジ		121mm	127mm																																			
接着+接着		80mm	100mm																																			
接着+フランジ		86mm	102mm																																			
VPパイプS、耐火VPパイプSの切断	②管の切断 - バンドソー、塩ビ用ノコギリを用いて、内管と被覆カバーを同時に切断してください。 ⚠切断前に内管のスライド代がずれていないことを確認してください。 ⚠管軸に直角に切断してください。 ⚠高速砥石カッターは使用しないでください。 ⚠内管、被覆カバーが変形した部分は切り除いてください。																																					
VPパイプS、耐火VPパイプSの切断	③バリ取り、清掃 - 面取り器具を用いて内管の内外面全周にわたり糸面取りを行ってください。 - バリやカエリのないように管端面をきれいに仕上げてください。 - 被覆カバーの面取りは不要です。																																					
VPパイプS、耐火VPパイプSの接続準備	● 管の標線寸法 <table> <tr> <th>接合方法</th><th>呼び径</th><th>75</th><th>100</th></tr> <tr> <td>RR接合</td><td></td><td>75mm</td><td>75mm</td></tr> <tr> <td>接着接合</td><td></td><td>40mm</td><td>50mm</td></tr> <tr> <td>フランジ接合※</td><td></td><td>46mm</td><td>52mm</td></tr> </table> ※弊社ADメカニカル継手と脚部継手の場合。	接合方法	呼び径	75	100	RR接合		75mm	75mm	接着接合		40mm	50mm	フランジ接合※		46mm	52mm																					
接合方法	呼び径	75	100																																			
RR接合		75mm	75mm																																			
接着接合		40mm	50mm																																			
フランジ接合※		46mm	52mm																																			
VPパイプS、耐火VPパイプSとの接続	●継手の種類に応じて、施工を行ってください。 ①耐火プラAD継手HG・SGの上側との接続の場合(RR接合)→53ページ ②耐火プラAD継手HG・SGの下側または耐火DV遮音継手との接続の場合(接着接合)→53ページ ③AD脚部継手またはADメカニカル継手との接続の場合(フランジ接合)→58ページ																																					

作業事項	作業手順および注意事項						
VPパイプS、 耐火VPパイプSと フランジの接続	掃除口付ソケット(COS)、満水試験兼用掃除口付継手(COS-TⅡ)等との 接続の場合(フランジ接合) 管の接続 ①フランジのセット。 管にフランジを図のようにセットしてください。 ②クッションパッキンの装着。 クッションパッキンを管端部にあたるまで挿入してください。 ⚠ 管端部への挿入が困難な場合には、管表面に少量の水を塗布してください。 ③ボルトの締め付け。 管の先端を継手に挿入し、締め付けボルトを均一に締め付けてください。 <table><tr><td>管 径</td><td>80A</td><td>100A</td></tr><tr><td>トルク</td><td>20N・m</td><td>25N・m</td></tr></table> ⚠ 過大トルクにならないように注意してください。 ⚠ 片締めにならないようにボルトを均一に締め付けてください。 フランジ クッションパッキン 接続の確認 ①挿入標線まで挿入されていることを確認してください。 ⚠ 接続完了後は接続部に曲げや引っ張り等の無理な力がかからないようにしてください。 隙間処理 ①継手と被覆カバーの隙間をグラスウールで覆い 保温と同時に隙間処理してください。 (現地調達部材)	管 径	80A	100A	トルク	20N・m	25N・m
管 径	80A	100A					
トルク	20N・m	25N・m					

満水試験方法

満水試験は、ADメカニカル継手の満水試験兼用掃除口付継手(COS-TⅡ)、および満水試験治具(COS-TPAⅡ)を用いた方法または、テストボールを用いた方法で実施してください。



④遮音カバーの巻きつけ

●本遮音カバーは耐火ブラAD継手HG・SGシステム専用です。ADスリム継手のシステムにはご使用できません。

■ 使用部材

■耐火VPパイプ用遮音カバー
(100A用、75A用)



パイプ用遮音カバー
(長さ1.4m 2本)

ジョイントテープ(1枚)
100A用 : 75×500mm
75A用 : 75×420mm

■耐火ブラAD継手用遮音カバー
(100A、75A 兼用)

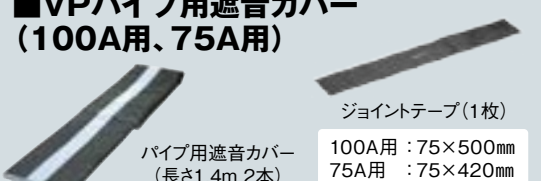


耐火ブラAD継手用遮音カバー
(400×650mm 1枚)

■遮音カバー用
ジョイントテープ



■VPパイプ用遮音カバー
(100A用、75A用)



パイプ用遮音カバー
(長さ1.4m 2本)

ジョイントテープ(1枚)
100A用 : 75×500mm
75A用 : 75×420mm

ジョイントテープ(2枚)
縦用 : 75×400mm
下部用 : 75×600mm

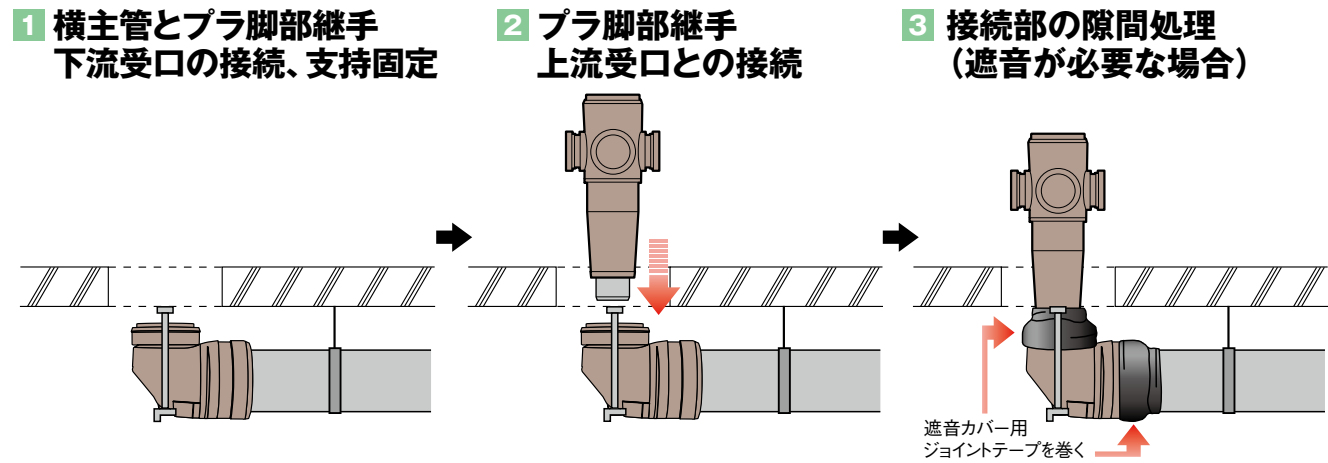
固定バンド(2ヶ)

作業事項	作業手順および注意事項												
パイプ用遮音カバーの切断	①パイプに挿入標線の記入 - VPパイプ、耐火VPパイプを所定の寸法に切断し、面取りと清掃によりバリや付着物を取り除いた後、パイプ両端部に挿入代確認の標線を記入してください。 ● 管の標線寸法 <table> <tr> <th>呼び径</th><th>75</th><th>100</th></tr> <tr> <td>RR接合</td><td>75mm</td><td>75mm</td></tr> <tr> <td>接着接合</td><td>40mm</td><td>50mm</td></tr> <tr> <td>フランジ接合*</td><td>46mm</td><td>52mm</td></tr> </table> ※弊社ADメカニカル継手と脚部継手の場合 ②パイプ用遮音カバーの切断 - VPパイプ、耐火VPパイプの両端の継手挿入代を差し引いた寸法でパイプ用遮音カバーをハサミで切断してください。	呼び径	75	100	RR接合	75mm	75mm	接着接合	40mm	50mm	フランジ接合*	46mm	52mm
呼び径	75	100											
RR接合	75mm	75mm											
接着接合	40mm	50mm											
フランジ接合*	46mm	52mm											
パイプ用遮音カバーの挿入と接続	①パイプ用遮音カバーの挿入 - パイプ用遮音カバーを手で円筒状にならし、VPパイプ、耐火VPパイプを差し込んでください。 ⚠パイプ用遮音カバーはVPパイプS、耐火VPパイプSには挿入できません。 ②パイプ用遮音カバーの隙間処理 - VPパイプ、耐火VPパイプが1.4m以上ある時は、パイプ用遮音カバーを継ぎ合わせ、継ぎ目に同梱のジョイントテープを巻き付け、よくなじませてください。 ⚠ジョイントテープは、遮音カバーの汚れやほこりをよく取り除いてから貼りつけてください。 ③立て管と耐火ブラAD継手との接続 - パイプ用遮音カバーを巻き付けた立て管と耐火ブラAD継手を接続してください。 - パイプ用遮音カバーと耐火ブラAD継手下部の接続部をジョイントテープ(P.28)で1周以上巻き、カバーの固定及び隙間処理を行ってください。												

作業事項	作業手順および注意事項
耐火ブラAD継手用遮音カバーの取り付け	①耐火ブラAD継手用遮音カバーの巻き付け - 耐火ブラAD継手用遮音カバーの上端部をスラブ下面に合わせて、耐火ブラAD継手HG・SGに巻き付けてください。 - 耐火ブラAD継手用遮音カバーをパイプ用遮音カバーの上から重ねて巻き付け、隙間処理してください。 - 耐火ブラAD継手用遮音カバーはフェルト面が内側です。 ②ジョイントテープの貼り合わせ - 耐火ブラAD継手用遮音カバーの巻き合わせ部(縦、下部)の2か所を同梱のジョイントテープで貼り合わせてください。 (縦用=長さ400mm、下部用=長さ600mm) - ジョイントテープ下部用は、耐火ブラAD継手用遮音カバーの下端とパイプ用遮音カバーに巻き付け、隙間処理を行ってください。 - 耐火ブラAD継手用遮音カバーの巻き付はスラブの埋め戻し後に行ってください。 - ジョイントテープは、遮音カバーの汚れやほこりをよく取り除いてから貼りつけてください。 ③固定バンドの固定 - 同梱の固定バンド2本で上下2か所に、耐火ブラAD継手用遮音カバーを固定してください。 - 固定バンドを使用する際は、先端(a)を本体(b)に差し込み、しっかりと締めつけてください。 位置変更が必要な際には(c)のレバーを→方向に引くと緩めることができます。 ●VP受口付立て管、耐火VP受口付立て管+耐火ブラAD継手HG差口の施工時の注意点 - パイプ用遮音カバーの端部と受口付立て管をジョイントテープ(P.28)で1周以上巻き、カバーを固定してください。 - 耐火ブラAD継手用遮音カバーを受口付立て管の露出部の上から重ねて巻き付け、隙間処理してください。
その他	①掃除口継手等の遮音処理 - 立て管途中に掃除口継手等がある場合には、継手部をグラスウール+サンダムシート(現地調達部材)を巻く等、遮音処理を行ってください。 ②耐火ブラAD継手HG・SG上部の隙間処理 - 耐火ブラAD継手HG・SGの上部受口とパイプとの接続部にはジョイントテープ(P.28)を1周以上、又はエスロンテープNo.340(厚み0.4mm、幅50mm)を2周以上巻き、隙間を塞いでください。 - 差口S・M・Lの施工方法は同じです。

■⑤ プラ脚部継手との接続方法

■ 施工手順例



1 横主管とプラ脚部継手下流受口の接続、支持固定

作業事項	作業手順および注意事項
横主管の切断	①切断標線の記入 - 切断位置に標線を記入してください。 ②管の切断 - バンドソー、塩ビ用ノコギリを用いて切断してください。 ⚠ 管軸に直角に切断してください。 ⚠ 高速砥石カッターは使用しないでください。 ⚠ 管が変形したもの、擦り傷の付いた部分は切り除いてください。 ③バリ取り、清掃 - 面取り器等を用いて内外面全周にわたり糸面取りを行ってください。 - バリやカエリがないように管端面をきれいに仕上げてください。
プラ脚部継手の下流受口との接続	①挿入標線の記入 - 横主管に挿入標線を記入してください。 (呼び径100は50mm、呼び径125は65mm、呼び径150は80mm) - その後、継手下流受口内面と管差口外面を乾いたウエスできれいに拭いてください。 ②挿入機の取付け - 継手、管の両側に玉掛けワイヤーロープを1本ずつ掛け、挿入機を取付けます。 ⚠ 被覆カバーの保護のため、下記事項に注意してください。 - 継手上流受口へのワイヤーの設置を推奨します。 - 被覆カバーの上からワイヤーを設置する場合は、ワイヤーが接触する部分をゴムシート等で保護し、過剰な締め付けは行わないでください。

作業事項	作業手順および注意事項
プラ脚部継手の下流受口との接続	③管の接続 - 下記の接着剤を使用して、継手下流受口内面、管差口外面の順に適量を均一に塗布してください。 *使用可能な接着剤 エスロン接着剤=No.73S, 73Sブルー, 73S UV, 73Sバイオレット, 75S, 75Sブルー-N, 80S, 83Sホワイト - 継手下流受口と管差口の軸を合わせ、速やかに標線の位置まで挿入機を用いて挿入してください。その後、30秒以上保持し、抜け戻りが無いことを確認してください。 ⚠ 管の挿入、保持後はみ出した接着剤は拭き取ってください。 ⚠ 管の挿入には挿入機を使用し、途中で停止することなく速やかに一気に挿入してください。(ねじらず挿入してください) ⚠ 叩き込みや斜め挿入は継手の破損や漏水の原因となりますので絶対に行わないでください。 ④接続の確認 - 挿入標線まで挿入されていることを確認してください。 ⚠ 接続完了後は接続部に曲げや引っ張り等の無理な力がかからないようにしてください。
プラ脚部継手、横主管の支持固定	①プラ脚部継手の支持固定 - 同梱のプラ脚部継手専用支持金具を全ネジボルト・ナット(W3/8, 現地調達品)により設置してください。 - プラ脚部継手の凹部を支持金具の凸部に挿入してください。 ⚠ 必ず同梱のプラ脚部専用支持金具を使用してください。 ⚠ 脚部継手はスラブに埋設しないでください。 ②横主管の支持固定 - プラ脚部継手直近(継手芯から500mm以内)に管を支持固定してください。

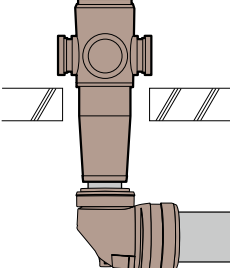
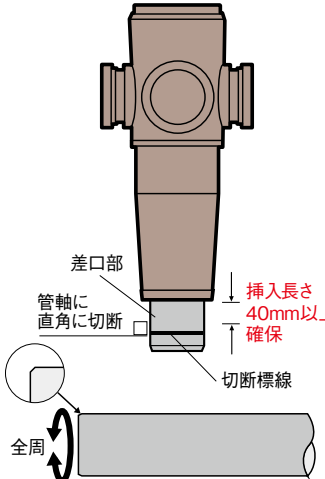
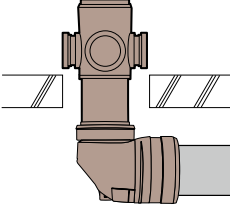
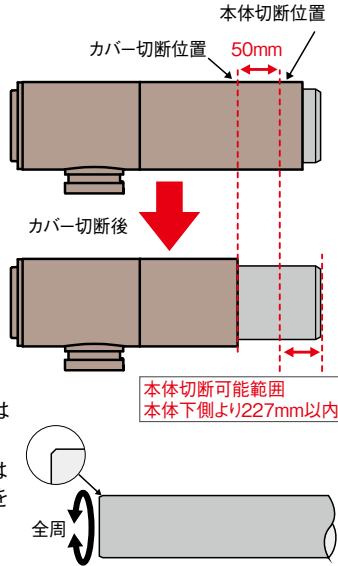
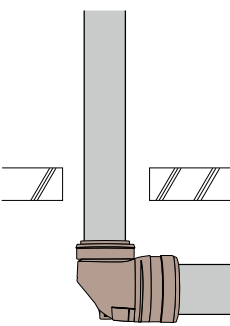
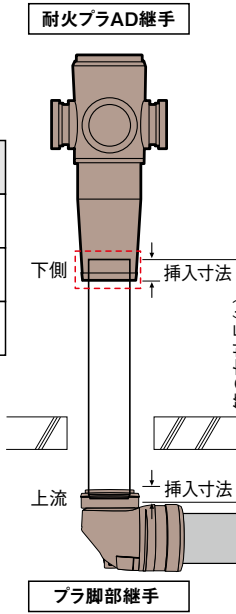
2 プラ脚部継手上流受口との接続

作業事項	作業手順および注意事項
管又は継手差口部の切断	①切断 ・納まりに応じて、接続する管又は継手差口部の切断を行ってください。 切断方法詳細はP.64の⑤-1～3を参照。
プラ脚部継手の上流受口との接続	①挿入標線の記入 ・挿入標線40mmを記入してください。(管・継手差口タイプ呼び径75,100および継手最下階タイプ呼び径125共通) その後、差口外面を乾いたウエスできれいに拭いてください。 ②接続 ・継手上流受口の養生シールを剥がしてください。 ・管軸を合わせて挿入標線の位置までまっすぐ挿入してください。 △パッキンには滑剤が塗布されています。挿入が困難な場合は滑剤(エスロン滑剤No.1:非水溶性滑剤)を塗布してください。 △叩き込みや斜め挿入は継手の破損や漏水の原因となりますので絶対に行わないでください。 △耐火プラAD継手HG最下階タイプは必ずプラ脚部継手(呼び径125×125、125×150)と組み合わせてご使用ください。 ③接続の確認 ・挿入標線まで挿入されていることを確認してください。 △接続完了後は接続部に曲げや引っ張り等の無理な力がかからないようにしてください。 *参考:スラブ上より接続を確認する場合 プラ脚部継手の頂部からスラブ上面までの距離①を測定し接続する管又は継手に「距離①+挿入標線40mm」の標線を記入してください。 挿入後、標線とスラブ上面が一致することを確認してください。

3 接続部の隙間処理(遮音が必要な場合)

作業事項	作業手順および注意事項
接続部の隙間処理(遮音が必要な場合)	・プラ脚部継手上流の接続部(①,②の2箇所)と下流の接続部(③)に遮音カバー用ジョイントテープ(別売り)を巻き、隙間を塞いでください。 △遮音カバー用ジョイントテープは被覆カバーの汚れやほこりをよく取り除いてから貼り付けてください *テープは700mm×3枚目安。 *遮音カバー用ジョイントテープ 品番:FSVPCT、カタログP.28参照。 ■隙間20mm以上の場合 ・プラ脚部継手上端と立て管の遮音カバーとの隙間が20mm以上ある場合は、隙間が20mm以内となるようにパイプ用遮音カバーもしくは被覆カバーの端材を巻き付けた上から遮音カバー用ジョイントテープを巻いてください。その後上記の通り、接続部①②③の隙間処理を行ってください。

プラ脚部継手上流受口との接続時の管又は継手差口部の切断方法について

接続パターン	作業手順および注意事項																				
⑤-1 耐火プラAD継手HG(差口タイプ)の場合 	①切断 ・納まりに応じて差口部の切断位置に標線を記入し、バンドソー、塩ビ用ノコギリを用いて切断してください。 ⚠ 切断時は被覆カバーの保護のため、カバーの過剰な締め付けは行わないでください。 ⚠ 切断時はプラ脚部継手上流受口への挿入長さ40mm以上を必ず確保してください。差口S・M・Lの切断可能範囲は同じです。																				
	②バリ取り、清掃 ・面取り器具等を用いて内外面全周にわたり糸面取りを行ってください。 ・バリやカエリのないように管端面をきれいに仕上げてください。																				
⑤-2 耐火プラAD継手最下階タイプの場合 	①被覆カバーの切断 ・本体切断位置より50mm上部の位置に切断標線を記入し被覆カバーをハサミで切断してください。 ⚠ 被覆カバーの切断はハサミを使用してください。バンドソー等でのカバーの切断は行わないでください。																				
	②本体の切断 ・切断位置に標線を記入し、バンドソー、塩ビ用ノコギリを用いて本体を切断してください。 ⚠ 管軸に直角に切断してください。 ⚠ 高速砥石カッターは使用しないでください。 ⚠ 本体の切断は本体下側より227mm以内にしてください。 ⚠ 本体切断時は被覆カバーの保護のため、カバーの過剰な締め付けは行わないでください。 ⚠ 耐火プラAD継手HG最下階タイプ本体下部への管の接続・延長は行わないでください。必ず最下階タイプ本体下部とプラ脚部継手を直接接続してください。																				
⑤-3 VPパイプS、耐火VPパイプSの場合 	・P.52と同様の方法で内管をスライドして切断してください。ただし継手受口への挿入寸法合計は下表でご確認ください。	●継手受口への挿入寸法合計 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th><th rowspan="2">接合方法</th><th colspan="2">呼び径</th></tr> <tr> <th>75</th><th>100</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A：プラ脚部継手上流受口</td><td>RR接合</td><td>40mm</td><td>40mm</td></tr> <tr> <td>B：耐火プラAD継手HG・SG下側受口</td><td>接着接合</td><td>40mm</td><td>50mm</td></tr> <tr> <td colspan="2">A + B</td><td>80mm</td><td>90mm</td></tr> </tbody> </table>			接合方法	呼び径		75	100	A：プラ脚部継手上流受口	RR接合	40mm	40mm	B：耐火プラAD継手HG・SG下側受口	接着接合	40mm	50mm	A + B		80mm	90mm
	接合方法	呼び径																			
		75	100																		
A：プラ脚部継手上流受口	RR接合	40mm	40mm																		
B：耐火プラAD継手HG・SG下側受口	接着接合	40mm	50mm																		
A + B		80mm	90mm																		
																					

システム紹介

耐火プラAD継手HG・SG

耐火VPパイプシリーズ
エスロンパイプシリーズ

耐火DVV遮音継手

脚部継手
その他関連製品

継手の納まり

標準施工方法

注意事項

システム紹介

耐火プラAD継手HG・SG

耐火VPパイプシリーズ
エスロンパイプシリーズ

耐火DVV遮音継手

脚部継手
その他関連製品

継手の納まり

標準施工方法

注意事項

注意事項

設計上の注意事項

- ⚠ ご使用に当たっては、必ず最新の各エスロンプラスチック単管式排水システムの技術資料をご参照ください。
- ⚠ 本文に記載の許容排水量は、耐火プラAD継手HG・SGとプラ脚部継手もしくはAD脚部継手との組み合わせによるものです。耐火プラAD継手HG・SGを使用した立て管の最下部には必ずプラ脚部継手もしくはAD脚部継手をご使用ください。
- ⚠ 横主管の管径は、立て管管径よりも1サイズ以上大きくしてください。(負荷流量によっては2サイズ以上大きくなる場合があります。なお、便器排水、または洗濯排水が含まれる系統については125A以上としてください。)
- ⚠ 立て管でのオフセット配管は極力避けてください。やむを得ずオフセット配管となる場合には、バイパス通気管を設置する等の適切な処置を行ってください。(各技術資料をご参照ください。)また、オフセット部には適切な騒音対策をご検討ください。
- ⚠ 耐火プラAD継手HG・SG(二段タイプ含む)とADスリム継手(二段タイプ含む)・ADスリム継手ハイパワー・ADミニ継手は、同一立て管系統で混在して使用しないでください。
- ⚠ 立て管に流入されない階がある場合(無流入階)にも、基本的に各階に耐火プラAD継手HG・SGを設置してください。
- ⚠ 伸頂通気管の管径は、立て管の管径と同径以上としてください。
- ⚠ ベントキャップは、有効断面積が伸頂通気管の内断面積と同等以上あるものをご使用ください。
- ⚠ 「最下階合流システム」をご採用の場合は、最下階合流システムの設計基準に基づいて設計・施工を行ってください。詳細は各技術資料をご参照ください。
- ⚠ AD脚部継手 スリム直結ショートタイプは、「最下階合流システム」専用脚部継手ですので、従来システム(最下階住戸排水単独)では使用しないでください。
- ⚠ 耐火プラAD継手HG 最下階タイプは必ずプラ脚部継手(呼び径125×125、125×150)と組み合わせてご使用ください。

施工上の注意事項

- ⚠注意 他社耐火性硬質ポリ塩化ビニル管・継手との組み合わせは認定・評定外となりますので使用しないでください。
- ⚠注意 製品の重量が20kgを超える物については、必ず2人以上で持ち運びしてください。
- ⚠ 耐火プラAD継手HG・SGは落したり、転倒させたりなど過度の衝撃を加えたりすると、破損する恐れがありますので取り扱いに注意してください。
- ⚠ プラ脚部継手、AD脚部継手は落したり、過度の衝撃を加えたりすると、破損する恐れがありますので取り扱いに注意してください。
- ⚠ 耐火VPパイプは落したり、過度の衝撃を加えたりすると、破損する恐れがありますので取り扱いに注意してください。
- ⚠ 管内に異物(木片、詰まり易い物)が入らないようにしてください。
- ⚠注意 耐火VPパイプSの運搬の際は、内管の抜け落ちにご注意ください。
- ⚠注意 挿入する管を切断、面取りする際には必ず管を固定してください。また、切り粉が目に入らないよう、必ず防塵メガネを着用してください。
- ⚠注意 挿入する管の外面やゴム輪内面に埃、砂などが付着したまま接合しないでください。漏水となる場合や、管の抜け出し抵抗力が低下する場合があります。
- ⚠ 横枝管、横主管の配管は適切な勾配にて配管し、必要に応じて支持金具で固定してください。
- ⚠注意 滴水試験などの際には、水圧や空気圧により排水横枝管や枝栓が飛び出す恐れがありますので支持金具等で固定し、試験を行ってください。
- ⚠ 製品の保管は、高温、多湿、直射日光の当たる場所や砂・埃の多い場所は避けてください。パッキン等が劣化し、漏水の原因となる可能性があります。
- ⚠ 耐火VPパイプSの被覆カバーの隙間や継手との接続部には、音漏れ防止のため、テープ等で接続部の隙間処理を行ってください。
- ⚠ ガス給湯器等ガス機器と、周囲の配管との離隔距離については「ガス機器の設置基準及び実務指針」(一般財団法人 日本ガス機器検査協会)に定められた基準を遵守してください。またガス給湯器種類により緩和されることがありますので、具体的な離隔距離についてはガス事業者またはガス機器メーカーにご確認ください。
- ⚠ ガスコンロなどの直火の近くには配管しないでください。
- ⚠ 防火区画貫通の施工については、通知・認定書・評定書の内容をご確認ください。また、ご不明な点は、所轄の消防機関までご確認ください。
- ⚠ 耐火プラAD継手HGを施工する場合は必ず支持金具を取り付けてください。
- ⚠ 防火区画貫通は耐火プラAD継手HG・SGまたは耐火VPパイプで行ってください。耐火プラAD継手HG・SGと組み合わせてもVP管で防火区画を貫通することはできません。
- ⚠ 耐火プラAD継手HGを枝浮かし配管する際は、継手横枝管底とスラブ上面の距離は140mm以下としてください。
- ⚠ 耐火プラAD継手SGを枝浮かし配管する際は、継手横枝管底とスラブ上面の距離は50mm以下としてください。
- ⚠ 脚部継手はスラブに埋設しないでください。
- ⚠ 耐火プラAD継手HG・SG、遮音グレードの継手、遮音カバーの輸送・保管・施工・使用時には水分と接触しないようにしてください。段差スラブ等では、雨水がたまらないようにご配慮ください。
- ⚠ 耐火プラAD継手HG最下階タイプ本体下部への管の接続・延長は行わないでください。必ず最下階タイプ本体下部とプラ脚部継手を直接接続してください。

使用上の注意事項

- ⚠ エスロンプラスチック単管式排水システムシリーズは、重力式排水配管(無圧)です。集合住宅やホテルの汚水・雑排水等の生活排水以外のものは流さないでください。また、適切な伸縮処理が施されている場合は使用温度は60℃(排水温度)以下で使用可能ですが、屋内排水管路の形態は様々で、温度変化による力が複雑に作用し、有効な伸縮処理がとれない場合が多いことから、安全性を考慮して45℃未満でご使用ください。
- ⚠ エスロンプラスチック単管式排水システムシリーズを末永く安全・快適にご使用いただくために、必ず定期的な配管洗浄や保守点検を実施してください。また、洗浄に際しては継手および管内面の損傷を防ぐため、樹脂やゴム等で覆われた洗浄ホースをご使用ください。

耐火VPパイプの注意事項

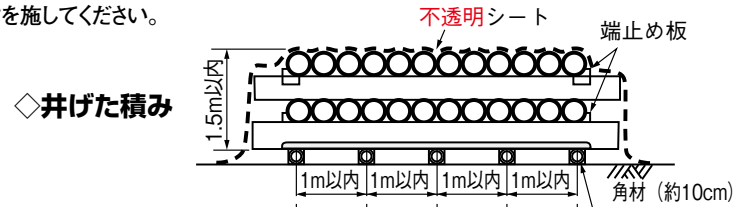
- ⚠ 洗濯洗剤、食器洗い洗剤は必ず洗剤メーカー指定の濃度以下でご使用ください。高濃度の洗剤排水は泡の吹き出しトラブルが生じる場合があります。
- ⚠ 気泡力の高い洗濯槽クリーナーや入浴剤などのご使用は避けてください。泡の吹き出しトラブルが生じる場合があります。

設計上の注意事項

- ⚠ エスロン耐火VPパイプ配管システムは、汚水、雑排水などの生活排水、雨水排水、通気の用途にお使いください。特殊排水用途や給水給湯など圧力が加わる用途には使用しないでください。
- ⚠ ご使用の際には必ず認定書、評定書の内容をご確認ください。他社耐火性硬質ポリ塩化ビニル管・継手との組み合わせは認定・評定外となりますので使用しないでください。
- ⚠ 防火区画貫通部から1m以内の範囲では、P.9～12及び、認定書、評定書の内容をご確認の上ご使用ください。また、1m以内で他の認定評定品と接続する場合には、認定・評定外となる恐れがありますので所轄の消防機関までご確認ください。
- ⚠ 換気ダクト類用途には使用できません。
- ⚠ 適切な伸縮処理を行ってください。
- ⚠ 防火区画貫通部についてご不明な点は、所轄の消防機関までご確認ください。

保管上の注意事項

- ⚠ 塩ビ管の反り、変形などを防止するため、平坦場所に井げた積みし、不透明シートをかけて保管してください。また、端部には必ず荷くずれ防止の端止め材を施してください。



- ⚠ やむをえず立てかけ保管する場合は、安全確保のために、ロープがけなどの転倒防止策を施してください。
- ⚠ 原則、屋外で保管はしないでください。屋外で保管する場合は、塩ビ管の反りや変形などを防止するために、簡単な屋根を設けるか、不透明シートをかけて直射日光を避けるようにしてください。シートがけの場合は風通しがよくなるように注意してください。
- ⚠ 継手の変形やよごれを防止するため、屋内保管を原則としてください。特に、高温帯囲気下(夏場の車中等)は、継手の変形するおそれがあるため、さけてください。

施工上の注意事項

- ⚠警告 施工時に接着剤などの有機溶剤を使用する場合は、火気には充分注意してください。
- ⚠警告 接着剤使用時には、換気を充分に行ってください。また、接着剤が皮膚に付着したときは、速やかに落としてください。もし、気分が悪くなったり、身体に異常を感じた際には、速やかに医師の診断を受けてください。
- ⚠ 耐火VPパイプと耐火DV継手、透明耐火DV継手と接続する場合、接着剤を塗布した後は、速やかに管を奥まで差し込み、抜け戻らないように保持してください。
- ⚠ 耐火VPパイプを継手に接続する場合は、たたき込み挿入を絶対に行わないでください。
- ⚠ 接着接合による配管完了後は、内面の接着剤の溶剤蒸気除去のため、必ず通風してください。
- ⚠ 管の加熱加工は、管が焦げたり焼けたり膨張して強度が低下する恐れがあるので、絶対に行わないでください。
- ⚠ 耐火VPパイプに直接ネジを切らないでください。
- ⚠ 中空壁、片面強化せっこうボード重張壁の防火区画貫通部処理にはシリコーン系シーリング材を使用してください。その他の防火区画はモルタルで埋め戻してください。
- ⚠ シーリング材には、硬質ポリ塩化ビニル管・継手に悪影響を及ぼす可塑剤(フタル酸エステル、DOP等)や有機溶剤(キシレン、トルエン等)を含む物(ポリウレタン系シーリング材等)があります。これらの成分を含むシーリング材は塩ビ管や継手に悪影響を及ぼす恐れがありますので使用しないでください。(推奨品: 積水フーラー社製 シリコーン系シーリング材)
- ⚠ 耐火VPパイプ・耐火DV継手・透明耐火DV継手は、有機溶剤に対して材質的に侵される恐れがあります。クレオソート(木材用防腐剤)、シロアリ駆除剤、殺虫剤、有機溶剤系塗料などに接触させないでください。
- ⚠ 可塑剤入りの被覆電線等は、耐火VPパイプ・耐火DV継手・透明耐火DV継手を侵すことがありますので、直接管・継手に接触させないでください。
- ⚠ 屋外露出配管では、直射日光による管の劣化を防ぎ、また外部衝撃から保護するために防護カバーをつけるなどの措置をとってください。露出管となる場合は塩ビ管に適した塗料で塗装してください。
- ⚠ ガス給湯器等ガス機器と周囲の配管との離隔距離については、ガス機器の設置基準及び実務指針(一般財団法人 日本ガス機器検査協会)に定められた基準を遵守ください。またガス給湯器の機種により緩和されることがありますので具体的な離隔距離についてはガス事業者またはガス機器メーカーにご確認ください。
- ⚠ ガスコンロなどの直火の近くには配管しないでください。
- ⚠ 製品の重量が20kgを超えるものについては必ず2人以上で持ち運びしてください。

耐火VPパイプの注意事項

使用上の注意事項

⚠ 硬質ポリ塩化ビニルは、高温水が連続して流れると軟化します。また、温度変化によって伸び縮みし、耐火VPパイプ・耐火DV継手が破損する場合がありますので、差し込みソケットを使用するなど適切な伸縮処理が必要となります。適切な伸縮処理が施されている場合は60℃以下の排水管路に使用可能ですが、屋内排水管路の形態は様々で、温度変化による力が複雑に作用し、有効な伸縮処理がとれない場合が多いことから、安全性を考慮して45℃未満でご使用ください。

⚠ 長期的に安全・快適にご使用いただくために、必ず定期的な高圧洗浄水による配管洗浄および保守点検を実施してください。また、洗浄に際しては継手および管の内面の損傷を防ぐため、樹脂やゴム等で覆われたホースをお使いください。

※上記注意事項を守らずにご使用された場合の破損、事故に関しては、当社では責任をおいかねますのでご了承ください。
※FS-VP、FS-DVは、日本における登録商標です。

塩ビ管・継手のリサイクルについて

⚠ 警告 塩ビ管・継手は現場焼却しないでください。有害な塩化水素ガスが発生し、たいへん危険です。

⚠ 警告 塩ビ管・継手の残材や使用後の廃材の処分は、法令および地方自治体の条例に従ってください。なお、残材や廃材はハンマーなどによる破砕は、破片が飛散し危険です。

●「耐火VPパイプ配管システムカタログ」に記載されている耐火VPパイプ・耐火DV継手製品は、塩化ビニル管・継手協会のリサイクル対象製品です。

●耐火VPパイプ・耐火DV継手廃材の持ち込み先は、リサイクル協力会社、中間集積場、または小口集積場（管工事組合の集積場）です。

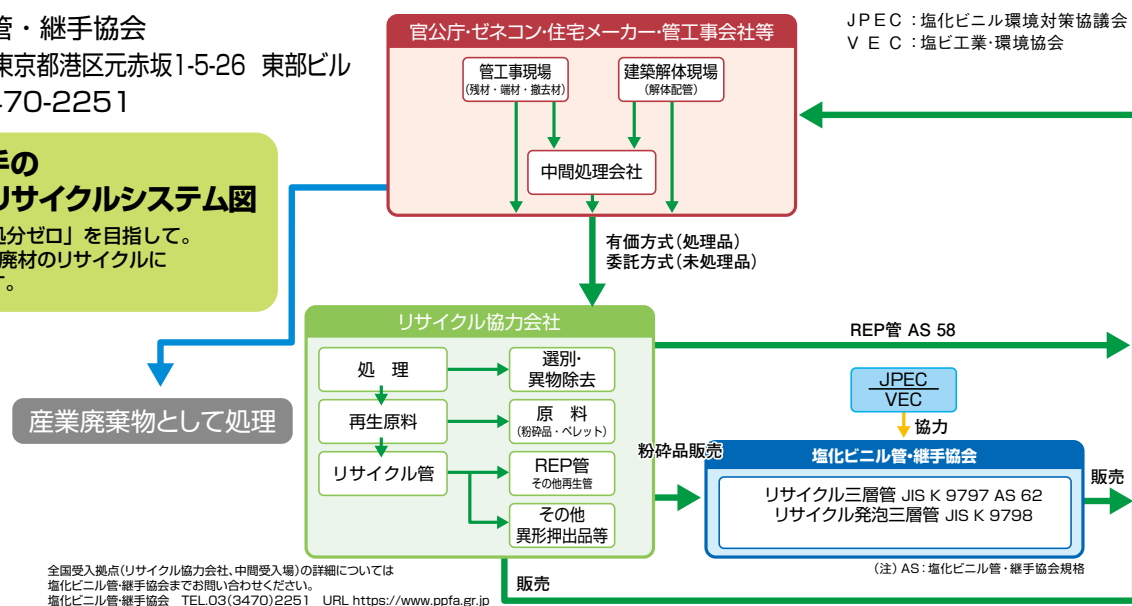
●廃材を持ち込む際には、事前に廃材持ち込み先へ連絡してください。

●廃材の持ち込み先、持ち込み基準、硬質ポリ塩ビ管・継手のリサイクルの詳細につきましては、塩化ビニル管・継手協会へお問合せください。

塩化ビニル管・継手協会
〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル
TEL.03-3470-2251

塩ビ管・継手のマテリアルリサイクルシステム図

「焼却・埋め立て処分ゼロ」を目指して。
積水化学は、塩ビ廃材のリサイクルに取り組んでいます。



単管式排水システム実験塔“エスロンタワー”

積水化学が誇る、高さ約52mの建物排水実験塔（17階）

建物排水は、理論式だけでは簡単に片付けられない複雑な要因が重なり合っていることが多く、カタログや技術資料だけでは十分に満足して頂き難い分野であり、また建築物の高層化が進むにつれ、より一層複雑になってきております。そこで、このような現状に対応するために滋賀栗東工場内に業界一の規模を誇る建物排水実験塔「エスロンタワー」を完成いたしました。当社では、この「エスロンタワー」を用いて定常流排水性能実験、器具排水性能実験、洗剤排水実験、雑物排水実験等の様々な実験を行うことにより、建物排水分野での技術確立を図り皆様のお役に立ちたいと考えております。



計測室
タワーの2階に計測室があり、各実験での管内圧力変動をリアルタイムで画面に写し出すことができます。

立て管・継手

継手にはADスリム継手を、立て管にはDVLの管を用いており、排水流下状況の確認、および管内圧力変動の測定ができます。



器具排水

実際に浴槽、便器を使用して器具排水を行った場合の、管内圧力変動を測定することができます。



定常流排水

途中階に設けられたヘッダーより流量計を通して、各階へ定常流排水を行うことができます。

